

淡水産漁業獎勵ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年三月七日

提出者 吉田虎之助

賛成者 古井由之
外三十人

淡水産漁業獎勵ニ關スル質問主意書
一 政府ハ前議會ニ於テ淡水漁業獎勵ノ必要ヲ認ムルニ拘ラス本年度豫算ニ於テ之カ獎勵費ヲ減セシ理由如何
一 政府ハ淡水漁業講習所又ハ試驗場設置ノ必要ヲ認メサルヤ
一 政府ハ河川ノ改修或ハ水力電氣事業ノ勃興ニ伴ヒ洗ヒ堰又ハ堰堤ノ設ケラル、場合ニ於テ魚梯ヲ設置ノ必要ヲ認メサルヤ
右及質問候也

行政裁判所評定官免官ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年三月七日

提出者 卜部喜太郎
賛成者 高木益太郎
外三十二人

行政裁判所評定官免官ニ關スル質問主意書
一 明治四十三年十月行政裁判所ハ松浦、樋山、由布三評定官ニ對シテハ何等ノ通告ヲ爲サシテ總會議ヲ開キ當時現ニ異状ナク執務シテ、アリシ右三評定官ヲ身神衰耗者トシテ行政裁判法第六條ヲ適用シ退職ノ決議ヲ爲シタリ此ノ決議ノ實體ニ付テハ大ニ論スヘキモノアリト雖此ノ點ハ姑ク措キ右三評定官ハ他ノ評定官ト均シク自己以外ノ評定官ノ身上ニ付テハ當然議事ニ參與スヘキ権利ヲ有スルニ拘ラス行政裁判所長官カ此ノ権利ヲ行ハシメサリシハ違法ノ處置ナリト思料ス政府ノ所見如何

二 政府ハ事行政裁判所ノ職權ニ屬シ他ヨリ容喙スヘカラサルモノトシテ三評定官ノ免職ヲ上奏シタリヤ

三 政府ハ行政裁判所ノ決議ハ如何ナル違法ノ點アルモ其ノ責行政裁判所ニ在リトシ其ノ儘之ヲ上奏スル見解ナルヤ

四 内閣總理大臣ハ山脇長官ニ松浦、樋山、由布三評定官ヲ退官セシムヘシト命シタルコトアリヤ

五 山脇長官ヨリ松浦評定官ニ送リタル書面ニ依レハ内閣總理大臣ハ松浦評定官ノ任意辭職ヲ條件トシ勅選議員候補者ト爲スコトヲ約シタルモノ、如シ果シテ此ノ如キ事實アリタルヤ

右及質問候也

鐵道改善ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年三月七日

提出者 水品平右衛門
賛成者 翠川鐵三
外五十五人

鐵道改善ニ關スル質問主意書

一 信越線中碓氷鐵道ハ目下其ノ原動力ヲ電氣裝置ニ變更スル工事中ナルカ右工

事竣成セハ現在ニ比シ幾何ノ牽引力ヲ増シ且速力ヲ早得ル乎又斯ル姑息ノ改良手段ニテハ到底交通頻繁ナル場合及貨物ノ激増セル時際ニ於ケル不便ト停滯トヲ匡救スル能ハサルノミナラス近ク中央西線ノ全通殊ニ富直線全通ノ曉ニハ必ス輸送力ニ不足ヲ告ケテ爲ス所ヲ知ラサルノ失態ヲ演スヘシト信ス政府ハ此ノ間ニ根本的ノ改築ヲ爲スノ意思無キ乎

一 同線中豊野、荒井間ハ其ノ勾配四十分一ノ坂路ニシテ牽引力ニ乏キ爲ニ他ト同敷ナル車輛ヲ聯結スル能ハサルニミナラス其ノ進行ノ遲緩ナル牛歩モ畜ナラサル觀有リ爲ニ既往現在ニ於テモ貨物停滯ノ事實多キコトナルカ近ク富直線竝中央西線全通後ニ於ケル乗客貨物ノ増加セル場合ヲ豫想スルニ於テハ其ノ停滯ト困難ハ一層甚シク率テ地方經濟力ノ發展ニ少カラヌ障礙ヲ與フヘシト信ス政府ハ如何ニシテ之ニ應セムトスル乎

一 中央東線中ノ篠ノ井線ハ牽引力ノ不足ナル爲速力ノ遲緩ナル上ニ少シク降雨ノ續クニ於テハ輒シ崩壊ヲ來シテ運輸交通ヲ杜絶スル西條明科間ノ如キ箇所有リ而シテ其ノ開通ノ目前ニ逼レル中央西線ノ全通スルニ於テハ此ノ間ノ交通運輸ニ一大激増ヲ加フヘキハ豫想スルニ難カラサル事實ナリトス政府ハ如何ナル施設ヲ爲シテ此ノ急ニ應セムトスル乎

一 信越線、中央東線俱ニ其ノ建設ノ不備ナルヲ別問題トスルモ其ノ發著度數ノ少キ(殊ニ直通及夜行列車ニ於テ)其ノ客車ノ粗惡ニシテ不潔ナル乗客ノ待遇宜シキヲ得サル貨物ノ取扱ニ注意ヲ缺ケル殆ト文明的機關ト見ル能ハサルモノアリ政府ハ之ニ向ツテ改善ヲ加フルノ意思無キ乎

右及質問候也

明治四十四年三月十一日

提出者 武藤金吉
賛成者 小久保喜七
外三十二人

東京株式取引所ノ新株式直取引ニ關スル質問主意書

一 政府ハ東京株式取引所ノ新株式直取引ヲ公益ヲ害スルモノト認メサルヤ

一 政府ハ何故ニ取引所ノ行爲法律命令ニ違反セシ東京取引所ノ新株式直取引ヲ斷然禁止セサルヤ

右及質問候也

(拍手起ル)

明治四十四年三月十一日

提出者 武藤金吉
賛成者 小久保喜七
外三十二人

東京株式取引所ノ新株式直取引ニ關スル質問主意書

○議長(長谷場純孝君) 議員多木余次郎君ヨリ病氣ニ付、明十五日ヨリ八日間請暇ノ願出がアリマス、許可シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ許可スルコトニ致シマス、質問第一、米國官憲ノ在布邦人ニ加ヘタル不法行爲ニ關スル質問、提出者千田軍之助君

(千田軍之助君登壇)
○千田軍之助君 諸君ハ諸君ノ御手許ニ配付サレテアリマスル質問趣意書ノ通り

米國官憲ノ布陸ニ在住スル我日本人ニ加ヘタルトコロノ不法行爲ニ關シ、政府ニ質問セントスルモノアリマス、此米國官憲ノ不法行爲タルヤ、一昨明治四十二年布陸ニ

起リタル同盟罷工ニ原因スル次第アリマスカラ、茲ニ質問ニ先ダシテ同盟罷工ノ概略

ノ議員デアリ、加之宮城縣ニ於ケル產馬組合員トシテ現ニ牝馬二頭ヲ有シテ年々此番殖飼養ニ從事シテ居ル者デアリマス、ソレ故ニ此馬匹改良方針ノ如何ニ依テハ獨リ全國ノ利害ニ關スルノミナラズ、延イテ我宮城縣ノ利害ニ關シ、又小ニシテハ一身ノ利害ニモ關スル深因縁ヲ有シテ居ルモノデアリマス、尙段々議會モ切迫スルニ從テ多クノ質問ヲ試ミントスルトコロノ議員ハ私ノ質問ハ簡單デアルト云フコトヲ前置キニサレマスガ、其簡單デアルト其斷リナサル方ミノ其演説ヲ聽キマスト、何時モ終リニ臨ンデ、之ヲ要スルニガニモ四回モ重ナルヤウデアル、私ハソレガナイ代リ簡單トモ何トモ言ヒマセヌガ、努メテ其要領ヲ摘ンデ問フトコロアラント云フコトヲ前置キニサレマス置キマスガ、馬匹改良事業ハ馬政局設置以來ノ實驗ニ徴シ、果シテ能ク豫期ノ目的ヲ達シ得ルノ見込アリヤ否ヤ、斯ウ云フノガ一ツデス、第一ハ馬政局ハ蘆毛、月毛、瓦毛ノ馬匹二種馬ニスルコトヲ禁止シ、且公認競馬場ニ於テ競走セシムルコトヲ禁ジタルノ理由ハ如何、斯ウ云フノニ外ナリマセヌ、何故カ日露戰捷以來我が陸軍軍人ハ自己ノ勢力範圍ヲ超エマシテ、サウシテ、自分ニ經驗ナキトコロノ事業、殊ニ此殖產興業界ニマデモ手ヲ伸バサントシテ居ルノデアリマス、凡ソ此殖產興業ナルモノハ幾多ノ經驗ヲ積ムモ而モ尙且其效果ヲ舉ゲルコトノ難い問題ニナシテ居ルノデアリマス、況ヤ戰捷以外何等ノ經驗ナキトコロノ軍人ノ手ニ於テ果シテ其效果ヲ舉ゲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、大ニ疑問トシテ見ナケレバナラヌトコロノモノデアルト私ハ信シテ居リマス、軍人ノ專橫跋扈ハ必ず戦捷後ニ來ルデアラウト云フコトハ日露戰爭當時ニ於テ何人モ豫想シタルトヨロノモノデアリマシタ、果然我陸軍軍人ノ專橫跋扈ト云フモノハ今ヤ其極ニ達シテ何デモ「サーベル」主義デナケレバナラヌト云フヤウナ世ノ中ニナシテ參ツタノデゴザイマス、斯ル現象ハ諸君果シテ國家ノタメニ慶ベキ現象デゴザイマセウカ、將タ悲ムベキ現象デゴザイマセウカ、本員ハ斯ル惡現象ヲ以テ國家ノタメニ大ニ歎カケレバナラヌモノデアルト信シテ居ルノデゴザイマス、歷史ノ證明スルトコロニ依テ見マスレバ、勢力ノ存スルトコロハ即チ權力ノ歸スルトコロデアルコトハ免ルベカラザルノ數ニナシテ居ルケレドモ、其勢力ナルモノニハ自ラ範圍ト云フモノガアルノデアリマス、然ルニ其勢力範圍ヲ超越致シマシテ、サウシテ他ノ權力範圍ヲ侵サンタルニ至リマシテハ其行ヤ僭越ナリ、又過分ナリト見ルヨリ外ニハ私ハ見ヤウガナイト思フノデアル、況ヤ經驗モナキ事業ニ手ヲ伸バサントシテ居ル、殊ニ產牛馬事業ノ如キハ幾百年ノ經驗ヲ以テシテ尙且其飼養繁殖ト云フ點ニ於テハ遺憾ガアッテ居ルノデアル、況ヤ是が軍人ノ手ニ於テ到底成功シ得ルト云フコトハ吾々が疑惑ハザルヲ得ヌノデアリマス、然ルニ此ノ如キノ事業、即チ軍人ノ柄ニモナキトコロノ事業、經驗ノナキトコロノ事業ヲ強テ己レノ勢力範圍ニ之ヲ奪ハントスルガ如キハ皆是レ軍人無上觀ヨリ割出サレタルトコロノ鉛木君ノ所謂陸軍絕對主義ノ謬見ヨリ割出サレタルトコロノモノガ設ケラレテ居ルノデゴザイマス、諸君ノ御承知ノ通リ民間ノ事業界ニハソレード分業ト云フコトが行ハレテ居リマス、民間ニ分業アル以上官界ニ於テモ亦分業ナカルベカラザルモノデアルト思フ、此故ニ政府ニハ各省アリ、省内ニ局課ノ設ケアリ、又地方廳ニモ各課ト云フモノガ設ケラレテ居ルノデゴザイマス、然ルニ我陸軍省ハ斯ル分業ノアルニモ拘ラズ、此分業ヲ懼ラズシテ他ノ權域ヲ侵シ、柄ニモナキコトニ自分ノ手ヲ下シテ其事ヲナサントスルガ如キハ綠言ナガラ甚ダ私ハ不心得千萬デアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス、電人ハ軍人トシテ自己ノ勢力範圍ニ於テ威張リ、又權ヲ揮フ、私ハ何等ノ不可ナキモノデアルト思フ、然レドモ其範圍ヲ超エテ、サウシテ他ノ權域ニ其威張リ、又其勢ヲ揮ハントスルガ如キハ、全ク國家ノ私ハ慶事ニアラザルモノデアルト思フノデアリマス、此點ニ付テハ我海軍ハ實ニ軍人ノ好龜鑑アルト思フ、彼ハ我カ陸軍行政部ノ如

ク何モカニモ皆自己ノ勢力範圍ニ收メントスルガ如キ横暴專恣ナルコトハ決シテナシテ居ラズ、獨リ我陸軍行政部ニ至シテハ其事柄ノ如何ニ拘ハラズ、何事ニモアレ、總テ皆自己ノ勢力範圍ニ之ヲ獨占セントスルニ至シテハ、大膽ト言ハシカ、將タ無謀ト言ハシカ、私ハ評スルニ適當ノ言葉ナキニ苦ムモノデアリマス、田舎ノ諺ニ何モカニモ雜ルコトヲ鼠ノ糞ト言シテ居ルノデアル、我陸軍ハ丁度此鼠ノ糞ノ如クデアル、何ニカニモ雜ラントシテ居ル有様ニナシテ居ルノデアリマス、即チ本日問ハントスルトコロノ此馬匹改良ノ件ノ如キモ其無經驗ヲ暴露シ、到底將來ニ於テ效果ノ奏シ得ザルコトヲ證シテ餘リアルモノデアリマスカラ、到底默視スルニ忍ビズ、此質問ヲ試ミントスルニ至ツタノデゴザイマス、諸君軍人ハ少シ馬ヲ見ルコトヲ知シテ居リマス、ソレカラ無論商賣柄トシテ馬ニ乘ルコトハ巧ミテゴザイマスケレドモ、諸君、此產馬事業ナルモノハ馬ヲ相スルコト、馬ニ乗ルト云フコト、即チ相馬乘馬ト云フコトハ未ニナシテ居ルノデアリマス、根本ト云フモノハ育馬蕃殖ニ馬ヲ育テ之ヲ殖スト云フコトが根本ニナシテ居ル、而シテ我陸軍軍人中本員ハ未ダ曾テ此飼養蕃殖ト云フコトニ經驗アル軍人アルヲ聞キマセヌ、如何ニモ軍人中ニハ馬ヲ見ルコトニ巧ミナ人モゴザイマセウ、乘ルコトハ勿論巧ミデゴザイマセウケレドモ、馬ノ實ニ思ハザルノ甚シキモノニシテ、丁度餅屋が酒ノ改良ヲ企シントスルト私ハ同一種類ノ飼養蕃殖ノ根本ニ至シテハ產馬地ヨリ選拔サレタル所ノ兵士ヲ除クノ外ハ將校中ニハ無論一人モ御經驗ノ奈イ事柄アラウト思フノデゴザイマス、然ルニ末技タル此乘馬ノ技術アルノ故ヲ以テ而シテ此產馬事業ニ手ヲ下シテ多大ノ效果ヲ收メントスルガ如キハ、馬ヲ見ルコトニ巧ミナ人モゴザイマセウ、乘ルコトハ勿論巧ミデゴザイマセウケレドモ、吾々デゴザイマセウケレドモ、吾々國民ノ側ヨリ之ヲ視、吾々當業者側ヨリ之ヲ見マスルモノデアラウト信ズルノデゴザイマス、現政府ノ國民ヲ見ルコトハ諸君ノ御承知ノ如ク平時ニ於テハ納稅機械ト心得テ居ルノデアル、而シテ戰時ニアッテハ戰闘機械ト斯様ニ心得テ居ルガ如ク、見エマスルカラシテ、之ガタメニ無用ニ多大ノ經費ヲ費スコトハサマデ思馬寮ト云フモノガゴザイマス、又政府ニハ農商務省ト云フモノガゴザイマス、各地方ニハ勸業課ト云フモノガゴザイマス、當業者間ニハ產牛馬組合ナルモノ何レノ地方ニモ設ケラレテ居ルノデゴザイマス、然ラバ此事業ニ關シテ何等經驗ナキトコロノ軍人ノ手ヲ私ハ煩ハスノ必要ト云フモノハ少シモナインゴザイマス、又縱シ軍人ガヤツテ吳レト言ハレテモ、ソレハ私ノ柄ニナイコトデアル、經驗ノナキコトデアルカラシテ寧ロ經驗ノアル方ニヤラシタ方ガ宜カラウト忌避セシケレバナラヌ事業デアルト、私ハ思フノデアリマス、然ルニ已レ自ラ此事ヲ自覺シテ居リナガラ、而シテ到底效果ノ舉ゲ得ザルモノニ對シテ得ルトシテ居ルガ如キハ、全ク國民ニ對シテ不親切ナルノミナラズ、國費ヲ濫費ト云フモノモ出リマスカラシテ、其經費ノ半ば以上無效ニ費スコトハ何トモ思ハス、不心得ノ致ストコロデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、現ニ馬政局ヲ設ケマシテ以來四五年ニナリマシテ、何等效果ノ舉ラズト云フコトハ、世間ノ皆等シク見テ居ルトコロテアル、ソレ故ニ當期議會ニ於テモ先頃齋藤宇一郎君ノ紹介トシテ軍馬育成所廢止請願ト云フモノモ出テ居ル、此軍馬育成所廢止請願ト云フコトハ最早到底此軍人ノ手ニ於テハ產馬事業ノ將來ト云フモノハ實ニ悲觀スルヨリ外ナイト云フ見地ヨリ出テ請願デアルト思フ、之ハ論ヨリ證據アル、今日今ノ通リ軍馬育成所設ケ置キマスト云フ、其飼養管理

シテ居ル點ガアラウト思フ、若シサウ云フ御自覺ガアルナラバ、斯ク／＼ノ次第アルニ
デアリマスガ、併ナカラ當局者トシテハ既ニ經驗ヲ積マレタルコト五年ニモ及シテ居リマス
カラ、必ズヤ將來效果ヲ收ムルトコロノ見込ガアルト信ジテ居ル點ガアラウト思フ、自覺
シテ居ル點ガアラウト思フ、若シサウ云フ御自覺ガアルナラバ、斯ク／＼ノ次第アルニ
依テ、必ズ效果ヲ奏シ得ル見込デアルト云フ御答辯ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス、ソ
レカラ諸君、我馬政局ニ於テハ何故カ蘆毛、月毛、瓦毛ノ二種ノ馬匹ヲハ種馬トスル
コトヲ禁止シマシタ、是ハ何故デアラウカ、私ハ殆ド其禁止ノ意ヲ解スルニ苦シニ居ル者
デゴザイマス、併セテ公認競馬場ニ於テ此三種ノ馬ヲ出場競争セシムルコトヲ禁ジテ居
リマス、即チ昨年ノ六月ニ於テ公認各競馬俱樂部ニ對シテ命令ヲ發シタ、此點ハ私ハ
甚ダ不審ニ堪ヘヌノデゴザイマス、諸君ノ御承知ノ如ク日本ニ於テ蘆毛ト言ヘ昔ハ大
臣大將ノ乗馬トシテ連鑄蘆毛ノ馬ニ金覆輪ノ鞍フ置イタト云フコトハ、文學上美的ニ書
綴ラレテ居ルトコロノモノニアリマスノミナラズ、我宮城縣ヨリ出タトコロノ彼ノ池月即チ
梶原景季ト佐々木高綱此兩雄が涎ヲ流シテ爭ヒタル池月ナル名馬、是モヤハリ蘆毛テ
ゴザイマンシタワウダ、此蘆毛ト云フモノハ日本ノ名馬トシテハ特產ニナツテ居ル此名馬、特
種ナル名馬ノ種デアルモノヲ何故ニ馬政局ハ之ヲ種馬ニスルコトヲ禁ジテ居ルカ、何故
ニ競馬市場ニ競走スルコトヲ禁シタノアルカ、假ニ理由ニ依クテ禁ジタルモノトシテ此禁シ
タルコトヲ是認スルトシテ果シテ此禁止ノ旨趣ヲ實行シテ居ルヤ否ヤト云フ點ニ付テ考ヘ
テ見マスルニ、此點ニ於テモ我馬政局ハ甚ダ矛盾シタル行動ヲ執ツテ居ル、ソレハ何シテ
アルカト云フト昨年ノ秋季藤枝競馬俱樂部ニ於テ競馬開催ノトキ既ニ此禁止シタル蘆
毛ノ馬ヲ出場競走セシメ其蘆毛ノ禁止馬ノ勝利トナルヤ、馬政局ハ之ニ對シテ賞金ヲ
與ヒテ居リマス、諸君、是ハ何タル矛盾ノ行爲デゴザイマセウ、蘆毛ノ馬ヲ種馬ニスルコ
トヲ禁止シ、而シテ競馬市場ニ競走スルコトモ禁シテ置イタニモ拘ラズ、實行ニ至リマシ
テハ公然トシテ之ヲ許シテ此違反ヲ許シテ、獨リ許シタルノミナラズ、之ニ對シテ違反獎
勵デアルカ何カ知リマセヌガ、更ニ賞金ヲ與ヒテ居ル、擴著ト言ハシカ、無方針ト言ハシ
カ、私ハ馬政局ノ方針ノ存スルトコロガ那邊ニアルカヲ知ルニ苦ムモノニアリマス、サウカ
ト思フト又昨年ノ秋季松戸ノ市場ニ於テ開催當時ハ、如何デアリマシタカ、ヤハリ此蘆
毛ノ馬ヲ番組中ニ登録シタルニモ拘ラズ遂ニ突如トシテ之ヲ取消シテ、サウシテ此馬主ニ
多大ナル損害ヲ被ラシメテ居ル、斯ウ前後甚ダ矛盾シタル行爲ヲ爲シテ居ルノデゴザイマ
ス、曩ニハ之ヲ禁止シ、而シテ禁止シタル馬ヲシテ藤枝ニ於テハ番組ニ組入レ、而シテ之
ヲ競走セシメ、其馬が勝テバ之ニ賞金ヲ與ヒテ居ル、松戸ニ於テハ又之ニ反對シタルト
コロノ方針ヲ執ツテ居ルノデゴザイマス、ドウ考ヘテモ我馬政局ナルモノ、方針ノ存スル
タル失策ト云フモノヲ演シテ居ルノデゴザイマス、此ノ如キモ尙且馬政局ハ吾々「サ
ベル」ノ力ニ依シテ馬ヲ育テ馬ヲ殖ヤシ得ルト強辯スルノ勇アリヤ否ヤ、見事軍人ノ力ニ
モ——失態ガナイニシテモ土臺此「サーベル」連中ガ馬ヲ殖ヤシ馬ヲ養フト云フコトハ到底
其效果ヲ奏スルコトノ出來ナイモノニアルト思ウテ居ルノニ、搗テ、加ヘテ此ノ如キ歴々
諸君ノ即チ腰間ニ帶シテ居ルトコロノ「サーベル」光ノ如キ是等ノ點ニ關シテ一默黙リナ
キ御答辯アランコトヲ私ハ希望スルノデゴザイマス、尙進シテ評論ヲ試ミ、更ニ議論ヲ試
ミタインデアリマスケレドモ、最早議長ノ方カラ注意ガアリサウニモ思ハレマスカラシテ、此
邊ニ於テ私ノ演説ハ止メテ置キマス、唯願フトコロノモノハ軍人諸君ノ「サーベル」アラノ

問——ト部喜太郎君

留喜大良君登壇

○議長(長谷場純孝君) 第三、朝鮮民團議員任期延長ニ關スル質問ハ提出者ノ趣意書ニアルが如ク質問趣意ノ演説ヲ要セズトゴザイマスカラ、其通り計ヒマス、第四延期、第五モ延期期ノ申出ラレマシタ、第六、行政裁判所評定官免官ニ關スル質問——ト部喜太郎君

(下部喜太郎君登壇)

(拍手起ル)

○ト部喜太郎君 諸君、私ハ行政裁判所評定官免官ニ關スル質問ノ趣意ヲ辯明致シマス、質問致シマスル事項ハ細カク質問書ニゴザイマスカラシテ、一々各項ニ亘ツテノ辯明ハ書面ニ譲リマシテ、其大體ノミニ付テ質問ノ趣意ヲ辯明致シマス、行政裁判所ハ普通裁判所ト相對立致シマシテ、憲法ノ第六十一條ニ依ツテ設ケマシタコロノ特別裁判所ニアリマスル、サウシテ此行政裁判所ノ管轄ニ屬スベキ事件ハ種々ノ法令ニ規定シテアルノデアリマスルケレドモ、其主ナルモノハ行政官廳ノ不當處分又ハ違法處分ニ依ツテ権利ヲ侵害セラレタル一個人ノ権利ヲ救濟スルト云フ事柄が行政裁判所ノ目的デアリマス、上ハ内閣大臣ノ行政處分ヨリ下級ノ行政官廳ノ行政處分ニ至ルマデ苟モ其行政處分ニ違法ノ點アリ、不當ノ廉ガアリマシタラバ、其處分ニ依ツテ権利ヲ侵害サレタトコロノ一個人ハ行政裁判所ニ訴ヘマシテ、此裁判ノ結果ニ依リマシテハ、國務大臣ノ處分ト雖モ全部其取消シヲ命ぜラルコトノアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスル、ソレ故ニ行政裁判所ト申シマスルモノハ行政官ノ職權ノ濫用ヲ防止シ、非行ヲ監督スルトコロノ最上ノ監督機關ニアリマスル、斯ノ如キ重要ナル權限ヲ持ツテ居ル行政裁判所ニアリマスカラシテ、此裁判ノ任ニ當リマスルト云フコトコロノ評定官ノ進退ト申シマスルモノハ、無論法律ノ保障ガアルノデアリマスル、内閣ノ干渉ナトガ許サナイノデアリマスル、嚴然トシテ國務大臣ト獨立ノ位地ニ立ツテ居ラナケレバ、ナラヌノデアリマスル、恰モ司法官が行政官ト獨立ノ位地ヲ持ツテ居ルト同ジク又彼ノ會計検査院が國家ノ會計ノ監査ニ關シマシテハ國務大臣ト獨立ノ位地ヲ持ツテ其職權ヲ行使シテ居ルノト同様ニ其位地ト云フモノハ高イモノアリマスル、此ノ如ク重大ナル職責ヲ持ツテ居リマスルトコロノ評定官ノ進退ト云フモノハ、最モ重ンシナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイコトニアリマスル、然ルニ昨年ノ十月行政裁判所ノ評定官デアリマシタコロノ松浦、樋山、由布、此三評定官ニ對スルトコロノ免官ノ處分ト申シマスルモノニ對シマシテハ、幾多ノ疑義ガアルノデアリマスル、其第一ハ此三評定官ノ退職ノ決議ヲ致シマシタコロノ總會ノ通告ト云フモノヲ此評定官ニ爲サナイノデアリマスル、然ラバ此二人ノ評定官ハ當時如何ナル狀態デアツダエラウカト申シマスルト云フト、別段ノ異狀ナク毎日行政裁判所ニ出テ其職務トスルトコロノ裁判事務ヲ取扱ツテ居ツクノアリマスル、然ルニ行政裁判所ニ於キマシテ此行政裁判法ノ第六條ヲ適用致シマシテ、總會ヲ開いて退職ノ決議ヲ致シタノデアリマスケレドモ、其總會ノ召集ニ關シテ二名ノ評定官ニ何等ノ通告ヲ與ヘナイト云フ事柄ガ一ノ疑問デアリマスル、ノミナラズ此三人ノ評定官ハ他ノ評定官ト同ジク自己以外ノ評定官ノ身上ニ付テハ當然議事ニ參與スベキ權利ヲ持ツテ居ルコトハ疑ナインデアリマスルノニ、行政裁判所長官ガ此三氏ノ退職ヲ決議スルトコロノ總會ニ於キマシテ、此三氏ノシテ自己以外ノ評定官ノ進退ニ關スルトコロノ決議ニ參與セシメナイト云フ事實ガアルノデアリマスル、唯斯様ニ申シマスルト身體精神衰弱ノ故ヲ以テ退職ヲ命ズル評定官ニ總會ノ通知ヲ發シ、又ハ議事ニ參與セシメルト云フ必要ガナイデハナイカト云フ論ガアルノデアリマセウケレドモ、併ナガラ苟モ行政裁判所ノ評定官ノ總會ニアリマスル以上ハ、現ニ評定官ノ職責ヲ持ツテ居ルトコロノ人ニ對シテ總會ノ

通知ヲ發シ、總會ノ席上ニ於テヤハリ發言ノ自由ヲ得セシメナケレバナラヌト云フ事柄ハ申スマデモナイコトデアラウト思フノアリマスル、果シテ決議ノ目的トナツテ居リマスルトコロノ評定官ハ身體精神ノ衰弱ノ状態アルヤ否ヤト云フコトヲ見ルニ付テハ、其人ノ身體ニ親シク接シテ、其人ノ發言ヲ親シク聽イテ、初メテ判断ノ出來ル問題アルノアリマスル、勿論其決議ヲナス場合ニ於キマシテハ評定官自身一身上ノ關係ノアル事柄デアリマスルカラ決議ノ數除斥セラルベキト云フ事柄ハ是ハ當然ノコトデアリマスル、ケレドモ免モ角總會ノ通知ヲ發シ、總會ノ席上ニ於テ發言ノ機會ヲ得セシメナケレバナラヌト云フ事柄ハ、是ハ道理上當然ノコトデアルノミナラズ、行政裁判法等ニ依テ見マシテモ、斯様ナル場合ニ通告ヲ發シナイテ總會ヲ開イテモ宜シイト云フヤウナ規定ハナノアリマスル、ソレノミナラズニ一名ノ評定官ノ問題デアリマスルガ、自己以外ノ進退ニ關スル決議ニ對シマシテハ無論其決議ノ數ニ加ハラセナケレバナラヌモノアリマスル、若シ然ラズト云フヤウナコトニ致シマスルト云フ、甚ダ危險ナ結果ト云フモノヲ豫想スルコトガ出來ルノアリマスル、例ヘバ十五名ノ評定官ノアル場合ニ其中ノ十名ヲ精神身體ガ衰弱者ナリト云フ理由由退職ヲサセヤウト五名ノモノが出来往テ、サウシテ十名ノモノニ對シテ退職ノ決議ヲナスト云フコトモナシ得ル事柄アリマス、現ニ昨年十月ニ評定官三名ヲ退職シタルガ如キ、形式ヲ以テ總會ノ決議ヲナシ得ルト云フコトニナリマシタナラバデス、少數ノモノ多數ノモノモ退職スルコトが出來ルト云フヤウナ危險ノアルト云フコトヲ見テモ、斷シテ此重大ナル行政裁判所ノ評定官ノ進退ニ關シテハ赦スベカラザル處置アルト云フコトヲ申シテモ決シテ間違タ言葉デハナイト本員ハ堅ク信シテ疑ヒナインデアリマスル、即チ此點ニ對シテ政府ハ果シテ昨年ノ十月ニ行政裁判所ガニ評定官三シテナシタルトコロノ退職ノ決議ト云フモノハ法律ニ背キタルモノト認メザルヤ否ヤ、若シ示サレント私ハ希望スルノアリマスル、ソレカラ唯今申シマスルガ如キ三評定官ノ退職ニ關スルトコロノ行政裁判所ノ總會ノ決議ト云フモノハ法律ノ規定ニ背イタモノアリマス、此事柄ト云フモノハ行政裁判所ノ職權ニ屬スルコトアルカラシテ、他ヨリ勿論是ニ容喙ズベキモノナイト云フ理由ノ下ニ、三評定官ノ免職ヲ上奏シタモノアリヤドウカ、行政裁判所法第六條ニ據リマスルト云フト、「内閣總理大臣ハ行政裁判所ノ總會ノ決議ニ因リ其退職ヲ上奏スルコトヲ得」トアルノアリマスルが、此總會ノ決議ト云フモノが法律ニ背イテ居リテモ内閣總理大臣ハ此條文ニ據テ上奏ヲ爲サレタト云フ意味ニ解シテ然ルベキデアルカドウカト云フ點ニ付テ、政府ノ意見ヲ承ハリタノアリマスル、質問ノ第三點ハ書面ニ譲リマスルガ、第四ニハ内閣總理大臣ハ山脇行政裁判所長官ニ松浦、桶山、由布、三評定官ヲ退職セシムベキ内命シタト云フ事實アリヤ否ヤ、此問題ハ甚ダ大キクナッテ來ルノアリマシテ、國務大臣ニ對シテモ獨立ノ位置ヲ持テ居リマスル、此事ニ付テハ此退職ヲ命セラレタコロノ重大ナル責任ヲ持テ居リマスル、行政裁判所ノ評定官ノ進退ト云フヤウナコトニ對シテ、内閣總理大臣ガ内々干渉ラスルト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、行政裁判所ノ獨立ト云フモノモ危クシテ、行政裁判所ヲ設置シ、行政ノ監督ノ權ヲ與ヘシ精神ト云フモノヲ全ク失フ結果ヲ來スノアリマスル、此事ニ付テハ此退職ヲ命セラレタコロノ三評定官、此三評定官ノ他人ニ話シマシタコロノ談話等ニ據リマスルト、内閣總理大臣ガ是ニ干渉シタモノデハナイカト云フ疑存スベキ理由ガアルノアリマスルカラシテ、此點ヲ明瞭ニシテ置クト云フ事柄ガ行政裁判所ノ神聖ヲ保ツ上ニ於テ最モ、必要ナコトト信ズルノアリマスルカラ、其事實ノ有無ト云フコトニ付テ政府ノ確答ヲ願フノアリマスル、質問

○水品平右衛門君登壇
(水品平右衛門君登壇)
○水品平右衛門君 私ハ鐵道改善ニ關スル質問書ヲ提出致シテ置キマシタカラ、其質問ノ大要ヲ簡單ニ申述ベヤウト思ヒマス、信越線中碓氷鐵道デアリマス、此碓氷鐵道ハ關東地方ヨリ北陸及信越方面ニ通ジマスルトコロノ最モ樞要ナル要所デアリマシテ、古來交通運輸が非常ニ頻繁ナル場所アルノアリマス、然ルニ此場所ニ建設致シテ居リマスルトコロノ鐵道ハ勾配が十五分ノ一ト申ス急勾配デアリテ、僅ニ七哩ニ二鎮ノ所ニ大小二十六ノ墜道ガアル、ソコヘ「アブト」式ヲ用井テ居リマスル鐵道デアリマス、之ガタメニ牽引力ハ非常ニ薄弱デアル、又速力モ非常ニ遲緩ナノアリマス、デ斯様ナ場合テ居リマスルカラ、補助機關ヲ用井マシテモ、一回ニ僅ニ三十車乃至十一車位ヨリ餘計ニ車輛ヲ連結スルコトが出來ナインデアリマス、而シテ之ヲ一晝夜——一晝夜ニドノ位往復スルコトが出來ルカト云フ、最極度ガ十回即ち百車乃至百十車位ヨリ多クノ車輛ヲ運轉スルコトが出來ナインデアリマス、此關東ト北陸方面ノ最モ樞要ノ局部ニ於テ僅ニ一日百車乃至百十車位ノ貨車乃客車ヲ運轉スルコトが出來ナインデアリマスカラ、少シク貨物ノ多イトキニナリマスルト、必ズ停滯致シマシテ横川、高崎アタリニ少カラヌ停滯貨物ヲ生ジ、又上野秋葉原等ニ於テハ輸送ノ荷物ヲ受付ケナイト云フヤウナ實況デゴザイマシテ、之ガタメニ此地方ノ商工業ニ不利益ヲ及ボスコトハ少カラナイノアリマス、デ獨リ此貨物ニ對シテ此ノ如キ實況ナルノミナラズ、此乗客ニ對シテモ往々不

便不都合ヲ與ヘルノアリマス、ソレハ上野若クハ上武地方ヨリスル貨車ハ平坦地デアリマスカラ、二十車ナリ二十車ナリ連絡シテ參リマスルノアリマスガ、最モ此局部ニ参リマスルト十車以上ヲ運轉スルコトが出來マセカラ、勢ヒ或場合ニハ其乗客中ノ一部ヲ横川へ下シ、若クハ向フカラ參リマスルノハ輕井澤ニ下シテ、サウシニ牽引シ得ラル、運搬シ得ラル、ダケノ客車ヲ引イテ行クト云フヤウナ實況アル、即ち貨物ニ於テ停滞ガアルノミナラズ、或場合ニハ人間ノ停滞ヲ見ルト云フ實況ナドアリマス、此ノ如ク建設當時ニハ或ハ相當ノ便利モアリマシタノアリマスケレドモ、今日總テノ改良進歩致シマシタ場合ニ於キマシテハ此鐵道ハ殆ド此今日ノ機運ニ副コロノ能力ガナインアリマス、デ自分ガ此局部ノ改良ニ付イテイロ／＼調査ヲ致シマシテ、一二十五議會ニ於テ此局部ニ一ツノ迂回線ヲ設ケタイト云フノ建設案ヲ提出致シマシテ、諸君ノ御賛同ヲ得マシテ、建議ヲ可決ヲ致シマシタガ、政府ハ之ヲ採ラズシテ此間ニ唯今ハ蒸氣デヤテ居リマスガ、電氣裝置ニ改メテ、サウシテ機關車ヲ減シ、ソレカラ速力モ多少増シマスカラサウ云フ風ニシタナラバ宜カラウト云フノデ、電氣裝置ノ改善ヲ爲シマシテ此六七月ニハ成功スルト云フコトアリマス、デ是ニ於テ私ガ問ハント欲スルノハ此政府ガ電氣裝置ニ改メマシタ結果、牽引力ガドノ位増シマスカ、ソレカラ速力デス、速力ガドノ位増シマスカ、此點ヲ聽キタインアリマス、デ私ノ聽クトコロヲ以テスレバ此電氣裝置ニ改メマシタメニ二割若クハ二割マデハ増サナイト云フコトヲ聽イテ居リマス、若シ此政府ガ電氣裝置ニ改メマシタ結果、一割乃至二割位ノ牽引力、速力ヲ増シタケデアリマスレバ、今日ヨリ爲ザザルヨリ勿論優シテ居リマスケレドモ、此間ニ於ケルトコロノ不便不利ヲ除キ去ルコトハ依然トシテ出來ナイモノアラウト思フノアリマス、即チ交通運輸ノ頻繁ナルトキニ當リマスレバ、今マデヨリ多少ノ不便ハ除キ得アモ、相變ラズ貨物ノ停滞、人間ノ乗客ノ降車ト云フコトハ免レナイデアラウト思ハル、ノアリマスガ、政府ハ果シテ此改築ニ依ツテ此改良ニ依ツテ果シテ此不便ヲ除キ得ラレルト云フ見込ガ——成算が確ニアルノデゴザイマスカ、殊ニ此中央線、中央西線、是ハ目前ニ開通致スコトニナシテ居リマスガ、此方ハ大シタ關係ハゴザイマセヌガ、此富直線——富山直江津間ノ鐵道が出來マレバ、此間ニ於ケルトコロノ交通運輸ト云フモノハ必ズ四割ヤ五割ハ増スコトハ明カナル事實デゴザイマス、此場合ニ於テ此電氣裝置ニ改メタ位デ果シテ此急ニ應ズルコトが出來マセウカ、必ズヤ私ハ其際ニ至シテ政府ハ——當局者ハ大ニ狼狽シテサウシテ此交通運輸ニ一大障害ヲ與ヘルヤウナ失態ヲ爲シハシナイカト云フ虞ガアルノアリマス、デ政府ハソレモ尙此姑息ナル改築ヲ以て足レリトスルノアリマスカ、或ハ進シテ此際ニ迂回線ヲ設クトカ、若クハ複線ヲ設クトカ云フヤウナ根本的ノ改良策ヲ加フルノ意志ガナノイデアリマスカ、此點ヲ一ツ聽キタインアリマス、次ハ此ヤハリ信越線ノ中ニアリマス、斯ガ、豊野新井間アリマス、是モヤハリ前ノ碓氷鐵道程ゴザイマセヌガ、ヤハリ急勾配テ四十分ノ一ノ勾配ノ場所アリマス、是モ機關車一輛ニ付テヤハリ十一輛、上リガ十一輛、下リガ十一輛シカ聯絡が出來ナインアリマス、信越ノ他ノ平坦線ゴザイマスト、此倍位ノ車輛ヲ聯絡シテ牽引スルコトが出來ルノアリマス、此以上僅カ十輛若クハ十一輛位上リ下リニ貨車ヲ聯絡スルコトが出來ナイ、又速力モ客車ニシテ一時ニ十五哩、貨車十三哩位進行スルノデ、幾ド牛ノ歩ミモ啻ナラヌノアリマス、最モ遲緩ナル速力アルノアリマス、之ガタメ此場所モ乗客ノ方ニハ別段不都合ハゴザイマセスケレドモ、貨物デ最モ不便ヲ與ヘテ北陸及越後方面ヨリ信州方面ニ參リマストコロノ貨物ハ常ニ此線路不十分ナルタメ停滯が始終アリマシテ、ソレガタメ地方ノ商工業ニ歎カラヌ不利益ヲ興ヘテ居ルノアリマス、今ヤ富直線が追と開通スルコトニナシテ居リマ

スガ、此富直線が出來上リマシタキニ此線路ハ今日以上ニ益激増スルノアリマス、勿論貨物ニ付テハ今日ノ倍位ニナラウト思ヒマスガ、政府ハドウシテ此現在テスラ停滯致シテ地方商工業者ニ不利益ヲ與ヘテ居ルノニ、ドウシテ富直線聯結後ノ激増ニ對シテ遺憾ナカラシムルコトが出來ルト云フ考ヲ持シテ居ラル、ノアルカ、私ハ大ニ此點ニ付テ心配スルノアリマス、聞クトコロニ據レハ此往復度數ヲ速力ヲ多クスルタメ此局部ニ交叉點ヲ設ケテ交叉スルタメ、新停車場ヲ設ケルヤウナ説モアリマスサウデアリマスケレドモ、トテモ其ヤウナ姑息ノ方法、改善方法アリ此間ノ不便ヲ除去スルコトが出來ナイト思ヒマス、結局此間ニハドウシテモ複線ヲ設ケナケレバ此富直線成工後ノ激増スル貨物ニ満足ヲ與フルコトが出來ナイト思フノアリマス、政府ハ果シテ如何ナル改善法ヲ以テ之ニ應ズル考ガアルノアルカ、其點ヲ聽キタイノアリマス、次ハ篠ノ井線ニテアリマス、即チ中央東線一部ノ篠ノ井線アリマス、是モ頗ル急勾配ノ場所アリマシテ、常ニ牽引力ガ薄弱アッテ又貨物ノ停滯等ガアリマス、殊ニ此間ハ西條明科間ニ最モ悪ルイ場所ガアッテ、少シク降雨等ガアリマスト、必ズ崩壊シテイツモ交通運輸ヲ絶ツト云フ線ナルノアリマス、是モ中央線ガ二三箇月後ニハ開通スルノアリマスカラ、西線開通後ハ此線路ハ又貨物が激増スルニ相違ナリ、此線路が開通シテ大阪若クハ名古屋方面ヨリ信越方面ニ輸送スル貨物ハドウシテ現在ノ篠ノ井線ノミニ連搬シ得ルカ、私ハドウシテモ現在ノ儘ハ之ニ應ズルコトが出來ナイダラウト思フ、出來ナイデ徒ラニ此貨物ヲ停滞セシムルコトニアリマスト、地方ノ商工業ニ對シテ妙カラヌ障害ヲ與ヘルノアリマスカラ、此點ニ付テハ安心ノ出來ルヤウナ説明ガ欲シノアリマス、又碓氷線ノ豊野新井間、ソレカラ篠ノ井線、孰レモ建設ノ不十分ナルコト、不備ナルコト、不完全ナルコトハ以上申述ブル如キモノデゴザイマシテ、是ハ別問題ト致シマシテモ往復度數ニ妙イコト、ソレカラ客車ノ粗造アッテ不潔ナルコト、ソレカラ乗客ニ對スル待遇ノ惡ルイコト、貨物取扱振亂暴ナルコトハ實ニ他ノ鐵道ニ見ルコトノ出來ナイヤウナ實際ナルノアリマス、往復ノ度數ニ付テハ現在上野新潟ニ直通ガアリマスケレドモ、是ハ直通ノ名ガアッテ實ガナイ、實ニ選タルモノナル故ニ、ドウシテモ是ハ此間ニ今一ツ急行列車ヲ設ケテ貫ヒタイト云フコトハ沿道一般ノ希望アリマス、又此間ノ如キ交通ノ多イ所ニ於テノ急行列車ノアル位ハ當然ノコトアラウト思フ、他ノ幹線ニ比較致シマシテモ、亦此中央東線、即チ飯田町ヨリ甲府、諏訪、松本、篠ノ井ニ聯絡スル此鐵道ニハ、東京ヨリスル夜行列車がマルデ無イ、所が此線路ニハ御承知ノ通り甲府等ガゴザイマシテ、製絲、生絲、生繭等ノ運搬ニ最モ關係アル土地アリマシテ、餘程急速ヲ要スル仕事が多イノアリマス、現在飯田町ヨリ夜行列車が無イタメ地方人ノ不便不利ハ一通ナラガタメニ信越線ハ始終滿員アッテ、イツモ一等若ク二等ノ方ハ乗客が押シテ來ル、此スノデアリマス、是モ他ト同様夜行列車ヲ設ケテ貫ヒタイノアリマス、政府ハ果シテ左様ナ考ガ有ルカ無イカ聽キタイノアリマス、又客車ノ不潔ナルコトハ非常ナモノア、一等車、二等車ハ僅ニ境ヲ接シタノガ一輛ト、後トニ二等車ガ一輛具ヘアルノミデアル、ソレ多イノアリマス、現在飯田町ヨリ夜行列車が無イタメ地方人ノ不便不利ハ一通ナラガタメニ信越線ハ始終滿員アッテ、イツモ一等若ク二等ノ方ハ乗客が押シテ來ル、此夜行列車ナドハ上野ニ於テ二等ハ満員デ、札ヲ賣ラヌヤウナコトハ實際アルノアリマス、而カモ一等車、二等車ノ如キハ他ノ東海道線其他ニ較ベマスト、非常ニ粗惡ナモノデアッテ、孰レモ此方面ニ於ケル古物デモ引張り來リマシテ修繕ヲ加ヘタヤウナ不潔極マル客車ヲ用井テ居ルノアリマス、三等車ニ至シテハ一層ヒドイ、幾ド田舎ノ圓太郎馬車デモ、是ヨリ綺麗ダト思フヤウナモノヲ持ツテ來テ用井テ居ルデアリマス、此不潔ナル客車ニシテサウシテ多クノ隧道ノ中ニ少ナカラヌ石炭ノ煙ヲ浴ビツ、旅行スルノアリマスカラ、此方面ノ旅客ノ不快ヲ感ズルコトハ非常ナモノアリマス、是等ノ如キハ政府ハ宜シ

ク此改善ノ方法、改良ノ設備ヲナシテ宜カラウト思フガ、果シテドウ云フ設備ヲスル考デアルカ、其邊ヲ聽キタイノデアリマス、又此中央線ニハ一等車ガナイノデアル、是モ一大缺點デアルノデアリマスカラ、一等車ヲ設ケルコト位ハサウ多クノ金モ要スル譯ニアリマセヌカラ、宜シク設ケラ宜カラウト思フ、此點ニ付テハ政府ノ改良上ニ意見ヲ聽キタイノデアリマス、之ヲ要スルニ此鐵道ノ運輸交通ノコトハ此地方ニ限リマセコトニアリマスケレドモ、地方殖産商工業ニハ最モ重大ナ關係ヲ持テ居ルノデアリマシテ、現在此信越方面ノ鐵道ノ不完全ナル點ニ付テハ地方ノ人民ハ非常ニ不平ノ念ヲ抱イテ、殆ド鐵道局ハ信越ノ人民ヲ侮辱シテ居ルノデナカラウカト云フ不平ノ聲ヲマテ放ジテ居ルノゴザイマスカラ、政府ハ宜シク此點ニ付テ十分ニ御調ベラサレマシテ、以上各點ニ付テ親切ニシテ責任アルトコロノ答辯ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 東京株式取引所ノ新株式直取引ニ關スル質問、武藤金吉君

(武藤金吉君登壇)

(拍手起立)

○武藤金吉君 簡單ニ質問ノ理由ヲ説明ヲ致シマス、私ノ質問ハ政府ハ東京株式取引所ノ新株式直取引ハ公益ヲ害スルモノト認メザルヤ、モウ一ツハ政府ハ何故ニ取引所ノ行爲法律命令ニ違背スヘキ東京株式取引所ノ新株式直取引ヲ速ニ禁止セザルヤ、是ダケデアリマス、此東京株式取引所ノ新株式直取引ハ御承知ノ通リ明治四十一年カラ直取引ノ賣買ヲ許サレテアルノデアリマス、然ルニ略、今直取引ノ賣買ハドノ位出來テ居ルカト申シマスレバ、株式所ニ届出ノアルノハ毎日四五万デアリマスガ、全國各所ニ於キマシテ賣買シマスノハ五十万以上マテアルノデアリマス、諸君、東京株式所ノ株ハ全體十六万シカナイノデ、然ルニ五十万ノ取引ノ出來マスノハ是ハ政府當局ハ公益ヲ害シテ居ルモノデアルト認メナイノデアリマスカ、直取引ハ讀ンデ字ノ如ク直取引アルノデアル、然ルニ此十六万シカナイモノガ一日ニ喰合高が五十万ニナシテ居ル、而シテ政府ハ之ヲ公益ヲ害シテ居ルト認メナイノデアリマスカ、現ニ此取引ノ方法ヲ御覽ナサイマセ、今日ハ此全國ニ瓦リマンシテ免許ヲ受ケナイトコロノ直取引ト云フモノハ津浦ノ端マテ彌蔓シテ居ルモノデアリマス、現ニ之ガタメニ電報、電話ノ取引ト云フモノハ到ル處ニ蔓シテ居リマシテ、サウシテ其取引ノ有様ヲ見マスレバ僅ニ一株ニ付テ一圓ヲ張リマスレバ、賣買が出來ル、甚シキハ一株ニ付テ地方ナドニ參リマスト一圓ヲ張リマスレバ、賣買が出來ル、サウシテ此直取引竝ニ現物賣買ノ道ノ鑑札ヲ受ケテ居ナイモノハ今日ハ兜町附近ニ於キマシテ七八十人仲立業ト稱シテ公然ト賣買シテ居ル、其中ニハ前科者モアレバ、甚シキハ世間ニ云フ博徒ナルモノが公然ト其處ニ出入シテ居ル、今日兜町附近小網町並茅場町アノ附近ノ有様ヲ見マシタナラバ、公然タルトコロノ賭博デアリマス、此賭博ヲ政府ハ何ト見テ居ルノデアリマス、今日此直取引賣買ト稱スル美名ノ下ニサウシテ取引所ノ場ニ掛ケマセヌデ、例ヘ定期取引仲買若クハ現物賣買ト云フ免許ヲ受ケナイモノガ方々ニ賣買が盛ニ行ハレテ居ル、世間が敢テ怪マス、政府モ敢テ怪マス、是等ハ何故ニ政府ハ取締ヲシナインデアルカ、獨リ取締リヲシナインミナラズ、此取引ノ及ボストコロノ弊害ハドノ位アリマスカ、政府ハ曩ニ競馬ヲ賭博類似ダト云ヒマシテ禁止ヲ致シマシタガ、競馬ト此直取引トハ社會ノ風紀ヲ害シ、弊害ヲ及ボスコトハ比較ニナシタモノデナイト思フ、競馬ノ如キハ僅ニ其一局部デアル、併ナガラ直取引ニ至ルハ殆ド全國到ル所マテ及ボシテ居ル、獨リ全國ニ及ボシテ居ル弊害ハ往々遊民ヲ出スバカリテナ、博徒ノ横行ヲサセルバカリテナ、政府ハ一面ニ於テ勤儉貯蓄ヲ獎勵シテ、サウシテ總テノ風紀上

ノ取締リヲシ、又賭博ノ取締ヲナシ又米穀取引所ノ合百ナル賭博ヲ禁止シ、然ルニ株式直取引ニ至ルハ何等内務省ニ於テモ農商務省ニ於テモ之ヲ制裁シナインハ何事ニアルカ、是等ノコトヲ段々取締ラナイデ置キマシタトキニハ如何ナル現象ヲ呈出スルノデアリマスカ、現ニ此直取引が許サレテ以來四十一年カラ今日ニ至ルマテ取引所ノ手ニ掛ル總テノ統計ヲ調べテ見マスレバ、實ニ今日ハ定期取引バ少クナシテ來テ居ル、而シテ其反比例ニ直取引ハ僅ニ五錢取引所ニ手數料ヲ納メ高ハ著シク増加ヲ示シテアル、此外ニ居ケナイモノガ五十万株毎日賣買サレル、定期取引ハ一日三二回、前後二回開ケルダケアルガ、此直取引ニ至ルハ、始終取引が出來ルノデアル、道路デモヤレバ、何處デモヤリマス、今日此大賭博ヲ政府ハ取引所ノ行為ニ背戾シテ居ルノヲ社會ノ公益ヲ害シテ居ルト認メナイノデアルカ、政府ハ何故ニ之ヲ禁止シテ、經濟上ノ紊亂ヲ防ガヌノデアリマスカ、之ガタメニハ今日ノ狀態實ニ獨リ此弊害ノタメニ經濟社會ヲ紊亂スルノミニナラズ、破產倒産スルモノが盛ニ行レテ、ノミナラズ此ノ世ノ中ニ博徒ト云フモノが皆此方面ニ入シテ來テ居ル、兜町、蠶殻町、日本橋區ハ到ル所東京ニ於テ今日殆ド博徒ノ巣窟ニナッテ居ル、之ヲ政府ハ——内務大臣モ農商務大臣ニ於テモ取締ラヌデ禁止シナイデ居ルノハ、抑ドウ云フ趣意ニアリマスカ、是等ハ政府當局ハ公私ヲ害シアルノデアリマスカ、現ニ取引所ノ改善ト云フ聲ハ多年議院ニ於テ聲が高ニモ拘ラズ、何等是ヲ改善ヲ行フ意ナク益、此取引所が中心ニナリマシテ、害惡ヲ進メツ、アルノハドウ云フモノデアリマスカ、要スルニ此直取引ト云フ東京株式取引所ノ新株式ト云フモノ、直取引ヲ禁止サレマシタナラバ、其本ガ無クナリマスカラ、全國ニ跨テ居ル公然大賭博ハ自然禁止サレルコトニナリマス、政府ハ此點ニ付キマシテ如何ナル取締ヲナシツ、アルヤ、又之ヲ以テ大賭博ト認メナイノデアルカ、弊害ト認メナイノデアルカ、是ハ取引所ノ法律總テノ行為ニ脊戻セシモノト認メナイノデアルカト、是ハ農商務次官モ御見エニナシテ居ルヤウテアリマスカラ、此席ニ於テ私ハ親切ナル答辯ヲ得タイト思フノデアリマス

○議長(長谷場純孝君) 外交ニ關スル質問ハ提出者カラ延期ノ申出ガアリマス、此場合質問ニ對スル答辯書ヲ朗讀致シマス

(書記朗讀)

衆議院議員大内暢三君外一名提出朝鮮穀物稅移入稅ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十四日

衆議院議長長谷場純孝殿

内閣總理大臣侯爵桂太郎

(別紙) 衆議院議員大内暢三君及石橋爲之助君提出朝鮮穀物移入稅ニ關スル質問ニ對スル答辯書

内地朝鮮間ノ貿易ニ關スル政府ノ所見ハ早速整爾君提出朝鮮ノ關稅ニ關スル質問ニ對シ本月十日ヲ以テ答辯シタルカ如シ穀物ノ移入稅ノ改廢ハ内地經濟上竝ニ政府財政上十分ノ調査ヲ經テ始メテ決スヘキノ問題ニシテ目下直チニ之ニ關スル所見ヲ述フルコトヲ得ス

右及答辯候也

明治四十四年三月十四日

外務大臣伯爵小村壽太郎

大藏大臣侯爵桂太郎

農商務大臣男爵大浦兼武

○議長（長谷場純孝君） 日程第一、明治二十三年法律第百三號廢止法律案ノ
第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省略シマス——河村政府委員

明治二十三年法律第百三號廢止法律案
明治二十三年法律第百三號廢止法律案
附則

第一 明治二十三年法律第百三號廢止法律案（政府 第一讀會

提出貴族院送付）

明治二十三年法律第百三號廢止法律案

明治二十三年法律第百三號ハ之ヲ廢止ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ヨリ繼續シテ支拂ヲ停止スル者ハ明治二十三年法律第三十二號

商法ノ適用ニ付テハ本法施行ノ時ニ於テ支拂ヲ停止シタルモノト看做ス

第九百九十九條ノ規定ハ本法施行前ノ行為ニ之ヲ適用セス

（政府委員法學博士河村讓三郎君登壇）

○政府委員（法學博士河村讓三郎君） 本案ハ破産法ヲ沖繩縣ニ施行セントスル案

デゴザイマス、聊カ説明ヲ加ヘテ置キマス、明治二十三年法律第三十二號商法即チ舊

商法ヲ沖繩縣ニ於テ施行セズト云フコトが同年法律第百三號ノ規定スルトコロデゴザイ

マスル、蓋シ舊商法ノ制定ノ當時ハ沖繩縣ニ於キマシテハ經濟上ノ事情ガ内地トハ大

ニ異ルモノアリマスルガ故ニ、直ニ商法ノ規定ヲ施行シ難シシテ、彼ノ百三號ノ法律ヲ

公布シタル次第アリマスル、其後商法ハ改正セラレマシテ、舊商法中尙其效力ヲ存シ

マスルノハ破産ニ關スル第二篇ノミテアリマス、而シテ改正商法ハ既ニ沖繩縣ニ於テモ施

行サレテ居リマスルノニ、獨リ舊商法中ノ破産ニ關スル規定ノミガ未ダ施行サレテ居ラヌ

ノデアリマス、然ルニ同縣ニ於キマシテモ商業ハ追々盛ニナリマスル、商事會社ノ設

立モ多クアリマスル、其他經濟上ノ發展ニ伴ヒマンシテ破産手續ノ必要ヲ感ズルコトが漸

ク急ニナクテ參リマシタカラ、其急ニ應ズルタメニ本案ヲ提出シタ次第ゴザイマス、御協

贊アランコトヲ希望致シマス

○議長（長谷場純孝君） 御質問ガナケレハ日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スベキ

委員ノ選舉

第一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○皆原傳君 木案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハア

リマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナケレハ其通リニ決シマス——日程第三、韓國

鐵道會計所屬資金ノ緑入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續、委員長笠川繼孝君

督府ノ特別會計ノ歲入ニ綠入ル、案アリマシテ誠ニ單簡ナル案アリマス、委員會ハ

第二 韓國鐵道會計所屬資金ノ緑入ニ關 第一讀會ノ續（委員長）

（笠川繼孝君登壇）

○笠川繼孝君 御報告致シマス、韓國鐵道會計所屬資金ノ緑入ニ關スル法律案、

此案ハ韓國鐵道會計ノ資金勘定ニ屬スル明治四十三年度末ノ現在ノ資金ヲ韓國總督府ノ特別會計ノ歲入ニ綠入ル、案アリマシテ誠ニ單簡ナル案アリマス、委員會ハ

政府委員ノ出席ヲ求メ、誠實ニ質問應答ノ結果、委員會ハ満場一致ヲ以テ本案ニ同意可決ヲ致シマシタ、此段報告ニ及ビマス
○管原傳君 本案ニ對シ別ニ御異議モナケレバ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り決定シタトイ云フ動議ニ御異議アリマセヌカ
シテ委員長報告通り決セラレントコトヲ望ミマス
○議長（長谷場純孝君） 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り決定シタトイ云フ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ
議題ニ供シマス
第四 租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案 第一讀會ノ續（委員長）

（秋岡義一君登壇）

（拍手起立）

○秋岡義一君 此租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案ハ租稅外ノ諸收入金ニシテ

國庫ニ納付スル義務ヲ負テ居ル者が無資力ノ場合ニ於テ其處分方ヲ規定シタルトコ

ロノ法律案デゴザイマス、委員會ハ第一條ノ「資力回復」ト云フ文字ノ下ニ「ノ時」ノ一

字ヲ加エ「辨濟」ノ下ニアル條件ト云フ文字ヲ「期限」ト云フコトニ修正致シマシタ、此

修正ヲ致シマシタ理由ハ資力回復ヲ辨濟ノ條件トスルト云フ意義ヲ政府委員ニ質シ

マシタコロガ、ソレハ資力回復ノ時期ニ辨濟ヲサセルト云フノ意義ナルト云フコトニゴ

ザイマシタカラ、ソレナラバ資力回復ノ時期ヲ辨濟ノ期限ト云フコトニ修正ヲスル方ガ意義

ガ明瞭ニナルト云フノ故ナリテ、此ノ如ク修正致シマシタ、次ニハ附則ニ「前條トアルノ

コトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ

通りト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガ無イト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ

議題ニ供シマス

○管原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り決セラレ

ントコトヲ望ミマス

○議長（長谷場純孝君） 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告

通りト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガ無イト認メマスカラ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ

議題ニ供シマス

○議長（長谷場純孝君） 稽稅外諸收入金整理ニ關スル法律案（政府提出） 確定議

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナイト認メマスカラ、二讀會ヲ省略シテ、委員長

報告通り是ニテ確定致シマス、日程第五電氣事業法案第一讀會ノ續、委員長改野

耕三君

第五 電氣事業法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

〔改野耕三君登壇〕

○改野耕三君 委員會ノ經過結果ヲ報告致シマス、此電氣事業法ハ昨年セ提出ニナリマシテ、兩院協議會マテ上ツタ問題ニアリマスガ、遂ニ不成立ニ終ジタノアリマス、而シテ本年ノ原案ハ第六條ヲ除クノ外昨年當院ニ於テ修正可決シタル簡條ハ悉ク採用シタ政府案トナツテ居ルノアリマス、委員會ハ審査ノ結果、第六條ヲ修正致シマシタ、其結果トシテ「十條ヲ修正シタノアリマス、第六條ノ修正ハ「主務大臣ハ公益上必要ナル命令ヲナスコトヲ得」ソレカラ此第六條ヲ修正致シタニ付キマシテ「十條ニ關係ヲ持チマスノデ」、「十條ノナシタル者」ト云

フ十七字ヲ挿入スルコトニ修正致シマシタ、此修正ノ理由ハ原案ニ依リマスト、電氣事業者ト人民トノ間ニ於テ常ニ主務大臣ノ認可ヲ受ケナケレバナラヌ手數ガアリマシタカラ、サウ云フコトハ相對ニ任セテ政府ノ干涉ヲ避ケテ、公益上必要アル場合ニハ主務大臣ハ相當ノ命令ヲ發スル方が穩當アル、斯ウ云フ意味デ修正致シタノアリマス、此修正ニ付テハ委員會ハ全會一致ニ可決ニナリマシタ、此度ハ政府モ此修正案ニ全然同意ヲ表シテ居ル次第アリマスカラ、之ヲ御報告致シテ置キマス

○高木正年君 議長
○議長(長谷場純孝君) 高木君ハ質疑ノ通告ガアリマスガ、成ルベク簡明ニ御述ヲ願ヒマス——高木正年君

(高木正年君登壇)

○高木正年君 私ハ此場合ニ於テ特ニ政府ニ言明ヲ要求スルタメニ質問ヲナスノアリマス、電氣事業法ノ第六條ハ委員會ニ於テ修正ニナリマシタ、此修正ノ意味ヨリ來リマストコロノ政府ノ方針ヲ尋ねタトイ思フノアリマス、何故ニ斯ル事柄ニ付テ殊ニ質問

ヲシナケレバナラヌカト申シマスト、凡ソ我國ノ電氣ニ關シ殊ニ電氣燈ニ關シマシテ電氣

燈ノ料金位不當ナモノハナイノアリマス、近來共同電氣ト云フコトヲ世間ニ謠ハレルヤウニナッテ、今日電燈會社ヨリ供給スル電力ヲ供給、其燈ヲ用井ルヨリモ寧口其區其町ニ於テ共同電燈ヲ持テ電力ヲ供給スレバ、會社ノ供給スル額ヨリ其半額以内テ出來

ルト云フコトヲ世間ニ謠ハレテ居ルノアリマス、若シ「モンド」式ノ瓦斯發動機ヲ以テ電力ヲ起シ、電氣ヲ供給

シマスレバ、五朱ノ配當ヲシテ尙六十錢ノ價格ヲ以テ十燭ノ電氣ヲ販賣スルコトが出來

ルノデアル、ソレ故ニ「モンド」式ナリ若クハ小サイモノナレバ例ノ「サクソン」式ナリヲ以テス

レバ、ソレニ依テ一千燈乃至五六千燈マテハ小サイ機械デ電力ノ供給が出來ル、況ヤ

水力ヲ用井ルトキニ於テハモット廉價ニ且其資金ニ對スル利益モ相當ノ配當ヲナシ、且

之ヲ便利ニ供スルコトが出來ルノアル、然ルニ東京トカ大阪トカ云フ都會ニ於ケル電

燈料ハ頗ル不廉ナル、此點ニ於テ第六條ノ修正ハ寧口原案ヨリ公益上必要ナルトキニ於テハ遞信大臣ハ其料金ニ制限ヲナスコトヲ得ト云フコトニ自然讀マレルノアリマス、ソレ故ニ私ハ政府ノ言明ヲ請フノハ現ニ東京ニ於ケル電燈料ノ不廉ト云フコトハ

東京市ニ問題ニナツ居ル、既ニ或區ニ於テハ區會ノ決議トシテ是が反省ヲ求メ、又個人トシテモ是が反省ヲ會社ニ求メ、アルト云フ今日アリマス、政府ハ此六條ニ依ヅテ承ハリタク、尙此質問ヲナスニ付キマシテ「ノ理由ヲ述べテ置キマスガ、元來政府が近時ノ態度ヲ考ヘテ見ルト、多ク會社ノタメニ便利ト云フ方ニ傾ク形勢が見ヘルノアリマス、工場法ニ於テモ昨年ニ於テハ職工ノ時間ヲ延期スルコト十年トシテアッタ、ソレヲ本年ハ十五年トナスト云フヤウニ、總テ會社ノ利益ト云フ方ニ政府が傾ク、之ヲ評シテ申シマスレバ政府ノ態度が軟弱ニ傾キツ、アルト云フコトハ、争フベカラザル事實アリマス、斯カル政府ノ下ニ於テ果シテ能ク電氣業ノ如キ危險ヲ防止シ、電氣ノ取締ヲ慎重且公平ニ且適當ナル方法ヲ以テ之ヲ監督スル決意アリヤ否ヤフ尋ヌルノアリマス、是が私ノ質問ノ要領アリマス

(政府委員仲小路廉君登壇)

○政府委員(仲小路廉君) 高木君ノ御質問ニ御答致シマス、高木君ノ御質問ノ要領ハ電燈料ノ制限ヲナスタメニ寧口共同自家用ノ方法ヲ執リテ見タラバドウアルカ、カウ云フコトデゴザイマシタガ、此點ニ付キマシテハ既ニ今日ノ請願委員會ニ於テモ政府ノ所見ヲ述べタ次第アリマス、電氣事業ノ性質ト致シマシテ、一般ノ需用ニ應ジマスル事柄ニ此度ノ電氣事業法案ヲ提出シマシテ譯アリマス、即チ一般ノ需用ニ應ジマスル事柄ハ是ハ公益上必要アリマスルカラ、大體ト致シマシテハ一般ノ需用ニ應ズルト云フノヲ本則ト致シマシテ居ル、此故ニ共同自家經營ト申シマスルコトハ、是ハ一般ニ電氣ヲ供給スル上カラ考ヘマシテ適當ナ方法テハナイト考ヘマス、之ニ付キマシテハ是ハ前回ニモ申上申通リノ次第アリマス

○福田又一君 政府委員ニ質問ガアリマス、唯今遞信次官ノ御説明ガアリマシタガ、私ノ問ヒタイト云フコトハ、カウ云フ點アリマス「主務大臣ハ公益上必要ナリト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ料金ノ制限其他電氣供給ノ條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」トアリマスガ、其中テ料金ノ制限是ガ私ノ伺テ見タリ要點アリマス、遞信大臣モ次官モ御承知ノ如ク電氣事業ノ會社が全國三百五十四アルト私ハ記憶シテ居リマス、其中テ平均數ヲ取りマスト七十錢内外ニ料金ガナツテ居リマス、極ク低廉ナモノニ至リテハ三十五錢即チ十燭光一終夜ノ使用料ガ二十五錢ト云フ所モアル、東京市ハ御承知ノ如ク十燭光一終夜ノ使用料ガ一圓二十錢ア、全國ノ中テ甚ダ高イ使用料ヲ我ニ市民ハ負擔致シテ居リマス、此ノ如キ狀態ニ在シテモ、政府ハ公益上必要ナリト認メテ料金ヲ制限スベキ場合ニ達シテ居ルト思ヘヌノアルカドウカ、私共ノ考デハ甚シク料金ノ高イノ驚イテ居ル次第アリマス、政府ハ幸ニモ此電氣事業法ナルモノヲ制定サレテ我ニ使用者ニ十分満足ヲ與ヘント欲スルノ趣旨アルナラバ、此料金ニ對シテハ最早適當ナル制限ヲ加フベキ場合ニ到著シタ考ヘマスガ、政府ノ之ニ對スル御考如何、是が本員ノ聽カント欲スルトコノ要點アリマス

(政府委員仲小路廉君登壇)

○政府委員(仲小路廉君) 御答致シマス、政府ニ於キマシテハ電燈ノ料金其外ハ出來得ル限り低廉ナル方法ヲ以テ供給スルコトヲ必要ト考ヘテ居リマス、併ナガラ是等ノ方法ヲ盡シマスルニ付キマシテハ、經營ノ狀態、又一般ノ狀態ヲ考ヘマシテ適當ナル處

例ニ供シマスレバ國庫ヨリ百萬圓ヲ補助シタル場合ニハ地方モ亦百萬圓ヲ補助シナケレバナラヌト云フコトハ即チ明治四十二年カノ勅令ニ於テ定メテアル、サスレバ今四百万圓ノ補助ヲ國庫ヨリ受ケタカタメニ地方ニ於テハ又即チ百萬圓ノ負擔ヲシナケレバナラヌヤウニナッテハ却ニ今日ノ地方費ノ負擔ノ重き場合ニ甚ダ困難ヲ來スヤウナコトガアルガ、其コトハ如何ニスルカト云フコトヲ尋ネマシタコロガ、是マテノ勅令ニ依リマスレバヤハリ正則ニ於テハ同一ノ金員ヲ負擔スルコトニナシテ居リマスルガ、各地方ノ狀況ニ依シテハ五箇年以内負擔ヲ延期スルコトガアツテ、或ハ是マテノ取扱ヒニ依リマシテモ百萬圓ニ對シテ五十万位シカ負擔ノ出來ナイ所モアルト云フコトニアリマスガ、今回ハ此事ニ付テハ必ず地方ニハ一錢ノ負擔モ掛ケナイ積リデアル、然ラバ以前ノ勅令が存シテ居シテハ其事ハ取扱フコトが出來マイカラズは更ニ勅令ヲ改メテ發スルヤウナコトニハ出来ナイカト云フコトヲ當局ニ向テ問ヒマシタ、トコロガ政府ニ於キマシテハ勅令ヲ改ムルト云フコトハ少シ差間ヘルケレドモ、必ず地方長官ニ向シテハ此地方官會議ノアリマシタ場合ニ口頭ヲ以テ之ヲ訓示スルカ、又ハ書面ヲ以テ訓示スルカ、二者其一ハ必ず取ルト云フコトニアリマシタ、決シテ此教育費補助金百萬圓ノ給付ヲ受ケタカラト云シテ、地方ニ必ズ其負擔ハ掛ケナイヤウニスルト云フコトヲ得ト云フコトガアツテ、或ハ是マテノ取扱ヒニ依リマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ、此段御報告致シマス。

○早速瑩爾君 少シ質問致シタイ、此案ハ誠ニ簡單デザイマスルケレドモ、併シ非常ニ重大ナル關係ヲ有シテ居ル案アルト思フノアゴザイマス、今回ハ教員ノ優待費ニ要スルト云フ其財源ヲ求メラル、タメニ取敢ヘズ此案ヲ提出セラレタモノト委員會ノ御答辯ニ依テ承フテ居ルノアリマスガ、是が法律トシテ定リマシタ以上ハ預金部ノ利益ハ將來必要ニ應シテ一般會計ノ財源ニ提供ラスルト云フ御考デアルカ否カ、此度ノハ教員ノ優待ノ財源トシテ分シテ居ルノアゴザイマスガ、將來此預金部ノ利益金ヲ必要ニ應シテ一般會計ニ繰入レルト云フ御考デアルカ否カヲ確メテ置キタ、ソレカラ此案ニ百萬圓ト云フ金額ノ制限ヲ置カレタ理由が承リタイ、預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入レルコトヲ得ルトシマスレバ、預金部ノ利益ハ平均ニ於テ今少シ金額ガ多イト思シテ居ル、一般會計ニ繰入レル必要ノ財源ニ供スルト云フコトニアリマスレバ、此金額ハモウ少シ餘計織入レルコトが出來ルダラウト思ヒマスガ、一百萬圓ト制限ヲ置カレタ理由ハ何レニゴザイマスルカ、此二點ニ付テ政府ノ御意見ヲ伺シテ見タイ

(政府委員若楨禮次郎君登壇)

○政府委員(若楨禮次郎君) 本案ノ一讀會ニ上リマシタ初メニ於テ申上グマシタ如ク、預金部ノ資金ハ預金部ニ居シテ運用致サレル上ニ於テ十分國家ノタメニ或仕事ヲ盡シテ居ルノアリマスカラ、其利益金ト雖モ成ルベク之ヲ一般會計ニ繰入レナシ方ガ宜シト云フコトヲ申上ゲタノアツテ、此意味ハドコマテモ政府ニ於テハ引續イテ持ツテ行ク積リテアリマスカラ、唯今御尋ニナル如ク此繰入金ヲ爲シタ以上ハ今後歲計ノ都合ニ依シテハ預金部ノ金ヲ一般會計ニ繰入レテ、政費ノ補充ラスルヤウナ考ガアリハシナイカト云フ御尋ニ對シテハ、サウ云フコトハ全然アリマセヌ、是ハ唯教育上必要ナルコトデ、真ニ此預金部自身ノ運用ニ於テ國家ノタメニ任務ヲ盡スト同シ位ノ勤キヲ爲スベキ國家ノ必要ノ經費デアル、故ニ其財源一繰入レタト云フコトニアツテ、其他ノコトニ付テハ一般會計ニ繰入レルト云フコトハ致サヌノアリマス、ソレカラ百萬圓ヲ限定シタノハ唯今申上ゲマスル理由ニ基イテ成ルベク此金ハ一般會計ニ繰入レカノガ相當アルト思ヒマスルノア、唯今日目前百萬圓財源ノ必要ガアリマシタカラ之ヲ向ケタノアツテ、利益金ガアリマシテモ成ルベク預金部ニ残シテ置イテ、此預金部ニ於テ運用スル方が最モ

適當アラウト信ジマス、加之ニ預金部ニ於テハ相當ナル積立金ノアルト云フコトハ此一億五千万圓以上アル預金部ノ政府ノ義務ニ對シテハ保證上必要ニアリマス、故ニ此金額ヲ餘り多ク一般會計ニ繰入レルト云フコトハ宜シクナイト考ヘテ居ルノアリマス。○菅原傳君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通決定セラレントコトヲ望ミマス。

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラニ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ本案ハ是ニテ確定致シマス。

○菅原傳君 此場合日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、此場合日程ヲ變更シテ明治四十四年度歲入歲出總豫算追加外四件ニ對シ豫算委員長ノ報告ヲ受ケ、直ニ之ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス。

(「賛成タクト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 今菅原君ノ動議、第三號明治四十四年度歲入歲出總豫算追加以下四案ヲ日程ヲ變更シテ此際ニ審議スルト云フ緊急動議ハアリ通リ本案ハ是ニテ確定致シマス。

○菅原傳君 此場合日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、此場合日程ヲ變更シテ明治四十四年度歲入歲出總豫算追加外四件ニ對シ豫算委員長ノ報告ヲ受ケ、直ニ之ヲ議題ニ供セラレシコトヲ望ミマス。

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 今菅原君ノ動議、第三號明治四十四年度歲入歲出總豫算追加以下四案ヲ日程ヲ變更シテ此際ニ審議スルト云フ緊急動議ハアリ通リ本案ハ是ニテ確定致シマス。

(特第一號) 明治四十四年度特別會計歲入歲出豫算追加

(第三號) 明治四十四年度歲入歲出豫算追加

(特第二號) 明治四十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加

(追第一號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(原敬君登壇)

○原敬君 唯今議題ニ供セラレタル各追加豫算ニ付テ報告ヲ致シマス、此追加豫算(特第一號) 明治四十四年度特別會計歲入歲出豫算追加

(第三號) 明治四十四年度歲入歲出豫算追加

(特第二號) 明治四十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加

(追第一號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(原敬君登壇)

○原敬君 唯今議題ニ供セラレタル各追加豫算ニ付テ報告ヲ致シマス、此追加豫算中異議ノナイトコロハ略シマシテ、茲ニ問題ト相成リ、唯修正ヲ致シタ點ニ於テ報告ヲ致シマス、明治四十四年度歲入歲出豫算追加第三號中ニ於テ歲出臨時部文部省所管第一款第四項、白蟻試験所新營費一万八千九百九十九圓、ソレカラ第二十款白蟻豫防調查費一万五千圓、此一項ハ豫算總會ニ於テ全會一致ヲ以テ削除致シマシタ、其削除ノ理由ハ此ノ如キ調査ハ今日始メテ生ズルモノハナリ、最早久シキニ瓦ツテ問題トナシテ居ルノアルカラ、是ハ豫算ヲ請求スルトスレバ追加豫算ニアラバ

シテ、總豫算ニ編入スベキモノデアルノデアル、追加豫算總豫算編成後ニ生ジタル「ムラ得ザルモノデナケレバ計上スベキモノデナイニ拘ラズ、茲ニ追加豫算ヲ以テ請求シタルノハ其當ラ得ナイ、加之此問題ハ臺灣ニ於テモ久シ間研究ヲ積シテ居ル、又内地ニ於テモ名和昆蟲研究所等三於テモ相當ノ調査ヲ致シ、又鐵道院三於テハ之託シテ調査ヲモセシメツ、アルト云フ位ノコトデアル、故ニ文部省ニ於テ更ニ茲ニ此ノ如キ費用ヲ以テ調査スルト云フコトハ其當ラ得ナイノデアル、左モ文部當局者ノ答辯テハ統一シテスルト云フコトデアリマスケレドモ、既ニ他ニ於テ調査ヲ致シテ居ル以上ニハ其調査ヲ待テ宜シイデハナイカト云フ意味ニ於テ之ヲ削除ニ相成リマシタ、ソレカラ同シ豫算ノ丙號ノ農商務省所管ノ補助及補助費ヲ本年度ノ支出額ヲ翌年ニ繰越使用スルコトノ案が出て居リマスガ、此コトニ付テハ分科ニ於テ森林經營ノ問題ニアリマスカラ、成ルベク急ギテ此事業ヲ完成致シタク、故ニ年度ヲ繰上ダテ致シタイトサヘ希望シテ居ルニ拘ラズ、其年度中ノ金ヲ翌年度ニ使用スルノ許可ヲ請フト云フコトハ甚ダ穩當ナイト云フ説デアリマシタガ、併シ當年ハ初年度ノコトデモアリ、此ノ如クセサルヲ得ヌ事情ハ是亦已ムヲ得ザルコトデアルカラ、當年ハ之ヲ認メ、明年度以後ニ於テハ成ベク其豫算ヲ其年度内ニ使用スル如ク事業ヲ進メルヤウニアリタイト云フ希望ヲ以テ可決致シテ居リマス、ソレカラ明治十四年度歲入歲出總豫算追加案ニ付テハ先刻可決ニナリマシタ預金部ヨリ金ヲ支出シテ其金ヲ以テ教員ノ年功加俸ノ財源ニ充テルト云フコトニ關スル問題ニアリマスガ、是ハ此預金部ヨリ金ヲ支出シテ小學校教員ノ加俸ニ充テルト云フコトニ付テ異議ノアルノデハナイ、サリナガラ曩キニ明治四十四年度歲入歲出總豫算ヲ查定スル折ニ方テ、豫算委員會ノ決議ヲ以テ特別會計大藏省預金利子ニ關スル件ニ付テ警告ヲ與ヘタ、此警告ニ對シテ政府ハ即チ此預金部ヨリ百万圓ノ繰入ヲスルト云フコトニ相成テ居ルノデアリマス、之ニ付テ豫算委員會ニ於テ希望ヲ述ヘ、警告ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、即チ此預金部ノ金ヲ地方公共ニ貸出シノ範圍ヲ擴張スルト云フコトノ希望ニ對シテ、明治四十三年度ハ地方ノ貸出一千万圓程ト云フコトデアルケレドモ、四十四年度ハ之ヲ二千万圓位ニナシテ尚其運用ノ宣シキヲ得ルヤウニアリタ、斯ウ云フコトヲ希望シテ居ル次第ニアリマス、又利子ノ制定方法ニ付テモ之ヲ嚴重ニスルノ希望ニ付テ是ハ別ニ甚シキ不都合ノアルト云フ譯テハナイガ、十分ニ注意ヲ願フ次第アル、又利子仕拂元積立金ヲ整理ヲ致シテ一般會計ノ收入ニ充ツルト云フ希望ニ付テハ、明治四十四年度歲入歲出總豫算追加ニ於テ既ニ一百萬圓ヲ一般會計ニ繰入レテ、唯今申シタ如ク小學校教育費國庫補助ノ財源ニ充ツルコトニナシテ居リマスガ、豫算委員會ニ於テハ政府ノ速ニ此處置ニ出タルコトハ誠ニ宜シカラ、之ヲ協賛スルニ名ナルモノハナイ、併チガラ預金規則ハ隨分古イノデアルガ故ニ、是ガ改正ヲナシ、本期帝國議會又ハ次ノ議會ニ其改正案ヲ提出スルヤウニアリタ、就中利子仕拂元積立金ノ如キハ之ヲ整理シテ預金ノ運用保管ヲ安全ニシ、其危險ニ對スル積立金ノ制限ヲ立テ、其餘分ヲ一般會計ニ繰入レルヤウナ方法ヲ決定シテ、單ニ國庫ノ必要ニ應シテ特別ノ標準ナクシテ流用スルヤウナ弊三陷ラヌヤウニアリタ、斯様ナル希望ヲ述べ、之ニ付テハ政府モ大體ニ於テハ別ニ異論ノナシ次第アリマス、此問答其他ニ付テノ詳シヨコトハ分科會立ニ總會ノ速記ニ依テ諸君ノ御了承ヲ得シト、思ヒマス、又教員ノ加俸ノコトニ付テモ分科會ニ於テ此規則ハ不完全ナトコロモアルカラ、之ヲ改正シ、相當ナ規則ニ改メタイト云フ希望ヲ述べ、是亦政府ハ同意ヲ致シテ居ルト云フ次第アリマス、其外ノ部分ニ付テハ何等ノ議論ナク、各豫算共ニ悉ク原案ノ通り可決致シテ居ル次第アリマス、而シテ唯今申シタ修正ノ結果トシテ豫算ノ歳出ノ總額ニ變化ヲ生ジマシタ、即チ豫算ノ第一條ニ

明治四十四年度歲入追加額ヲ千四百七十五万九千八百四圓、歲出追加額ヲ千五百八万四千六百六十八圓トアリマシタノヲ、其歲出ノ部分ハ唯今ノ削除ニ依テ千五百五万六百七十八圓ト修正ニ相成ツタ譯、是ハ白蟻研究ノコトヲ削除致シタル結果此ノ如ク修正ニ相成ルノデアリマス、其外ニ付テハ別段御報告スル程ノ事柄モナク全部原案ノ通リ決シマシタ

○議長(長谷場純孝君) 別ニ御異議モナイヤウデアリマスカラ、採決ヲ致シマス、五案共ニ別ニ通告モアリマセヌカラ委員長ノ報告、要スルニ第三號ノ明治四十四年度歲入歲出總豫算追加、其豫算ノ第一條ノ明治四十四年度歲入追加額ヲ千四百七十五万九千八百四圓、歲出追加額ヲ千五百五万六百七十八圓、即チ文部省所管ノ白蟻研究ノコトヲ削除シタル結果ガサウナシテ居リマス、右五案共ニ委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナケレバ五案共ニ報告通り決定致シマス

○三土忠造君 (曩キニ本員外一名ヨリ提出シタル小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案ハ委員會ニ付託ニナリマシテ、委員會ニ於テ大藏大臣及文部大臣ノ出席ヲ求メテ政府ノ意志ノ存スルトコロヲ確メシタコロガ、政府ニ於キマシテハ此建議案ハ最モ必要ト認メテ居ルカラシテ、相當ノ時期ニ於テ建議ノ目的ヲ達スルヤウニ努メルト云フコトデアリマシタ、所が唯今決定ニナリマシタ通り政府ニ於キマシテハ一百萬圓ノ追加案ヲ提出シマシテ教員增俸ノ取計ヲサレマシタニ付キマシテハ、今日ノ場合此大勢是レ以上吾々ハ望ムコトガ出來ヌト信ジマスガ故ニ、提出者ハ是ニ満足ヲ致シマシテ、此建議案ハ撤回致シタルト思ヒマス

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○荒川五郎君 本員等提出ノ教員優待ニ關スル建議案ハ唯今ニ土君ガ撤回セラレマシタ案ト同一ノ委員ニ付託シテアリマスガ、此吾々ノ提出致シマシタル教員優待ニ關スル建議案ハ其名ノ通り教員ヲ一層優待シタイト云フ趣意ヲ含ンテ居リマスガ、其趣意トスルトコロハ小學校教員俸給ニ對シテ國庫ヨリ補助シタイト云フノデアリマシタガ、唯今既ニ追加豫算が提出セラレ、其可決ニナリマシタ以上ハ、其額ニ於テハ勿論十分トハ認メマセケレドモ、其タメニ目的ノ趣意ハ貫徹致シマシタノデザイマスカラ、吾々ハ此場合是ニ満足致シマシテ三土君同様ニ本員等モ彼ノ提出ノ建議案ヲ撤回致シタウゴザイマス

○議長(長谷場純孝君) 三土君外二名提出小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案及荒川五郎君外三名提出小學校教員優待ニ關スル建議案ハ特別委員ニ付託シテアリマシタケレドモ、今提出者カラ述ベラレタ理由ニ依テ、撤回スルト云フコトニ決シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(長谷場純孝君) 市制改正法律案、町村制改正法律案ノ第一讀會ノ續、委員長尾崎行雄君

市制改正法律案(政府提出)

第二讀會

(書記朗讀)

市長ハ三月前ニ申立シルトキハ隨時退職スルコトヲ得
第七十五條第四項ヲ左ノ如ク改ム

助役ハ二月前ニ申立ツルトキハ隨時退職スルコトヲ得

第七十七條第一項中「金錢出納ノ取扱ヲ爲スコト」ノ下ニ「及營利ノ目的ヲ以テ市

ノ營造物ヲ使用シ町村ノ公益ニ直接關係アル事業ヲ營ムコト」ヲ加フ

第一百六條第二項中「市ハ其財產ヨリ生スル收入」ヲ「市ハ其財產事業又ハ契

約ヨリ生スル收入」ニ改ム

第一百八十九條第一項中但書ヲ削ル

○議長(長谷場純孝君) 次ニ市制改正法律案ニ對スル荒川五郎君ヨリ提出ノ修

正案ヲ朗讀サセマス

ノシテ 律格ニ關スハ法律案ノ政府案ヲ議會ニ提出スルノ利害關係アリテ、其レニ云ノ新日本三七
フレタノアリマスケレドモ、是が本期ノ議會ニ提出セラレルト云フコトナラバ、格別アリ
マスガ、次ノ議會ト云フコトニナリマスレバ、次ノ議會ノ來リマスルマニニ於テ市制ハ實施
サレルノアリマスカラシテ、私ハ次ノ議會ニ復權ニ關スル法案ヲ提出セラレルト云フ政府
ノ言明ノミニ安心シテ此改正ヲ止メルト云フ譯ニ參ラナイ、況ヤ政府ハドノヤウナ意味ニ
依ダテ復權ノ法ヲ出スノアルカ、其出シタモノガ果シテ此議院ヲ通過スルカシナイカト
云フコトモ分ラナイ、今日ニ於テ政府が明年ノ議會ニ復權ニ關スル法案ヲ出スト云フコ
トノミヲ信ジテ、直ニ此修正ヲ行ハナイト云フコトハ危險アルト存シマスルカラシテ、飽
マデ今ノ修正ヲ維持スル意見デアルノアリマス、ソレカラ次ノ修正ノ要點ハ市制ニ於キ
マシテ此現行法ノ通り市會議員ノ選舉ヲ二級ニ分ダテ行クコトニナシテ居リマスルノヲ
二級ニ致シタイト云フコトニアリマス、御承知ノ通り市會議員ノ選舉ニ於テ特ニ即チ他
ノ總テノ選舉ニ於テ行クテ居ラネイトコロノ階級選舉人ヲ三級ニ分ダテ行クト云フコ
トニシテアリマスル、趣意ハ多數ノ人間ガ少數ノ富者ヲ壓迫スルコトヲ恐ル、ト云
フ意味デアリマス、即チ富者少數ノ富者市ノタメニハ多クノ負擔ヲ爲シテ居る者ヲ僅カ
ブ、負擔ヲ致シテ居ルトコロノ多數ノ人間ガ壓迫スルコトガアツテハイケナイト云フ意味
デ、此階級選舉ノ制度ヲ設ケラレテ居ルノアリマス、アリマスガ、私共ノ考ヘマスルトコ
ロニ依レバ、今日マデ我國ノドノ市ニ於キマシテモ多數ノ中流以下ノ人が少數ノ富者
ヲ壓迫シタト云フヤウナ事實ハ之ヲ見ナインデアリマス、ソレカラ後ニ至リマシテ政府ノ政
治ノヤリ方ガ惡ルクテ常ニ少數ノ富者ヲ保護シ多數ノ人間ヨリモ少數ノ富者ヲ保護ス
ルガ如キ政策ヲ行ヒマスルナラバ、將來ハ此反動が起ルカハ存ジマセスケレドモ、今日マデ
ノトコロニ於テハ私ハ左様ナ事實ヲ認メナイ、認メナインミナラズ、此現在ノ制度ノアルガ
ノアリマス、故ニ理論ト致シマシテ私ハ絶對ニ此市會ニ於キマスル階級選舉ヲ全廢致
タメニ却テ少數ノ富者が多數ノ者ヲ壓迫ヲ致シテ居ルト云フ事實ヲ見ルノアリマス、即
シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノアリマスガ、制度ノ變更ニ急激ニ致スト云フコトモ亦考ヘ
ナケレバナラヌ點ガゴザリマスルカラシテ、市制ニ於テハ直ニ階級ヲ廢止スルト云フコトニ致
ヲ握ッテ居ルノヲ利用致シマシテ、却テ多數ノ貧者ノ方ヲ壓迫シテ居ルト云フコトヲ聞ク
シマセズシテ、二級ヲ改メテ一級ニスルト云フコトニ致シタイト存シマシテ、此市制第十五
條ノ修正ヲ出シタ譯ニアリマス、ソレカラ次ニハ此市制ノ第十五條ノ二項ニ修正ヲ加ヘ
タノアリマスガ、政府案ニ依リマスルト云フト、一級ノ選舉人ノ數ガ議員ノ數、即チ
選舉スベキ議員ノ數ヨリ少イトキニ於キマシテハ、其選舉人ノ數ヲ選舉スベキ議員ノ數
ト同一ニ爲スコト、致シテ居ルノアリマス、即チ例ヲ引イテ申シマスルナラバ、一級ニ於
テ十八人ノ議員ヲ選舉スベキ場合ニ於テ、選舉人ノ數が五人シカナイ場合ニハ、此政
府案ハ之ヲ十人ニナスコトが出來ル、十人ノ議員ヲ選舉スベキ場合ニ於テ、議員ノ數ヨ
リ選舉人が少イトキニ議員ノ數マテ殖スコトが出來ルトナツテ居リマスノヲ、私共ハ其選
舉スベキ議員ノ四倍マデニシャウト云フノアリマス、政府案ニ於キマシテハ單記投票ヲ
原則ト致シテ置キナガラ、或場合ニ於テ連記ノ投票ヲ採用スルコトニ致シテ居リマス、ソ
レハ今申スヤウナ選舉人ノ數ノ極メテ少イ場合ニ於テハ或ハ豫定ノ如キ當選者ヲ得ルコ
トが出來ナイト云フコトヲ恐レマシテ連記ノ制ヲ設ケテ居リマスケレドモ、私共ハ之ヲ止メ

ヤウト云フ意見デアリマスカラ、旁以チマシテ議員ノ數ヲ同様ニスルト云
ヨコトモウ一層擴張致シマシテ議員數ヨリモ四倍ニマデ致サウト云フノガ十五條ノ二
項ノ修正ノ趣意ニアリマス、其趣意カラ致シマシテ次ノ市制ノ十六條ニモヤハリ同様ノ
意味ノ修正ヲ加ヘタノデアリマス、ソレカラ市制ノ二十五條、二十八條ハ今申シマシタ連
名投票ノ制ヲ廢止シャウト云フ趣意ナシ、今申シマシタ通り、原則則致シマシテ市制ニ
於テハ一人ヲ選ムノ權利ヲ與ヘ居リマスニモ拘ラズ、政府案ニ於キマシテハ或場合ニ於
テ即チ選舉人ノ數が其選舉スベキ議員ノ數ノ三倍ヨリ少い場合ニ於テハ連名投票ヲナ
サシタルト云フコトニナシテ居リマス、單記ヲ是ナリトシテ單記ノ制度ヲ採ル上ニ於テ連名投
票ヲ用井ルト云フコトガ既ニ理論ノ上ニ於テ一致ヲ缺イテ居ルノデアリマス、ノミナラス
此結果ト致シマシテ却テ少數ノ選舉人ハ他ト異シタコロノ選舉權ヲ得ル譯ニナシテ來ルノ
デアリマス、或人ハ一人ヲ選ムノデアルノニ、或人ハ總テノ議員ヲ選ムノ權ノアルト云フコ
トニナシテ來ルノデアリマス、是ハ政府案トシテハ好シテナシタノデナクシテ餘儀ナクナシタコ
ト、思ヒマスガ、今申シマシテ如ク修正ヲ加ヘマスレバ選舉ニ於テ議員ノ定數ノ選舉ヲ得
ナイト云フヤウナコトハアリマセヌカラシテ、此二十五條、二十八條ニ於テ連名投
票ヲ廢止シャウト云フ考デアルノデアリマス、ソレカラ市制ノ十八條、七十七條、此條項
ニ於キマシテ、被選權ヲ制限スルモノノ中ニ營利ノ目的ヲ以チマシテ、市ノ營造物ヲ使
用シテ、市ノ公益ニ直接ニ關係アル事業ヲ營ムモノヲ加ヘヤウト存シテ居ルノデアリマス、
此理由ハ此ノ如キモノハ他ノ制限ヲ受クル者ト同ク之ヲ市ノ參政權ヲ與ヘルト云フコト
ハ危險ナリト認メタカラズアリマス、ソレカラ次ニ市制ノ七十三條、七十五條ニ於キマシテ
市長市助役、此等ハ三箇月以前ニ申立ルナラバ隨意ニ退職スルコトヲ得、即チ現行
法ノ通リニ修正シャウト云フ意見ヲ持シテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ政友會ノ諸君即
チ委員長が報告ヲセラレマンシタ御意見ノ通り、政友會ノ方テハ政府案ヲ贊成セラレマシ
テ、此市長——市長ノ辭職ハ内務大臣ノ許可ヲ受ケルコトニナル、助役ノ辭職ノ場合
ニ於キマシテハ、府縣知事ノ許可ヲ受ケルコトニナシテ居リマスガ、ドウ云フ譯デアリマス
カ、町村制ノ方ニ參リマシテハ私其議論ノ通りニ是ハ三箇月前ニ申立ツルナラバ、任意ニ
退職が出來ルト云フコトニシテアリマス、政友會ノ諸君ハ市ノ市長ト助役ハ内務大臣若
クハ府縣知事ノ認可ヲ受ケナケレバ辭職スルコトハ出來ナイ、町村長町村助役ハ三箇
月前ニ申立ツルナラバ任意ニ退職スルコトが出來ルト云フコトニナリマスレバ、市制ト町村
ノ事務ノ上ニ大ナル區別ヲ設ケマシタケレドモ、私共ハ斯ヤウナ區別ヲ設ケル必要ハ認メナ
シテ、此際ニ希望ヲ致シマスルコトハ、私共ハ三箇月前ニ申立シテ置イタナラバ辭ス
ルコトヲ得ト云フ現行ノ市制ノ通リニ修正ヲシヤウト云フ意見ヲ持シテ居ルノデアリマス、
此他ニ尙數項ノ修正ノ箇條ハアリマスガ、是ハ私が特ニ申上ゲマセズトモ此修正ノ意味
ハ自ラ分ルモノト存シマスカラシテ、其他ニ付テハ一々理由ノ説明ハ致シマセヌ、致シマセ
ヌガ、此際ニ希望ヲ致シマスルコトハ、此地方制度ノ如キモノハ一旦定マリマスレバ之ヲ
輕々ニ又變更スベキモノデナインデアリマス、斯ウ云フ問題ハ政黨政派ニ於テ論議
說ノ一ハ採用サレタノガアリマスガ、田川君カラ提出サレテ是ハ政府案ノ誤テ參事會ト
書クベキトコロノ上ニ持シテ來テ、市ノ字が入レテアッタ即チ「イチ」ノ字が入レテアッタ、此

文字ヲ削除スルト云フ田川君ノ修正説が幸ニシテ政友會ニ容レラレタ、即チ市ノ字ガ一字ダケ政友會ニ容レラレタダケアリマスガ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハドウカ唯一字ニ限ラズ、私共ノ修正意見ニ於テモ採ルベキモノガアルナラバ（採ルベキモノナシ）ト呼フ者アリ御賛成ヲ願ヒタイト思フ、併ナガラ何事モ極メタ上ハ是デモ非テモ採用シナイト云ハル、ナラバ致方ガナイ、是ヨリ遠キ將來ニ於テ私ハ此意見ガ行ハル、トキガ來ルト考ヘテ居ル

○議長（長谷場純孝君） 荒川五郎君

〔採用スルニ足ラズ〕「默レ」「黙レ」——馬鹿野郎」ト呼フ者アリ

○荒川五郎君 簡單デゴザイマスカラ當席カラ申上ゲマス、此市制町村制ノ改正案ハ即チ多年ノ實行ニ鑑ミテ大ニ改善セラレマシテ、又從前單行法ヤ又ハ命令等ノ箇條ニアッタモノデモ必要ナモノハ此改正案ニ入レラテ大ニ實際ニ適合スル良案デアリマスル、其上ニ先刻委員長ノ報告ハ吾ニノ意見希望ヲ容レラレテ一層完備ノモノニナリマシタ、自治ノ改善、事務ノ取扱上大ニ便宜ヲ加ヘマシタ、此等自治ノ運用上ニハ多大ノ利益ヲ與ヘルト云フコトヲ信ジマス、ソレデ委員長ノ報告ニハ——報告通りノ修正案ニ私共ハ賛成ヲ致シマスルが、唯一ツ重要ナル修正ヲ——修正スベキ事項ガゴザイマス、之ヲ加ヘタナラバ實ニ完璧ナル譯ト信ジマス、其箇條ハ先刻朗讀アタ通りニ市制第十五條ノ第一項ノ但書ヲ修正致シ、並ニ第二十五條ノ第五項ヲ削ラウト云フノゴザイマス、此修正ヲ致サウト云フ理由ハ市會議員ノ選舉ハ從來連記法ヲ採シテ居タノアリマスガ、今回政府提出ノ案ハ單記投票ノ法ヲ採シテ居リマス、然ルニ一級選舉ニ於テ選舉人ノ數が少イ場合ニハ一人一票ヲ得ルト致シマスレバ、議員定數ヲ舉ケルコトが出來ナイカラ止ムナク此場合ニハ連記ノ法ヲ採シテ居リマス、然ルニ既單記投票が宜シト云フ、斯ル例外ヲ認メタ以上ハ、單記投票が宜トイト認メタル上ハ、斯ル例外ヲ認メアリ、致シマスルコトハ單記投票法ノ精神ニ背キマシテ宜シキヲ得タモノデナカニラシテ、ソレデ此箇條ヲ變ヘタリト云フノアリマス、即チ市制ノ第十五條ノ第二項ノ一級選舉人ノ數が議員定數ノ三分ノ一ヨリ少ナイトキハ納稅額ノ最モ多イ者、議員定數ノ三分ノ一マデヲ取シテ、一級ニスルト云フ、其三分ノ一マテ上ゲルト云フノ五十五步百歩、モウ一步進メテ一マデ改メマシタナラバ、選舉人ノ數ハ議員定數ノ二ヨリ少イコトハナインデアリマスカラ、從クテ連記ヲ用井ナイデ宜トイト云フコトニナルノアリマス、從シテ此第十五條ヲ改正スル結果トシテ、連記ヲ要シナイカラシテ例外トシテ連記ヲ規定シテアリマストコロノ第二十五條ノ第五項ノ但書ハ削除シテ宜トイト云フコトニナル、譯テアリマス、即チ此二箇條ハ相關聯シテサウシテ單記投票ノ精神ヲ完ウスルコトニナルノアリマス、是ハ唯今日野君ヨリ述ベラマシタ通リニ少數ノ富者が跋扈スル弊ヲ少シシモ減ズルが宜トイト云フ理由ガゴザイマス、又三分ノ一ニ進メルト云フノモ既ニ例外アリマスカラ既ニ其例外ヲ認ムル以上ハ、百尺竿頭一步ヲ進メテ二マテト致シテ、一方ノ例外ヲ除イテ完全ニ致ス方ガ宜シイゴザイマス、即チ一級選舉權ヲ斯様ニ多ク致シマシテ財產ノ範圍ヲ廣ク且低ク致シマスレバ、自治ノ圓満平和ヲ期スルノ利益ガアリマス、是ハ少數ノ富者が善良ノ人ノミデアレバ宜イデアリマスガ、ソレナラハ何モ差支ハナノアリマスケレドモ、少數ノ富者が往々横暴ヲ逞ウスル者が出テ、自治ノ平和ヲ害スル者が隨分是ガタニアルノゴザイマス、アルカラ一級選舉權ノ數ヲ殖ヤスコトニ致シタイト考ヘルノゴザイマス、此間本會ニハ普通選舉案スラ出タ位アリマス、是等ニ贊成ノ御方ハ成ルベク財產ノ制限ヲ認メナイト云フノアリマスガ、少數ノ富者ノ暴横ナルヲ期スルト云フ此本案ノ精神ニハ即チ此普通選舉論者ハ御賛成アルベキ當然ノ筋途ト信ズルノゴザイマス、何

卒滿場諸君ノ御賛成ヲ祈リマス
○尾崎行雄君 日野君、荒川君ノ御意見ハ委員會ニ於テモ餘程慎重ノ討議ヲ經タ結果、已ムヲ得ズ反對セザルヲ得ナイト云フノテ消滅シタノアリマス、故ニ願クハ本會ニ於テハ多辯ヲ要セシテ之ヲ否決スルコトニ致シタノアリマス、六年以上云々ト日野君ノ言ヘレタコトハ私權問題ト關係シテ居リマス、是等モ慎重討議ノ上消滅シタノアリ、又二級選舉ヲ二級選舉ニスルト云フコトハ、其結果ニ依シテハ丁度中間ニ居ルベキ現在ノ一級ヲ一級ニ入レルカ、三級ニ入レルカ、ドチラカニシナケレバナラナイ、即チ一級ト云フ國家ノ中堅トモ稱スベキ中等民族ヲドチラカニ逐ヒヤシテシマフト云フコトハ、是ハ自治ノ精神ニ背クノミナラズ、吾々が多年稱ヘテ居ル主義ニ背クノアリマスカラ、是ハヤハリ階級ヲ存スル以上ハ二級ニシテ中等民族ノ力ヲ伸ベサセルが最モ宜イト云フノアリマス、ソレカラ選舉權ノ一倍若クハ四倍ニシヤウト云フヤウト云フコトハ如何ニシテモ投票ノタメニ出席スルコトノ少イトキニハ定員ダケノ當選者ヲ得ルコトが出來ナインデアリテ、同シ人間ニ一回ノ選舉權ヲ行ハシムルコトニナシテ、同シ人間ニアリナカラ定員ヲ得ルコトガ出來ナイタメニ、一回ノ選舉ヲ行フト云フコトハ連記ヲ行フト云フコトニ比ベテ、寧ロ弊害ノ大ニシテ、原理ニ背クト云フノデ、已ムヲ得ズ連記ニシタノゴザイマス、其他イロイロノ御說ガゴザイマシタガ、委員會ニ於テハ極メテ虛心平氣ニ少數黨ノ意見モ採ツノアリマス、採ルベキハ採リ、採ルベカラサルハ採ラナイ、其證據ニハ同一委員會ニ於テ「東京市」ト云フ下ニ「大阪市」ヲ入レルト云フ御說ノ出タトキニ喜ンテ其通りニ致シ、此報告ニ出タノアリマス、多數ガ少數ヲ壓シタト云フ點ハ少シモナインデアリマスカラ、委員會ノ報告通り御通過ヲ願ヒタ、且委員會ノ報告ニハ全部政府ハ同意ノ意味ヲ其席ニ於テ明言致シテ居リマスカラ、此段併セテ報告致シマス

〔採決タク〕ト呼フ者アリ

○野添宗三君 議長——意見ヲ述ベタイ

○議長（長谷場純孝君） 野添君ハ此市制ニ付テスカ

○野添宗三君 サウデス、委員長ノ報告ノ或一部ニ反對ヲ致シテ原案ニ贊成ノ意見ヲ述ベタイノデス

〔登壇〕ト呼フ者アリ

○野添宗三君 極く簡単アリマスカラ此處カラ述ベマス、市制ノ市公民ノ資格ニ關スル要件ト致シテ納稅ノ制限ノアリマス中ニ、直接國稅一圓以上云々ト云フ文字ヲ加ヘルコトニ御修正ニ委員會テハナツテ居ルノアリマスガ、私ハ其點ニ反對テアリテ、是ハ政府ノ原案ノ方ニ贊成スベキモノデアル、其方が相當アルト云フ意見ヲ述ベタノアズ、此市公民ノ資格ノ要件中直接國稅ヲ納メマスルコトニ關シマシテ、現行ノ法律ノ地租ニ付テハ其額ニ制限ハナノアリマシテ、而シテ其他ノ直接國稅ニハ二圓以上ト云フ制限ガアルノアリマス、然ルニ政府ノ原案ハ此一圓ノ制限ヲ除イテ、苟モ直接國稅ヲ納メル者アルナラバ、地租ト其他ノ直接國稅ヲ問ハズ、總テ公民ノ資格ヲ附與スルコトヲ得ルノアリ、然ルニ其他ノ直接國稅即チ營業稅所得稅ノ如キモノハ二圓以上ヲ納メル者ニアラザレバ、公民タル資格ヲ附與シナインデアルト云フ趣意ノ改正ヲセラノアリマシテ、政府ガ不公平ナル點ヲ公平ニ歸セシメントシタルモノヲ遮シテ、ヤハリ

不公正、儘デ之ヲ維持シャウト云フ改正デアルノデアリマス、委員會ノ改正ハ故ニ此點ニ付テハ私ハ大反對ヲ主張スル者デアル、而シテ委員會ニ斯様ナ修正ヲ行ハレマシタ理由トシテハ、其發議者ノ言ニ聽キマストコロニ據レバ、斯様ニセナケレバ則チ直接國稅中ノ所得稅トカ若クハ營業稅ヲ云フモノニ制限ヲ置カズンバ人格ノ低イトコロノモノガ公民權ヲ得ルヤウニナルノテアル、斯ウ云フコトモ事實ノ上ニ御考下サラナケレバナラヌト思フ、地租ハ一匣若クハ一錢ヲ納ムル場合ヲ想像スルコトガ出來ルノテアル、何トナレバ一圓ノ地租ヲ納ムベキ地所ヲ百人ガ共にヲ致シテ居リマシタナラバ、一人ニテ一錢ノ地租ヲ納ムルコトニナルノデアル、併ナガラ所得稅トカ若クハ營業稅ヲ一人シテ一錢納ムルト云フヤウナ場合ハ事實ノ上ニ於テアルヘカラザルコトデアリマスカラ、是等ノ稅ニ對シテ一圓以上ト云フ制限ヲ置クト云フヤウナコトハ、殆ド無益デアル、サウ云フヤウニ私ハ考ヘルノテアル、前回ニ於テ普通選舉ニ關スル法律案ニ御贊成ノアリマシタコロノ諸君ハ本員ノ意見ニ必ズ御贊成アルベキモノデアルト私ハ確信ヲ致スノデアル(拍手起立)

○議長(長谷場純孝君) 要スルニ野添君ノ御意見ハ原案維持說即チ原案復活ノ御意見テスナ

○野添宗三君(サウデス)

(神前修二君登壇)

○神前修二君 私ハ此市制案ニ付キマシテ委員長ノ報告ニ全然贊成ヲ致シマスモノデ、然ルニ唯今日野君ヨリイロ／＼御修正說が出マシタ上ニ吾々ノ修正致シマシタ市制ノ助役ニ對スル規定ト、ソレカラ町村助役ニ對スル規定が相違ガアル、誠ニ不都合ナ修正デアルト云フ御辯駁旁々御意見ガ出マシタ、此點ニ付テ先ツ前ニ申上ゲタイガ、此市制ノ助役ニ付キマシテニシテ、市ノ助役ニ付キマシテニシテ、市ノ簡月以前ニ申立テルナラバ隨意ニ退任セシムルコトヲ得ルト云フコトヲ入レマセナンダ理由ヲ申シマス、町村制ノ上ニ於キマシテ第六十四條ノ三項ニ斯様ナ簡條が舉ゲテアルノデアリマス「町村長及助役ハ府縣知事ノ認可ヲ受クニ非サレハ任期中退任スルコトヲ得ス前項ノ認可ヲ受ケタルモノニ付テハ第八條第二項ノ規定ヲ適用セス」此簡條ヲ町村制ノ上ニ於キマシテ、其代リニ此簡條ニ代リマシテ唯今ノ簡條ハ入ッタノデアリマスカラ、市制ト違アト云フコトハ敢テ怪ムニ足ラヌノデアリマス(左様アゴザイマス)「ト呼フ者アリ」ソレカラ吾々ノ修正ニ對シマシテモ最モ反對ノ理由トシテ唯今喋々御辯シニナリマシタ點ハ第九條ノ修正デアリマス、是ハ隨分御議論ノアルコト、思ウテ居リマシタノデアリマス、御承知ノ如ク現行法ノ公民權中ニハ一戸ヲ構ヘト云フ一要件、ソレカラ地租ヲ納メト云フコト、國稅年額以上ヲ納メルト云フ三要件ガアルノデアリマス、其三要件ヲ此原案ニ於キマシテハ悉ク取リマシタノデアリマス、故ニ選舉法ト云フ點ヨリ見マスト云フト、誠ニ結構ナルヤウデアリマスケレドモ、又地方制度ノ上ヨリ見マストキハ、恰モ普通選舉ヲ實施スルト云フヤウナ狀態ニナルノデアリマス、此ノ如ク急激ナル改正ヲ選舉法ヲ短期無記名ヲ以テ選舉ヲ行ヒマス曉ニハ、必ズ多數小民ノ代表者ハ議會ニ現ハレテ來ルノデアリマス、市制ヲ布カル、所ニ於キマシテハ、餘り感ジアリマスマイ、御承知ノ如ク市ニハ議員數モ一番少ナイ處ニ三十名アルノデアリマスカラ、此感ジハゴザイマスマインレドモ、御承知ノ如ク我全國ニハ一万一千有餘ト云フ多數ノ町村ガアルノデアリマス、此多數ノ町村會議員ノ數ハ如何程デアルカト申シマスレバ、八名九名若クハ十二三名デアルト云フコトハ、諸君モ御承

知デアラウト存シマス、加之古來我國ノ慣習ハ如何デアリマス、我國ノ慣習ト申シマスモノハ從來地方ノコトヲ處シマスニハ名主、年寄ト申シマシテ、多クハ地方ノ長老ノ人間ニ事ヲ執ラシタノデアリセウ、故ニ現今ノ自治制ヲ施行スル當時ニ於キマシテモ、政府ハ此良慣習ヲ慣行セシムルト云フ點ヲ以チマシテ、地方官ニ屢々諭示ヲ致シタコトガアルノデアリマス、故ニ今日ノ町村ノ議員ト云フモノハ多クハ長老ノ人間ヲ以テ組織サレテアルノデアリマス、此長老ノ少數ノ議員ノ中へ小民ノ代表者ガ半モ交リマシタナラバ、町村ノ狀況ハ如何ニナルデアリマセウ、是ハ市制ト關聯ラシテ居リマスカラ、市制ト共ニ論ジマス（「名主ノ講釋ナドハ要ラヌ」ト呼フ者アリ）市制ト大抵條文ガ關聯シテ居リマスカラ併セテ論シテ置キマス（「唯今ハ市制が議題ニナシテ居ルノデアル」ト呼フ者アリ）宣シイ、ソレナラ市制ダケ申シマス、故ニ少數ノ小民代表者ガ入りマスト云フト、ナカノ議會ノ平和ヲ保チ或ハ議會ノ平安ヲ保ツト云フコトハ出來マセヌ故ニ、私共ニヤハリ我幾分ノ階級ヲ附ケ置クコトガ宜シイコト、心得マシテ、唯今ノ修正案ノ如ク修正ヲ加ヘタノデアリマス（「分リマセヌ」チヨットモ分リマセヌ」「止メ給ヘ」ト呼フ者アリ）モウソレヂヤ、是デ措キマセウ

○菅原傳君 討論終決動議ヲ出シマス

○議長（長谷場純孝君） 討論終結ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナイト認メマスカラ討論ハ是ニテ終結ヲ致シマス、探決ニ付テ御詣ヲ致シマス、先刻朗讀シタ通りニ日野君ノ修正ハ澤山ノ箇條ニ亘ツテ居リマス、サウシテ其中ニ荒川君ノ修正ガ即チ十五條ト二十五條ト二箇條アリマスカラ、先づ此十五條ト二十五條ヲ別々ニ採決シャウト思ヒマス（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）日野君ノ修正第十五條第一項中「三級」ヲ「二級」ニ改メ、第二項ヲ左ノ如ク改ム「選舉人中直接市稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ、其他ノ選舉人ヲ二級トス、但シ一級選舉人ノ數議員定數ノ二倍ヨリ少キトキハ納稅最多キ者議員定數ノ二倍ト同數ヲ以テ一級トス」此說ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長（長谷場純孝君） 少數、ソレカラ日野君ノ「第二十五條第五項中ノ但書ヲ削ル」ヲカラ「第二十五條ノ第五項ノ但書ヲ削ル」ト云フノガ荒川君ノ……

○荒川五郎君 唯今第十五條ノ「三分ノ一」ト云フノガ「二倍」ニ改ラヌ以上ハ實際ニ於テ單記ヲ用井ルコトガ出來ナイ結果ニナルノデアリマス、デアリマスカラ第十五條ノ二項ノ但書ノ修正意見が成立シナイ以上ハ、二十五條ノ但書ハ已ムラ得ズシテ存セネハナラヌコトニナリマス、兩者相關係スルコトデアリマスカラ、十五條が決定ニナリマシタナラバ當然此削除ノ意見ハ撤回セザルヲ得ヌノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長（長谷場純孝君） 撤回スルノアスカ——十五條ノ荒川君ノ修正意見ハ否決サレマシタ、其結果トシテ「十五條ノ五項ノ但書削除ト云フ修正説ハ御撤回ニナルノデゴザイマセウ

Digitized by srujanika@gmail.com

「初カラ撤回スレバ宜イ」ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 二十五條ノ第五項中但書ヲ削ルト云フ日野君ノ修正意見二同意ノ諸君ハ起立

○議長（長谷場純孝君）少數、其他ニ日野君ノ修正意見ガアリマス、日野君ノ修正ハ多數ニ瓦ツテ居リマスカラ更ニ此處ニ朗讀スル必要ハ無イト思ヒマス、先刻朗讀シタ通リデアリマス、此日野君ノ總テノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(長谷川純孝君) 少數、野添君ノ修正説ハ原案復活説デアリマスカラ別ニ採決スルノ必要ハナイト思ヒマス、先づ委員長ノ報告三付テ採決致シマス、其他委員長ノ

報告ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○定義シス（拍手）直ニ二讀會ヲ開キ、二讀會ニ於ケル決定ノ如ク、即チ委員長報告ノ通

○議長(長谷川純孝君) 御異議がナケレバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供
〔「賛成々々」と呼フ者アリ〕

市制改正法律案

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長（長谷場純孝君）御異議がナイト認メマスカラ一讀會ニ於テ決定セラレタ通り、即チ特別委員長ノ報告通り本案ハ是ニテ確定致シマス（拍手起立）

○菅原傳君、日程第九、町村改正法律案二付キ、大體反対ノ御意見モナキニ於テ
ハ直ニ二讀會ヲ開カレントヲ希望致シマス

○議長(長谷場紳孝君) 町村制改正法律案第一讀會ノ續別二術異議かナケレバ
直ニ一讀會ヲ開クコトニ致シタイト思ヒマスガ……

○議長（長谷場純孝君） 御異議がナケレバ直ニ一讀會ヲ開キ、町村制改正法律案ノ全部ヲ議題ニ供シマス、委員長ノ報告ハ先刻相濟ミシタ

町村制改正法律案
○議長（長谷川場純孝君）此案ニ對シテモ亦日野君及荒川君ヨリ修正案ガ提出サレ
テ居リマベ、其兩修正案ヲ朝讀致セマズ

〔書記朗讀〕

町村制改正法律案中左ノ通修正ス

タル後五年ヲ經サル者ニ改ム
第十一條第二項但書中「六年ノ徵役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者」ヲ「上六年ノ徵役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後五年ヲ經サル者ニ改ム

第三讀會

町村制改正ニ關スル修正

但シ一級選舉人ノ數議員
二倍ト同數ヲ以テ一級トス
第二十二條第五項但書ヲ別

第二二二條第五項但書(前項)
副議長(肥塚龍君) 日野國明君

、御國田中木村吉ト、思ひマスカラ、能ク御分リニナツ居コト、五郎官、本員等ヨリ是出ノマシタ、町制改正案モ義ノ市制改正案ノ祭三成

マシタ通りノ理由デアリマスカラ、今度コソハ御賛成ヲ願ヒマス
静恭宗三君本員ハ市制文正案ニ付ニ並ベタト同一ノ理由ニ依ツテ、町村制第比

〔采決〕ト乎フ者アリ

副議長（肥塚龍君）　ソレデハ修正ハ荒川五郎君、ソレカラ日野國明君トアリマス、荒川五郎君ノ修正既ニ同意ノ諸君ハ起

立者少數

第一二讀會

官報號外

明治四十四年三月十五日

衆議院議事速記錄第一二二號

市制改正法律案 第二讀會 町村制改正法律案

制改正法律案 第一讀會 四七二

第十 借地ニ關スル法律案(鳩山和夫君外四名提出) 第一讀會

借地ニ關スル法律案

第一條 建物ノ所有ヲ目的トスル地上權ノ存續期間ハ二十年ヲ下ルコトヲ

得ス

第二條 建物ノ所有ヲ目的トスル土地ノ賃貸借カ其ノ期間ノ満了又ハ解約

ノ申入ニ因リテ終了スル場合ニ於テハ賃借人ハ建物ノ存續スルトキニ限

リ其ノ契約ノ繼續ヲ請求スルコトヲ得但レ土地ノ所有者カ賃貸借ノ終了

ノ時迄ニ又民法第六百十七條ニ依リ解約ノ申入ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ

申入ト同時ニ時價ヲ提供シテ建物ヲ買取ルヘキ旨ヲ通知シ土地ノ明渡ヲ

請求スルトキハ賃借人ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前項但書ノ規定ニ依リ賃借人カ土地ノ明渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ明渡

ノ請求アリタル日ヨリ一年内ニ其ノ明渡ヲ爲スコトヲ要ス

第三條 賃借人カ前條第一項ノ規定ニ依リテ賃貸借ノ繼續ヲ請求シタル場

合ニ於テ繼續期間ニ付争アルトキハ裁判所ハ當事者ノ請求ニ因リ契約ノ

時ヨリ二十年ヲ超エサル範圍内ニ於テ建物ノ構造、用方及狀況其ノ他契

約當時ノ事情ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

第四條 土地ノ所有者ハ其ノ土地ニ於テ地上權者又ハ賃借人ノ所有スル建

物ノ上ニ既ニ期限ニ至リタル最後ノ二年分ノ地代又ハ借賃ニ付先取特權ヲ

有ス

同一ノ建物ニ付先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ前項ノ先取特權ハ

他ノ先取特權ニ先ツ但シ民法第三百一十九條第二項但書ノ規定ノ適用ヲ

妨ケス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ第四條ノ規定ヲ除クノ外本法施行前ニ設定シタル地上權及借地權ニ

モ亦之ヲ適用ス

本法施行前ニ設定シタル地上權ニ付二十年ニ滿タサル存續期限ヲ定メタル

トキハ其ノ期間ハ之ヲ二十年ニ伸長ス

(法學博士戸水寛人君登壇)

○法學博士戸水寛人君 諸君、借地ニ關スル法律案ニ付テ提出ノ理由ヲ御話申上

ゲマス、地主ト地借人トノ關係ハ最近ノ兩三年ニ於テ大ニ世人ノ話頭ニ上ツテ居ル、其

關係ハ重ナル社會問題ノニ數ヘラレテ居リマス、ソレカラシテ前議會ニ於テ高木益太

郎君カラ借地ニ關スル法律案ヲ提出セラレタ、而シテ此議會ニ於テモ東京市借地法律

案ト云フモノヲ提出サレタノデアル、前議會ニ提出セラレタモノニ比較シテ見ルト本議會

ノハ大ニ優シテ居ルヤウナ感ガスルノハ高木君ノタメニハ大ニ之ヲ賃スルノデアリマス、サリ

ナガラ恰モ好シ、私共ハ高木君が此案ヲ提出セラル、前ニ「ノ案ヲ指テ居リマシタノデ

アルカラ、之ヲ篤底ニ葬ルト云フノハ遺憾アルノデ、今日此議會ヲ提出シタノデゴザイマ

ス、高木君ノ案ト私共ノ案ト違ツテ居ル重ナル眼目ヲ申シマスト云フト一ツアル、一ツハ

高木君ノハ東京市ノミニ適用スルノデアルケドモ、私共ノハ日本全國ノ適用スルノ

アリマス、今一ツノ達セラ申シマスト云フト高木君ハ地借人ノ利益ヲ保護スルコトニ汲々

トシテ居ラマスケレドモ、併ナガラ地主ノ利益ト云フモノハ度外ニ指カレテ居ルヤウナ感

ガアルノデス、私等ノハサウデアリマセヌノデ、地主、地借人、雙方ノ利益ヲ保護シ之

ヲ調和セシムルト云フコトヲ目的トシテ居ルノデゴザイマス、此際ニ於テ諸君ニ申上げ
タイコトハ地主ト地借人ノ關係ニ於テ適當ナル法律ヲ持ヘルト云フノハ隨分ムガカシイ
事柄デゴザイマス、舊幕時代ニ於テハ借地證書ニ短カナ期限ヲ書イテアシテモ、又期限
ヲ設ケテナクテモ、地主人濫リ地借人ニ向テ土地ノ明渡ヲ請求スルト云フコトハナ
カツタノデアリマシテ、地主ハ地借人ヲ可愛ガシテアツタノデアル、然ルニ今日ニ於テハ情勢
一變致シマシテ證書ニ書イテアルトコロノ短ナ期限ヲ媚ニ取ツテ、地主ガ地借人ヲ窘メ
ル、又他ノ一方ニ於テハ地借人ノ方デハ惡ルイノガ居リマスト云フト、隨分地主ヲ窘メ
ルノガアル、地主カラ地代ヲ上ダテ吳レト云フコトヲ請求致シマシテモ、ナカバソレニ應
ジナイ、ソレガ應ズヘキ相當ノ道理ガアルニモ拘ラズソレニ應シナイ、又明渡ヲ請求致シマ
シテモ何トカ辭ヲ設ケテソレヲ避ケテ居ルト云フヤウナ次第ニアシテ、隨分地主ノ中ニ惡ルイ
地借人ガ居ルノデゴザイマス、サウデアリマスカラ、法律ヲ設ケルニハ地主、地借人雙方
ノ利益ヲ能ク考ヘテ之ヲ設ケナイト云フト、ドウシテモ今日ノ情勢ニ合ハズ思ヒマス
ルニ地主ト地借人ト云フモノハ利害關係ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、地主ノ利益
ヲ圖ルト云フト、地借人ノ不利益ニナル、地借人ノ利益ヲ圖ルト云フト、地主ノ不利益
ノ利益ヲ能ク考ヘテ之ヲ設ケナイト云フト、ドウシテモ今日ノ情勢ニ合ハズ思ヒマス、私
共ノ提出致シタコロノ案ハ此調和ヲ圖ルヲ以テ目的トシテ居ルノデゴザイマシテ、果シテ
適當ニ出來テ居ルカ否ヤト云フコトガ十分ニ審議ヲ盡シタ上ナイトマダ分ラヌノデゴザ
イマシテ、自分ニモ如何カト思フ黙モアリマスケレドモ、免ニ角諸君ト共ニ之ヲ審議シタ
イト思フノデアル、ドウツ宜シク御審議下サルコトヲ願ヒタイ

○管原傳君 本案ハ東京市區改正條例中改正法律案外一件ノ委員ニ付託セラレ
ンコトヲ望ミマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 管原君ノ發議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ東京市區改正條例中改正法律案外一件ト
同一委員ニ付託スルコトニ致シマス、次ハ日程第十一、廣告物取締法案、提出者松
田源治君外四名、議案ノ朗讀ヲ省キマス、松田源治君——大橋賴摸君

第十一 幻影物取締法案(松田源治君外四名提出) 第一讀會

廣告物取締法

廣告物取締法

第一條 行政官廳ハ風俗取締又ハ風致保存ノ爲必要ナリト認ムルトキハ命
令ヲ以テ地域ヲ限り廣告物ノ表示又ハ之ニ關スル工作物ノ設置ヲ禁止若

ハ制限スルコトヲ得

第二條 建築物又ハ船車ニ於テスル外廣告物ヲ掲表テ又ハ改造スルニ付行

政官廳ノ許可ヲ受ケシムルノ必要アル場合ニ於テハ命令ヲ以テ之カ規定

ヲ設クリコトヲ得

第三條 前二條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル物件ニ對シ行政官

廳ハ除却ヲ命シ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 廣告物又ハ看板ニシテ危險ノ虞アリ又ハ安寧秩序ヲ害シ若ハ風俗
ヲ素ルノ虞アリト認ムルモノハ行政官廳ニ於テ除却其ノ他必要ナル措置

第五條 第一條、第二條ノ規定ニ基キテ 発スル命令又ハ 第三條、第四條ニ
定メタル行政官廳ノ命令ニ違反シタルトキハ 拘留又ハ科料ニ處ス

附 則

第一條ニ依ル地域指定ノ際現ニ存在スル廣告物又ハ之ニ關スル工作物ニ對
シテハ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外補償ヲ爲スニ非サレハ一年間
禁止若ハ制限ニ關スル命令ヲ適用スルコトヲ得ス

〔大橋賴摸君登壇〕

○大橋賴摸君 本員等が茲ニ提出致シマシタノハ廣告物取締法案ト云フモノヲ出シ
マシテゴザイマス、本案ノ趣旨ヲ努メテ簡單ニ申上ゲマス、廣告物ハ近時到ル處トシテ
此廣告が掲示若クハ貼附サレテアルノテアル、然ルニ其取締ノ無イタメニ或ハ市街ニ於
テ市内ノ美觀ヲ損ジ、若クバ公園乃至名所舊蹟ニ於テ風致ヲ害スルト云フコトガ多々
アルコトヲ認メルノデアリマス、是等ノモノニ對シテ相當ノ取締法ヲ制定致シタイト云フ
考ヨリ茲ニ數條ヲ列記致シマシテ、此方法ヲ茲ニ考案致シマシタル次第デアリマス、承
トコロニ依レバ外國ニ於キマシテモソレハ、此廣告ニ付テハ取締ハシテアシテ、猥ニ市
街ノ美觀ヲ損ジ、又ハ公園内ノ風致其他名所舊蹟ニ於キマシテ、斯様ナ如何ハシイ廣
告ヲ出スト云フコトハ或程度ニ制限ガシテアルサウデゴザイマス、然ルニ我帝國ニ於テ未
ダ此方法が設ケテナイガタニ茲ニ此取締法ヲ制定ラ致シタイト云フノアリマスカラ、須
ク審議セラレテ本案ノ成立ヲ希望致シマスル、次第デアリマス、尙はニ於キマシテ本案ニ
對スル政府ノ所見ハ果シテ同感デアルヤ否ヤ、同感ナラバ幸ニ政府茲ニ言明致サレンコト
ヲ切望致シマス次第ゴザイマス

〔政府委員有松英義君登壇〕

○政府委員(有松英義君) 本案ニハ大體ニ於テ同意ヲ表シマス

○菅原傳君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 菅原君ノ發議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、次ハ
日程第十二、地租條例中改正法律案第一讀會ノ續、委員長千田軍之助君

第十二 地租條例中改正法律案(塚田啓
太郎君提出)

第一讀會ノ續(委員長)
(報告)

〔千田軍之助君登壇〕

○千田軍之助君 私ハ地租條例中改正法律案ニ對スル特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、是ハ極メテ簡單ナル改正案デアリマス、即チ地租條例中ノ第十一條ニ田租ノ第四期五月一日ヨリ二十一日マテアルヤツヲ一箇月繰下ケ
マシテ、六月一日ヨリ三十日マデト云フコトニ改正シタイト云フノガ、此改正案ノ趣旨デアリマス、特別委員會ニ於キマシテ審査ノ上、今ヤ農家ノ負擔ハ非常ニ重
クナリマシテ、地租ノ辨納等ハ單ニ米ノヨリ賣シテ辨ズルト云フ(譯ニハ參ラヌ、ソレガタメニ副業トシテ例ヘ養蠶ヲヤツテ、其飼ヲ金ニシテ地租ノ一部分ニ充テルト云フヤウナ傾ガ各地トモアルノ麥作ヲ收穫シタ上ニ、其麥ヲ賣シテ其一部分ニ充テルト云フヤウナ傾ガ各地トモアル
デアル、然ルニ五月ヲ田租ノ第四期ノ納期ト致シテハ、マダ時期が早過ギテ養蠶ヲ得タル

トコロノ飼ヲ金ニスルトカ、裏毛ヨリ得タル麥ヲ金ニスルト云フ場合ニ至ラナイ、之ヲ一箇
月延ベマシテ六月一日ヨリ二十日マデト改正スレバ、飼モ錢ニナリ、又裏毛モ金ニナル
頗農家ニ取ツテハ都合ノ好イコトデアル、因テ斯ウ云フ具合ニ改正スルノ必要ガアルト
云フコトデ、特別委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シタ次第アリマス、尤モ政府ハ之
ニ對シテ民間ノ金融狀態ヲ見ルニ、六月ヨリモ五月ノ方が宜イヤウデアル、因テ一箇月
繰下ゲルト云フコトハ却テ農家ノ不便不利ヲ來スノデハナイカト云フ點カラシテ反對ヲサ
レマシタケレモ、能ク經濟ノコトヲ特別委員會ノ方デ調査致シマシタノニ、ドウモ政府
ノ云フコトロハ少シ事實ト遠カッテ居ルヤウニ考ヘマスノデ、唯今述ベマシタヤウニ一箇月
繰下ゲルト六月一日ヨリ二十日マデトスルト云フコトニ特別委員會ニ於テハ滿場一致ヲ
以テ可決シタ次第アゴザイマスカラ、ドウカ諸君ニ於テモ御賛同アランコトヲ希望致シマ
ス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

〔政府委員菅原通敬君登壇〕

○政府委員(菅原通敬君) 本案ニ對スル政府反對ノ意見ヲ簡單ニ申述ベマス、租
稅納期ノコトハ納稅上ノ便否ニ考ヘナケレバナラヌノハ勿論デアリマスガ、又同時ニ國庫
上及金融上ノ利害ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、而シテ國庫ノ歲入歲出ハ成ベク
毎月其平均ヲ保タシムルコトヲ必要トスルノデアリマス、本案ニ依リマスト五月ニ收入ニ
ナツテ居リマストコロノ千二百万圓バカリノ歲入ト云フモノガ、翌月ノ六月ニ繰下ゲラル
ルト云フコトニナルノデアリマシテ、之ニ依テ國庫ノ歲入歲出ノ平均が益、權衡ヲ失フコ
トニナルノデアリマス、其タメニ或ハ大藏證券ヲ發行致シマストカ、或ハ一時ノ借入金ヲ
致シマストカ云フヤウナ必要ヲ生ズルコトニナリマシン、其結果又金融上ノ調和ヲ破ルヤ
ウナ虞レモアルノデアリマス、而モ此五月ヲ六月ニ繰延ベルト云フコトガ、大ニ納稅者ノ
便利ニナルカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルノニ、政府ノ見ルトコロニ於キマシテハ、ソ
レ大ナル便宜ガアルト云フヤウニハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、御提案者ハ五月ト云フ
月ハ非常ニ農家ノ支出ヲ多ク要スル月デアル、或ハ府縣稅ナリ市町村稅ナリノ納付ノ
時期ニナツテ居ルノデアル、隨ツテ民間ノ金融上ノ狀態ハ窮屈ナトキデアルト云ハレマスケ
レドモ、民間ニ於テ而モ農業資金トシテ必要デアリマスノガ、多クハ三月四月ノ交ニ在
ルノデアリマス、而シテ府縣稅市町村稅等ノ如キモ多クハ四月中ニ納付ニナルノデアリマ
スカラ、五月ト云フノが比較的の金融ノ緩カナトキニナツテ居ルノデアリマス、ソレカラ又御提
案者六月ニナルト裏毛ノ麥ヲ賣シテ之ヲ金ニ換ヘルト言ハレマスケレモ、麥
ノ如キハナカノ六月中ニ之ヲ金ニ換ヘルト云フヤウナコトハ或一部ノ地方ニハアリマセ
ウケレドモ、全國ノ一般ニ照シテ見マスト、サウ云フコトニハ參リマセヌノデアリマス、(ヒ
ヤ)「ト呼フ者アリ)ソレデアリマス故ニ、五月ヲ六月ニ繰下ゲルト云フコトハ、或一地方
下ケテ行カナケレバナラヌト云フ必要ハ認ムルコトが出來ヌノデアリマス、殊ニ御承知ノ通
リ本年カラハ郡村宅地ノ納期が七月ヨリ始マルコトニナルノデアリマス、若シ田租ノ四期
ヲ六月ニ繰下ゲルト云フコトニナリマスト、六月ト七月トが納期が續クコトニナルノデアリ
マス、是ハ決シテ納稅者ノ便利トスルトコロデハナカラウト思フノデアリマスカラ、是等ノ

○菅原傳君 本案ニ對シマシテハ政府委員ノ反対モアリマスケレドモ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決シタ案ニアリマスカラ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通り決定セラレントコトヲ望ミマス

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 御異議ガゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 菅原君ノ發議ニ御異議ガナイト認メマス直ニ二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

地租條例中改正法律案

○副議長(肥塚龍君) 三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ 唯今委員長報告通り確定致シマス、次ハ日程 第十

三、登録稅法中改正法律案第一讀會ノ續ラ開キマス、委員長日向輝武君

確定議

○副議長(肥塚龍君) 三讀會ノ續ラ開キマス、委員長報告通り確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ 唯今委員長報告通り確定致シマス、次ハ日程 第十

三、登録稅法中改正法律案第一讀會ノ續ラ開キマス、委員長日向輝武君

第一讀會ノ續(報告長)

○日向輝武君 登録稅法中改正法律案ノ特別委員會ハ審議ヲ重ねシ結果、本

案ハ原案ノ通り決定ヲ致シタノアリマス、政府委員ハ例ノ通り大藏省ノ菅原君が此

案ニ反対ヲ唱ヘラレタノアリマス、併ナガラ其反対ナルモノハイツモ同ジヤウナ理由デア

リマシテ、極ク僅少ナル國庫ノ歲入ニノミ著眼シテ國家百年ノ大計ヲ忘レタル反対デア

リマス、委員會ニ於テ此案ヲ可決致シマシタル理由ハ極メテ簡單デアリマス、即チ模範

林造設ノ急務及市町村竝ニ公立學校ノ基本財產設定ノ急務、此二ソノモノハ刻下

ノ現狀ニ照シテ非常ナル急務デアルト云フコトハ何人モ之ヲ認メテ居ルノアリマス、殊ニ

内務省及農商務省等ニ於キマシテハ模範林ノ造設及市町村ノ基本財產設定等ニ

向テ極力獎勵ヲ致シ、有ラユル方法ヲ以テ之ヲ保護獎勵致シテ居ルノアリマス、併ナ

ガラ市町村民が重稅ノ壓迫ノタメニ甚シク疲弊致シテ居リマシテ、斯ル急要ナル經營モ

種々ナル負擔ノタメニ之ヲ爲スコトガ出來ナイノアリマス、是ニ於テ此登録稅法ニ改正

ヲ加ヘマシテ公共團體が模範林ヲ造設スル場合及市町村竝ニ公立學校ニ於テ基本財

產ヲ設定スル場合ニ於キマシテハ現行登録法ニ依ル千分ノ二十五ト云フ過大ナル登録

稅ヲ免除シテ、現下ノ急務ニ應シテ、而シテ其結果、自然ニ興ルトヨロノ植林ノ獎勵、

教育ノ普及並ニ基本財產ヲ設定致シマシテ、國家ノ下級團體タル市町村ノ基本ヲ鞏

固ニスル趣意ニ適ハセルタスニ此案ヲ最モ適當ナルモノト認メ、滿場一致ヲ以テ委員會

ハ之ヲ可決シタノアリマス、又政府ニ於テハ別ニ大シタ反対ハゴザイマセヌガ、唯大藏省

カラ御出ニナシタコロノ政府委員が國庫ノ收入が多少ニシテモ減ルト云フコト、竝ニ稅

制ノ統一ト云フコトヲ缺クト云フ理由ヲ以テ之ニ反対ヲ致シタノアリマスケレドモ、僅

少ナル國庫歲入ノ缺陷若クハ法文上ニ多少ノ統一ヲ缺ク位ノコトハ、此重要ナル市町

村ノ團體ノ基礎ヲ鞏固ニシテ教育ヲ普及シ及水源ヲ涵養スルトヨロノ植林經濟ヲ圖ル

ト云フ國家ノ大計カラ見レバ、取ルニ足ラザル反対論トシテ、原案ノ通り決定致シタ次

第アリマス、此段御報告ヲ致シマス

(政府委員菅原通敬君登壇)

○政府委員(菅原通敬君) 本案ニ對シマシテモ遺憾ナガラ反対ヲ申サナケレバナラヌノアリマスガ、其反対ノ理由ハ今日向君カラ御紹介ニナリマシタノトハ達フノアリマスカラ、ソレヲ明カニ致ス必要ガアルノアリマス故ニ御提案ノ趣意ハ現行法ノ規定通りニ於テ適用上差支ナク行ハレテ居ルノアリマス、特ニアスコニ法文ヲ加ヘ模範林ニ當ルト云フヤウナ蛇足ノ文字ヲ加ヘル必要ハナカラウ、甚シク稅法ノ體裁ヲ損ズルコトニナリハセヌガ達ツテ居ルノアリマス、模範林ノ方ニ付キマシテハ委員會ニ於テモ御説明致シマシテ

通り公用ニ供スルモノアルトシテ、今日ニ於キマシテモ登録稅ヲ課セナイトコロノ取扱ヲ致シテ居ルノアリマス、ソレデアリマス故ニ御提案ノ趣意ハ現行法ノ規定通りニ於テ適用上差支ナク行ハレテ居ルノアリマス、特ニアスコニ法文ヲ加ヘ模範林ニ當ルト云

カト云フノア模範林ト云フ方ニ付テハ御反対ヲ致シタノアリマス、ソレカラ基本財產ノ

方ニ於キマシテハ是亦其反対ノ理由ハ達フノアリマス、御承知ノ通り登録稅ハ單ニ租

稅ノ性質ヲ帶ビテ居ルバカリテナク、手數料ノ性質ヲ帶ビテ居ルノアリマス、ソレデアリ

マスカラ苟モ登記登録ヲ申請スル者ニアリマスト云フト、公法人ニアラウガ、私法人ニアラウガ、或ハ營利法人ニアラウガ、公益法人ニアラウガ、總テ相當ナル登録稅ヲ納付シ

ナケレバナラヌト云フコトニナシテ居ルノアリマス、然ルニ市町村ニ於テ或ハ學校ニ於テ

基本財產ヲ造營スルト云フコトナシテアルカト申シマスト云フト、是ハ其財產ヲ利用シテ其收益ヲ運用シテ行クト云フコトニ目的ガアルノアリマス、全く一私人ガ財產ヲ所有致シテ、サウシテ收益ヲ圖シテ行クト云フコト、少シモ違ツテ居ラヌノアリマス、ソ

レテ稅法ハ公用ニ供スル場合ニ於テハ、登録稅ヲ免除スルコトニナシテ居リマスケレドモ、苟モ公用ニ供セヌ場合ニ於テハ總テ之ヲ課稅スルト云フコトニナシテ居ルノアリマス、若

シ學校ナリ或ハ市町村ナリニ於テ基本財產ヲ造營致シテソリニ依シテ收益ヲ圖シテ行クト

行クトニ付テ登録稅ヲ免除スルト云フコトニナリマスト云フト、一私人ガ同様ナル事業ヲ致シテ行クト云フ場合ニ於テハ登録稅ヲ課セラレルト云フコトニナルノアリマスカラ、

一私人ノ事業ト云フモノハ市町村ナリ或ハ學校ナリノ事業ニ對抗ガ出來ヌト云フコトニ

ナル、一私人ノ事業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハ、此市町村ノ自治ノ基礎ヲ固メル上

ニ於テモ却テ得策ハナカラウト思フ、サウ云フ政策ヲ執ルト云フコトハ甚ダ不利益グラ

ウト思ヒマス

○日向輝武君 サウ云フコトヲ言フナラ質問致シマス

(日向輝武君登壇)

○日向輝武君 極ク簡短ニ政府委員ニ反問致シマスル、元來此案ハ大藏省ノ役人

ハ能ク知ラナイト思フ、事地方自治團ニ關シ、事水源ノ涵養——水源ノ涵養、植林

經營ト云フコトニ關スルノデ、大藏省ハ能ク御承知ナインデアル、而シテ沿々ト此處ニ反

對セラレルノアリマスガ、前ニ模範林ノ造設ト云フコトニハ同意デアル、法文ヲ直サナ

クモ既ニ實行シテ居ルト、斯ウ云フコトヲ云フテ居ル、何レニ實行シテ居ル事實ガアルカ、

大藏省ノ役人が御承知ナイント云フノハ此點ニアリマス、明治四十一年カニ於テ農商務

省ハ地方廳ニ通達ヲ致シマシテ、府縣郡ニ依ル模範林造設ノ場合ハト云フコトヲ限定シテ居リマスル

ト云フノト變ラナイ、府縣郡ニ於テ模範林造設スル場合ニハ登録稅ヲ取レト云フノアル、現ニ取リ

アルノアリマス、故ニ此法案ヲ提出シテ其不法ヲ矯正セントスルノアリマス、私ハ大

藏省ノ役人ニ問ハントスル、府縣郡が模範林ヲ造設スル場合ニ登録稅ヲ課稅セズシテ、

何故ニ市町村ノ模範林ヲ造設スル場合ノミ登録稅ヲ課スルノアルカ、模範林造設ノ結果、水源ヲ涵養シ、治水ノ上ニ多大ナル效果ヲ及ボスト云フコトハ、府縣郡ノ經營ニ依リマシテモ、市町村ノ經營ニ依リマシテモ、植林ハ同ジク植林デアリマス、何等變ツタコロガナイ、然ルニ府縣郡ノ造設ノ場合ニハ登録稅ヲ免除シ、市町村ノ經營ニ依ル場合ニハ之ヲ課スルト云フノハ何故デアルカ、私ハ此點ニ於テ明白ナル答辯ヲ煩シタイ、又第ニ尋ハ一個人ノ經營ト自治團體ノ經營トハ毫モ異ナラナイト云フコトデアリマスガ、是ハ實ニ亂暴ナル議論ト言ハナケレバナラヌ、凡ツ國家ノ富強ト云フモノハ最下級團體タ

ル市町村ノ繁榮、市町村ノ團體ノ基礎ノ鞏固ニアルト言ハナケレバナラナイ、當リ前ナ話デアル、而シテ國家ノ基礎タル下級團體ノ團結ヲ鞏固ニ致シマスルニハ、其基本財產ヲ設定スルヲ以テ急務トルノアル、此下級團體ノ團結ヲ鞏固ニスルタメニ基本財產ヲ設定スルノヲ急務ト認メ、内務省ニ於テモ極力之ヲ獎勵シ、政府ハ國家ノ不用存置林ハ是が目的ノタメニ努力テ拂下ゲル方針ヲ取テ居ル、此場合ニ於テ實ニ微々タル、言フニ足ラザル國庫カラ見レバ云フニ足ラザルトコロノ登録稅ヲ免除シテ、サウシテ全體ニ瓦リ國ノ基礎タル下級團體ノ團結ヲ鞏固ニスルト云フ大ナル效果ノアルコトニ向テ、此法案ヲ提出スルニ是ハ個人ニ利益ヲ目的トスルトコロノ植林經營ト毫モ異ナラナイト、其財產ト少シモ違ハヌト云フコトハ何タル暴言デアルカ、如何ナル點ニ於テソレガ同ジテアルカト云フコトヲ再び政府委員ハ此壇ニ出テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

(政府委員菅原通敬君登壇)

○政府委員(菅原通敬君) 唯今ノ日向君ノ御質問ニ御答致シマス、第一ノ府縣郡ノ模範林ニ對シテ登録稅ヲ免除シ、市町村ノ模範林ニ對シテ登録稅ヲ免除セヌト云フ理由ハ何處ニアルカ、斯ウ云フ御尋ニアリマスガ、大藏省ニ於キマシテハ、府縣郡市町村ノ模範林造營ニ付テハ總テ登録稅ヲ免除スルト云フコトノ決議ハ既ニ明治四十年ノ五月ニ致シテ居ルノアリマス、苟モ公共ニ供スルトシテ模範林ノ造營ヲ致スモノニ付テハ府縣郡市町村ノ區別ナク、總テ課稅セヌト云フコトヲ取扱ニナツテ居リマス、ソレカラ第二ノ私人ノ經營スル山林事業、ソレカラ公共團體ノ造營スル山林事業其他トノ間ニ區別ガナイト云フコトヲ言フガ、ソレハドウ云フ譯デアルカ、斯ウ云フ御尋ニアッタト思フノアリマスガ、私ノ先刻申上ゲマシタノハ租稅ハ總テ公平ニナラナケレバナラヌモノアル、同シ經濟的物件ニ相當スルニ付テハ、甲ノ物ニ對シテモ、乙ノ物ニ對シテモ、ソレハ公平ニナラナケレバナラヌモノアル、ソレテ市町村ガ持シテ居ルトコロノ財產ノ收益ヲ目的トシテ居ルトコロノ其財產ト云フモノハ、私人ノヤハリ收益ヲ目的トシテ居ルトコロノ財產ト少シモ變ラナイモノアル、サウ云フモノアルナラバ、ソレニ對シテ公平ニ課稅ヲスルノが必要アル、故ニ一方ニ免除シテ、一方ニ免除セヌト云フヤウナ取扱ヲスルト云フコトハ宜シクナイト云フコトヲ申上ゲタノアリマス、ソレテ現行法ノ登録稅ノ主義ハ先程申上ゲマシタ通り、公用ニ供スルモノニ付テハ課稅ヲ致サヌト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、其公用ニ供セヌモノニ付テハ總テ課稅ヲスルト云フトコロノ主義ヲ取テ來テ居ルノアル、然ルニ此基本財產タケニ對シテ公用ニ供スルモノニアラズシテ、收益ノ發生來ヌ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノアリマス

○日向輝武君 ドウモ御承知ノナイコトヲ無暗ニ問フノモ、甚ダ無益デアルト思ヒマスガ、實際現行ニ於テ府縣郡ノ經營ニ依ル模範林ハ登録稅ヲ免稅シ、市町村ノ經營ノ模範林造設ノタメニスル不動產ノ移轉登記ハ登録稅ヲ取テ居ルコトガ事實ニアリマスカラ

政府委員が御歸リニナツテ御調ヘニナツラ御分リニナルト思ヒマス、ソレダケヲ申シマス
○菅原傳君 本案モ直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ決定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 菅原君ノ御發議ニ御異議ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君)

然ラバ直ニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題トシ二讀會ヲ省略致シマス

○副議長(肥塚龍君)

菅原君ノ御發議ニ御異議ゴザイマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 登錄稅法中改正法律案

○副議長(肥塚龍君) 委員長報告通リ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通リ可決致シマス、ソレカラ日程第十四、

朝鮮穀物及穀粉ノ移入稅ニ關スル建議案ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガゴザイマス、御異議ゴザイマセヌカ

確定議

○副議長(肥塚龍君) 房公墳墓修理並ニ南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ノ特別保護建造物編入ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

右建議

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ延期スルコトニ致シマス、日程第十五、准三后北畠親房公墳墓修理並ニ南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ノ特別保護建造物編入ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ハ省略致シマス
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ延期スルコトニ致シマス、日程第十五、准三后北畠親房公墳墓修理並ニ南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ノ特別保護建造物編入ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

○副議長(肥塚龍君) 深三后北畠親房公墳墓修理並ニ南朝三帝ノ宮

第十五 塗賀名生皇居ノ特別保護建造物編入ニ關スル建議案

准三后北畠親房公墳墓修理並ニ南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ノ特別

我カ國體ノ精華ヲ發揮シ國史ヲ顯揚スルハ我カ國家存立ノ最大要義タリ依リテ准

三后北畠親房公ノ墳墓ヲ修理シ並南朝三帝ノ宮址賀名生皇居ノ特別保護建造

物ニ編入セラレムコトヲ望ム

右建議

(「法性寺入道案」ト呼フ者アリ)

(東武君登壇)

○東武君 本案ノ建議案ノ本體ノ要領ヲ極メテ簡單ニ申上ゲマス、餘程時間モ切迫致シマスルシ、此事ニ付テノ歴史上ノコトカラシテ、事實今日マテノ調査ノ結果等ヲ御

話申シマスレバ、殆ド數時間ヲ費シテ極ク簡單ニ申シマス、此建議案ニ付キマシテハ實ハ目下

世論ニ上ゲテ居ルトコロノ南北正闘問題トハ是ハ何等ノ關係ナイトデアリマス、教科書

問題トハ何等ノ關係ヲ持テ居リマセス、又是ハ政黨問題デモアリマセヌデ、私共ノ選舉

區トモ異ナシテ居リマスガ、實バ此問題ニハ多大ノ關係ヲ持テ居ルカタメニ、此案ノ提出

者ノ一人トナツタ次第ゴザイマス、第一ニ場所ニスガ親房卿ノ墳墓ノコトデアリマスガ、

是ハ歴史ニ上ニ於テハ種々ナカル議論ガ今日マテ横ツタ居ツタ、或ハ東北ニ於テ青森ノ波

岡岩代ノ靈山ナド云フ所ハ親房卿ニ最モ縁故ノアル所デアリマス、併ナガラ太和ノ賀名

生皇居ノ宮址ニ於テハ親房卿ノ墳墓ハ儼シテ存在シテ居ル、是ハ山間僻村ナルガタメ

ニ世間ニ是マテ閑却サレテ居ツタ、然ルニ三十六年ニ帝室ノ古蹟取調會ニ於テハ是ガ親

房卿ノ墳墓ニ相違ナイト云フコトガ明カニ會長カラ奈良縣知事ニ回答ガアツタノデアリマ

ス、又親房卿ノ御贈位ニ付テハ明治四十一年東北御巡幸ノ際ニ於テ正一位ヲ贈ラレタノアリマスガ、其時ニ我宮内省カラ策命使ヲ派遣スルト云フコトニ付テ何レニ向テ策命使ヲ派遣シテ宜イカト云フコトニ付テ多少講究ヲ要シ疑問ガアツタノアリマス、然ルニ其調査ノ結果ニ依リマシテ終ニ此賀名生ノ親房卿ノ墳墓ニ策命使ヲ出シテ居リ

マス、其他大日本史、穴太記其他ノ谷金剛山寺ノ縁起等ノ多クノモノニ依シテ此親房卿ノ墳墓ハ奈良縣吉野郡賀名生村ニ在ルト云フコトガ判然シテ居リマス、然ルニ其墳墓ハ何等ノ修理ヲ加ヘズシテ僅ニ五輪ノ塔が極ク寂シク立ツテ居ルヤウナ始末デアル、親

房卿ノ南朝棟梁ノ忠臣ナルシ、又其忠臣タルコトモ楠木或ハ新田以上テアルト云フコトモ是亦御話甲上グル必要ハナイ是等ノコトハ諸君が御調べ下サレバ直グ分ルコトアリマスガ、國家ノ棟梁トシテ南朝五代ニ事ヘマシテ非常ナル功績ガアツテ、文武兩相兼

ネタル忠臣デアルノアリマス、サウシテ親房卿ノ墳墓ハ左様デアリマスガ、又靈山ト常陸ノ小田ト云フ所ガアリマスガ、併ナガラ靈山ハ是ハ親房卿ノ葬タ所ハナシ、又小田城ハ親房卿ガ關城ニ籠城シテ居タ時分四箇年ノ間居リマシタガ、兵馬倥偬ノ間神皇正統記ヲ著シ、又職原鈔ヲ著シマシク所デアリマス、其場所ニ於テ其緣故ニテ此小田ニ

モ親房卿ニ關係ガアル、斯ウ云フヤウナ事情ニナシテ居ル、ソレカラ次ニ南朝ノ三代ノ宮址、是モチヨット御話ヲ申上ゲナケレバナリマセヌガ、此宮址ハ吉野郡ノ賀名生ト云フ所デアリマスガ、延元元年ニ後醍醐天皇が尊氏ノ叛逆ニ依リマシテ觀山ニ潛

幸致サレテサウシテ尊氏が敢テ陛下ニ逆意アルニアラズ君側ノ奸ヲ攘ハシガタメト稱シ佯ニ尊氏ガ降タタメニ京都ニ御還リナリマシタ、其場合ニ花山院ニ幽囚サレマシテ花山院ニ居ルコト半歲アツタガ、或日花山院ヲ築地垣ノ陰カラ竊ニ忍出マシタ、其時三種神器ハ繁範ト云フ從者ニ持タセテ身ヲ女房ノ姿ニ變シテ免レ出メアリマスガ、

其時ニ京都ヨリ奈良ヲ經テ二十八日ニ此吉野ノ山深イ人煙極メテ疎ナル一ノ里ニ落付カレタノアリマス、ソレカラ爾來後村上天皇後龜山天皇ニ至ル五十七年間此賀名生ノ皇居ニ在ラセラレタノアリマス、ソレデ此宮址ト云フモノハ今ドウナシテ居ルカト云フト、明治初年以來屢々宮内省カラ遺蹟保存ノタメニ多少ノ金額ヲ下付サレマシタ、又地方ニ於テハ保存取調會ト云フヤウナモノヲ設ケマシテ種々ナル保存法ヲ講ジテ居リマスガ、而モ其宮址ナルモノハ五百年以前ノ建物其儘が存在シテ居ラシテ殆ド風慘雨蝕柱傾キ軒破ルト云フヤウナ狀態アル、而モニニ對シテ何等ノ修築ト云フモノモ何等ノ保護ト云フモノモ致シテ居ラヌノデ、眞ニ嘆ハシイ狀態ニナシテ居ルノアリマス、ソレテ此宮址ヲ修築シテ特別保護建造物ニ加フル同時ニ親房卿ノ墳墓ヲ修理シテ官幣大社ニ御祀リニナルト云フコトが本案ノ旨趣アルノアリマス、尙此賀名生皇居ノ宮址ハ歷史上最モ保存ヲ要スベキコトアルシ、今日光輝アル史蹟ヲ顯揚シ、我國體ノ精華ヲ發輝スルト云フコトハ吾ノ最モ努メナケレバナラヌ國家ノ一大事ト思ヒマス故ニ、本案ヲ提出シタ次第アリマス、尙詳細ノコトハ委員會ニ於テ申述ベル積リテアリマス

○鈴木力君 提案者ニ伺ヒマスガ……
〔起立タキト呼フ者アリ〕
○副議長(肥塚龍君) 立シテ發言ヲ……
○鈴木力君 此御建議案ノ如キコトハ宮内省或ハ社寺局等ニ於テ疾三取調べ、或ハ實行スベキコト、思フ、此建議案が通過シタナラバ宮内省ノ官吏ノ如キハ曠職ノ責ヲ問ハレハセナイカト思フ、是ニ對シテ多少ノ御意見ガアリセウカ、是等ハ宮内官吏等ガ自分ノ頭ノ蠅ラ自カラ逐フベキコトアツテ、仰々シク吾ノ建議ヲ受ケテ始メテ覺ルヘキ性質ノモノデ

ナカラウト思フ、少々彼等ヲ平常カラ御責メニナツタナラバ彼等自ラ恥デテ建議案ノ通過ヲ待タズシテ實行スベキコト、思フ、因テアナタニ伺フノハ本案通過ノ結果ハ自然政府ノ御迷惑ニナリハセヌカト思ヒマスガ……

○東武君 頗爾同感デアリマス

○菅原傳君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○副議長(肥塚龍君) 唯今ノ菅原君ヨリ議長指名九名ノ特別委員ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様致シマス、次ハ日程第十六、前參議司法卿江藤新平表彰ニ關スル建議案ヲ議題トシ、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、川原茂輔君

○副議長(肥塚龍君) 唯今ノ菅原君ヨリ議長指名九名ノ特別委員ニ付託スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

○副議長(肥塚龍君) 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

第十六 (尾崎行雄君外二名提出)

前參議司法卿江藤新平表彰ニ關スル建議案

前參議司法卿江藤新平表彰ニ關スル建議案

前參議司法卿江藤新平ハ夙ニ尊王ノ大義ヲ唱へ維新ノ大業ニ翼賛シタル功臣ナリ

維新ノ初メ天下ノ人心其ノ方嚮ニ迷フノ時ニ當リ率先シテ東武遷都ノ議ヲ唱へ國家治安ノ大計ヲ建テムコトヲ主張シタルカ如キ大村益次郎ニ說キ彰義隊討滅ノ議ヲ

建テシテ上野攻撃ノ策ヲ實行シ其ノ巢窟ヲ掃蕩セシメタルカ如キ鎮將府ノ判事ト爲リ百般ノ民政ヲ處理シ情弊ヲ打破シ紀綱ヲ振肅シ都下ノ安寧秩序ヲ維持シタルカ如キ司法卿ト爲リ參議ト爲リ大ニ力ヲ中央政府ノ組織ニ竭シ奇材異能ノ士ヲ網羅シ新律綱領ヲ制定シテ刑法改正ノ端緒ヲ啟キ各府縣ノ聽訟課ヲ廢シテ司法ノ

事務ヲ統一シ裁判所ヲ全國各府縣三新設シテ司法權ノ獨立ト司法行政ノ統一トヲ圖リ以テ法治國ノ基礎ヲ建設シタルカ如キ朝鮮ノ無禮ヲ我ニ加フルヤ參議西郷隆盛等ト共ニ大使派遣ノ議ヲ建テ東邦ノ禍源タル朝鮮問題ヲ解決シ永遠ノ平和ヲ維持セムコトヲ主張シタルカ如キ其ノ豐功偉績千載ニ亘リテ朽チサルモノアル敢テ喋々ヲ俟タルナリ

新平ノ政治上ニ於ケル功績ノ偉大ナル此ノ如シ而シテ一旦朝野兩黨亂轡ノ結果七年ノ變ヲ激成シ終ニ子弟ノ擁スル所ト爲リテ王師ニ抗シ空シク賊名ヲ負ヒ其ノ極刑辟ニ觸ルルノ已ムカラサルニ至リシト雖一片心事ノ在ル處ヲ察スレハ未タ嘗テ國家ヲ憂フル熱誠ニ出テスムハアラサル也

十年ノ役西郷隆盛ハ其ノ子弟ヲ率井テ王師ニ抗シタリト雖天恩ノ優渥ナル隆盛生前ノ功績ヲ嘉ミシ業ニ已ニ正三位ヲ贈り侯爵ラ共ニ子孫ニ授ケラレタルハ國民ノ感泣シテ措カサル所ナリ新平ノ如キ亦一旦王師ニ抗シタルノ形迹アルヲ免レサリシト

雖其ノ心事ニシテ君國ニ存シ敢テ治安ヲ攪乱スルノ意ナカリシ以上ハ今日ニ當リ維新ノ大業ニ翼賛シ國家ニ貢獻シタル生前ノ勳功ヲ勤シ相當ノ恩典ニ浴セシメラル

ハ此建議案ニモ認メマシタ如ク、既ニ世間ニ定評アル經世的雄才ヲ有シタル偉人英

ハ抑亦陛下一視同仁維新ノ功臣ヲ待ツ所以ノ道ナリト信ス

右建議ス

(川原茂輔君登壇)

○川原茂輔君 諸君、前參議司法卿江藤新平表彰ニ關スル建議案ハ満場大多數行スベキコト、思フ、此建議案が通過シタナラバ宮内省ノ官吏ノ如キハ曠職ノ責ヲ問ハレハセナイカト思フ、是ニ對シテ多少ノ御意見ガアリセウカ、是等ハ宮内官吏等ガ自分ノ頭ノ

蠅ラ自カラ逐フベキコトアツテ、仰々シク吾ノ建議ヲ受ケテ始メテ覺ルヘキ性質ノモノデ

傑デオザイマシタ、維新ノ風雲ニ際會シマシテ、復古ノ大業ニ翼賛シタル其功績ノ赫々タ
ルコトハ天下ノ人之ヲ認ムルノアリマツテ、賢明ナル滿場ノ諸君、賢明ナル内閣ノ諸公、特ニ
維新當時ニ於テ國事ニ盡瘁セラレタルトコロノ薩長土肥、其他ノ人ニシテ、今日生存シテ
居ラレマストコロノ人々が能ク熟知セラレ居ルコトデアルト信ズルノアリマス、其功績ニ於
キマシテ之ヲ法律ノ上カラ論ジ、其他幾多ノ事蹟ガアルコトハ申スマデモナイコトデゴザイ
マスガ、今日ニ於テ此江戸城ノ民政ニ屬スル場合ニ江藤先生ガ力ヲ致サレタルコトノ如
キハ世間ノ人能ク之ヲ知ラザル遺憾ヲ有シテ居ルノアリマス、是レ一ツ此處デ申上げ
レバ、則チ明治一年ノ十月ニ太政官ヨリ下賜セラレタルトコロノ辭令ノ寫ヲ此處ニ朗讀
致シマスレバ、「江藤新平戊辰江城ニ新ニ定ルノ時ニ當テ專ノ民政ヲ修メ、日夜鞅掌奉
職勉勵候段、徽感不淺仍賞其勤勞祿百石下賜候事、己巳十月太政官此ノ如キコ
ト即チ江戸城成ルニ當シテ能ク此今ノ東京市ニ於テ民政ニ力ヲ致シ日夜鞅掌シテ徽感
浅カラザル結果、祿百石ヲ賜シタト云フ、此一事ヲ以テモ其當時ノ事蹟ノ赫々タルコト
ヲ證スルニ足ルコト、信ズルノアリマス、(拍手起立)然ルニ不幸ニシテ七年佐賀ノ變亂ニ
王師ニ抵抗シタルノ故ヲ以テ、生前ノ功績ト云フモノハ殆ド抹殺セラレマシテ、剩ヘ
身首所ヲ異ニシ、刑場ノ露ト消エ、今日ニ於テハ在天ノ靈魂ヲ慰ムルコトモ出来
ナイト云フ次第アリマス、而シテ江藤先生ノ未亡人トシテ本年七十九歳ニナラレル人
ハ未ダ生存シテ居ラレルノアリマス、昨年白玉櫻中ノ人トナラレタ江藤新作君ノ未亡
人ハ三十九歳ニナリマシテ十四歳ヲ頭ニ、男女五人ノ子供ヲ抱イテ漸ク今日其日々々
ノ糊口ヲナスノ一家悲慘ニ泣クノ状態デアルノアリマス、維新ノ功臣タル赫々ノ功績ア
ル者ガ今ヤ世間ガ之ヲ顧ル者モナキニ至シテ、吾ミハ一念茲ニ到ル毎ニ暗涙ノ滂沱タルヲ
覺エルノアリマス、西郷南洲先生モ一旦王師ニ抗抵シ賊名ヲ負フテ城山ニ斃レマシタ
ガ、其後天恩ノ優渥ナル既ニ恩典ニ浴シテ位ヲ贈ラレテ、其子孫ハ侯爵ニ敍セラレテ、朝
野ノ有志ハ又其祭典ヲ舉ゲテ在天ノ靈魂ヲ慰メツ、アルノアリマス、而シテ江藤先生
ハ身ハ草莽ヨリ起シテ、維新ノ大業ニ翼賛シ、其功績赫々タルコトハ前申上ケタ次第ア
リマス、而シテ免未ダ齋レマセズ、生前ノ大業ハ殆ド湮滅シテ現ハレズ、子孫ハ流離ニ
泣クノ状アルハ明治昭代ノ缺點アハアルマイカト考ヘル次第アリマス、(拍手起立)故ニ
此次第ヲ述ベテ諸君ノ御同意ヲ得、内閣ノ諸公ハ功臣ヲ待ツノ途ニ於テ相當ノ恩典ニ
浴セラレントヲ望ムト云フ趣旨ニ外ナラヌノアリマス、(贊成ト呼フ者アリ)此
事ニ付キマシテハ的野半介君が専ラ事蹟調査其他ノコトニ付テ力ヲ致シテ居ノアリマ
ス、私ハ前申上ケル通り同郷ノ後進トシテ唯茲ニ本問題ヲ紹介スルノ光榮ヲ得マシテ、
委細ハ的野君ヨリ陳辯ラスルコトニナシテ居リマスカラ、ドウカ御聽取リアランコトヲ希望
致シマス、(拍手起立)

○副議長(肥塚龍君) 諸君ニ御誼ヲ致シマスガ、時間が最早定刻ニ達シマシタガ、——的野半介君
會期ノ終了モ追々切迫致シテ來マシタカラシテ、少々時間ヲ延バシテモ、今日ノ日程ヲ
議了致シタイト思ヒマスルガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ聲起ル)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ左様ニ致シマス、——的野半介君

(的野半介君登壇)

○的野半介君 満場ノ諸君、私ハ此江藤氏表彰ノ義ニ關スル問題ヲ諸君ト共ニ提
ゲテ此議場ニ立ツクモノニアリマシテ、此問題ヤ區々タル黨派ノ問題デナクシテ、實ニ天下
ノ大問題アリマス、ソレ故諸君ハ各派ヨリシテ相當ノ人數が揃ハレテ提出者ノ地ニ立
タレ又二百四十何人ト云フノ賛成者ト云フ殆ド滿場ノ賛成者ト同様ノ非常ナル贊

成ヲ以テカラ此議場ニ此建議案が提出サレタモノニアリマス、古來武功ト云フモノハ外
ニ現ハレテ其功ヤ赫々トシテ外ニ現ハレテ居ル、田夫野人モ之ヲ欣仰スルコトが出來ルモ

ノアリマスガ、文勳ニ至シテハ内ニ包マレテ一切ノ事情が朋友同僚ト雖モ能ク分ラナ
イコト多々アリマスノア、武功ノ外ニ現ハル、ノト、文勳ノ内ニ包マレルノトハ、此邊ハ非
常ナル功勞者ニ於テハ損得がアリマス、近ク維新ノ例ヲ見マスルニ、彼大西郷ノ如キ、

若クハ大村益次郎ノ如キハ、非常ニ名が高イ、武功ノ赫々トシテ名が高イ人アリマス、
ソレカラ木戸、大久保ノ如キ、所謂維新ノ三傑ト稱ヘラタル人ノ如キハ、申スマデモナク
薩長ト云フ後楯ガアッタ故ニ非常ナル武勳者トシテモ、文勳者トシテモ、名聲ヲ博シタ人

デアリマスガ、此文勳ニ至シテハ多クハ惟幄ニ參シテ實際ノコトガ世ノ中ニ現ハレヌ
カラ、世人ガ西郷南洲先生ヲ稱揚シテ止マヌノニ、一方ニ江藤新平氏ノ如キハ
之ヲ稱スル人が甚ダ少イ、ソレハ畢竟此邊ニ存スル所以チャラウカト思フノアリマス、當時

此文勳トシテ江藤氏ガ如何ニ活動サレテ、アノ維新ノ事業ニ盡力サレタコト云フコトニ
付テハ聊カ茲ニ木戸侯、三條公、若クハ岩倉公ガ江藤氏ニ與ヘラレテ居ル書面ニ依フテ
モ確ニ之ヲ證明スルコトが出來ルデヤラウト思ヒマス、之ハ岩倉公ガ江藤氏ニ送ラレタルモ
ノ、一ツトシテ——澤山アリマス、——岩倉公、三條公、ソレカラ木戸侯アタリノ書面ト

云フモノハ澤山江藤ノ家ニアリマスルガ、其中ニ於テ維新ノ史料トシテ掲グベキモノハ全ク
文勳者ハ包マレテシマッテ斯ル人ニアリマス、江藤氏ニ人格ヲ認ムルコトハ世間ニ知ラ
ナイ、同僚タリトモ知レナイヤラシテ私ハ此建議案ノ一人トシテ幸ニ諸君ノ前ニ此事ヲ御
披露致シタク存シマス、是ハ岩倉公ノ直筆テアリ、江藤家ニ保存シテアルモノアル、新

文勳者ハ包マレテシマッテ斯ル人ニアリマス、江藤氏ニ人格ヲ認ムルコトハ世間ニ知ラ
ナイ、同僚タリトモ知レナイヤラシテ私ハ此建議案ノ一人トシテ幸ニ諸君ノ前ニ此事ヲ御
作ハ一度カ見タ儘テ御母サンガ之ヲシマッテ居シタノラ今度私が強テ取出シテ來タモノニア
リマス、丁度是ハ木戸侯ガ維新ノ際——廢藩置縣ノアノ問題ニ關シテ江藤氏ニ賴マレ
タノアリマス

昨日者御苦勞其砌御頼申入候兀來ノ御趣意字内形勢一變所詮從前ノ姿ニハ
皇威海外ノ竝立ノト被仰候得共萬々ナラザル譯ヨリ四藩奉還隨而郡縣論免ニ
角ニ力ヲ一ニシ以テ各國ヘ向ハセラレ次第日本全國ノ人力ニ食ムヲ不知座シア大祿
ヲ世ニキニ自ラ足レリストル所人才教育ノ上ニモ害有テ益ナキ始終スベテ分明ニ一書
ニ御認メ人々振テ、皇國ヲ起スノ旨趣ニ引導候様足下力ヲ極メテ御書取給ハリ度
存候殊ニ急々御認メ被下度存候事ニ候尙昨日談シノ通リ公卿ノ所モ私ニ不相成
候様家祿取極メ序ニ公家諸官人ニモ人々此國ヲシテ富強ノ國タラシメ外侮ヲ不受ニ
不至シ、男子ニ非ズト云フ様ニ振ヒ候様有之度亦至尊、今日ニ御復古破遊候得ド
前後御回顧被爲在候得ベ真ニ此御代ニシテ維新ノ御基礎不被爲立候而ハ却テ御
不孝ノ筋ニモ被爲當事ニ付テ今日ノ所人々薪ニ臥シ膳ヲ嘗メルノ所存ニナクテハ不
相濟逆思召ニテ出人ニテモヨロシク此次第八厚ク御勘辨頼存候尤モ是迄被下仰出

六月六日

江藤中辨殿
内啓

具視

ソレカラ三條サンカラノ手紙ノ一ツシテ是ハ——參議時代ア居ラレタトキノ手紙

彌清康大賀候然ハ島津老卿國事御諮詢被仰付候以來一事之御下問モ無之
有名無實ノ姿ニ相成候而者不可然且彼清實ハ追々承知之通都合モ有之候五箇
二而モ一二個條國事御諮詢被爲在候様仕度就而ハ右之個條何ニ可然哉四五箇
條御下問相成可然條件相考書付致吳候様頼度内々要用而已申入度如此候也

實美

江藤參議殿

ソレカラ……「必要ナシ」「必要アリ」ト呼フ者アリ）アルトモ——木戸公カラ來タ書面
拜啓昨日一書呈上仕候其御答ヲ不相窺無餘儀事有之外出仕候處御光來賜ハ
リ候由甚以奉恐入候今朝參上可申上ト奉存候得共客來引ッキ不圖時刻相移
リ兎角ノ内昨日申上置候様前約有之不得寸暇候處何分ニモ粗申上候一條ハ速
ニ御相談申上候御高按ヲモ奉窺度必竟爲（皇國悲泣痛歎之至ニ御座候明朝ヨ
リハ鈍弟モ故障無御座候間御都合ヲ窺置是非登門可申上奉存候イツ頃參上仕
候而可然哉御口頭御不玉ハリ候様奉願候草々拜

尙此一條ハ極々密々ノ次第ニ付先他ニハ何トモ御無言ニ被爲成置候様奉願候根本ヨリ他日不可抜之患害ヲ釈シテハ實ニ新造ノ舞臺モ其限リト存候

二葉堂

1

ハ江藤ト云フ名前ヲ削リテ佐賀藩トナニテ居ルラシイ、遷都論ノ出所ハ板垣伯が證人アル、ソレカラ大木伯ノ家ニ此遷都府ニ付テノ奏議ト云フモノガ現ニアリマス、ソレカラ江藤甫白遺稿ニハ此遷都ニ付テ御遲延遊ハサレタカラシテ行幸ノ御遲延ラ御諫ノ申スト云フ激烈ナル上表ハ同年ノ七月末ニ捧呈シタノデアル、是ハ江藤氏ノ直筆テ遲延ヲ御諫メ申スノ議デアル、私ハ此處ニ持シテ來テ居ル、免ニ角實ニ壯快ナルモノデ最後ノ一節ヲ讀ミマスレバ

「御幸御巡遊バサレ候御事ニモ相成候ハ、伏シテ願クハ臣即チ御暇ヲ賜ハリ飯藩
被仰付度奉希願候者又前條臣所論ハ暴言過當實ニ大不敬ノ極ニ候得ベ臣身ハ
卽車裂被仰付候共急速御幸ノ御運ビ相成駿東十二州臣民ノ方向相定マリ天下
ノ御基本相立候ハ、無此上難有仕合ニ奉存候云々^タ
斯ウ云フコトガ書イテアリマス、ソレカラニ遷都論ト云フモノハ全ク江藤ノ奏議ニナツテ居

ルケレドモ、大總督府ハ一切動カナイカラシテ、江藤新平ハ此東京ノ事情ヲ齊シテ晝夜兼行シテ京都ニ歸ツタ、サウシテ之ヲ上奏シ結果が遂ニ大村益次郎ヲ將トシテ彰義隊討伐ヲ爲サシメタノデアル、固ヨリ彰義隊ハ僅々三千カラノ人ニアツクニ相當ナインガ、此討伐ノ一舉ニ依ツテ天下三百ノ諸侯向背ヲ決セシメタノデアル、此一擊ハ王政復古ニ偉大ナル功績ヲ與ヘタノデアリマス、是ガタメニ奥羽ノ戰爭モ早く鎮定シタト云フ次第デ、免ニ角此彰義隊ヲ討伐シタ人ハ大村益次郎デアル、ソレカラニテシテ討伐セシムニ至ラシメタ人ハ江藤新平デアルト、斯ウ云フ事實ニナシテ居ル、ソレカラ第四番目デ江藤氏ハ中央政府ノ制度編成行政制度ノ組織ニ盡力シ、ソレカラ最早幕府ガ東京ヲ引拂ヒ三百諸侯ガ引拂タ折ニハ實ニ東京ノ有様ハ非常ナ惨憺タル荒廢ヲ極メタ、此場合ニ於テ東京ノ荒廢ヲ救ハナケレバナラヌト云フノデ熱心ニ勵カレタ、又昔漢ノ高祖ガ洛陽ニ入ルトキ秦ノ帳簿書冊ヲ收メタル肅何ニ傲ヒ、此江戸城ノ受渡ニ於テハ私ハ山岡鐵舟先生ヨリ曾テ聽イタコトガアリマス、江戸城ノ受渡ノ日ニ於テハ江藤氏ハ大西郷其他ノ人ト——大西郷ハ江戸城ニ入ツタ譯デアル、江戸城ニ入ツテ大西郷先生ハドウ云フ仕事ヲシタカ、農ニ關スル一切ノ書類ヲ取纏メヨト云フコトヲ誰カニ命ゼラレタ、ソレカラ海江田信義ト云フ人ハ金ハ何處ニアルカ、何處ニアルカト云シテ金ヲ非常ニ搜サレタ、其場合ニ山岡サンガ金ト云フモノハオ前ノ詮議スル限りデナイト、非常ニヤカマシク云ウタト云フコトデ、江藤氏ハ此場合自ラ直グニ龍ノ口ナル所謂天下ノ評定所ニ至ツテ、サウシテ行政百般ニ關スル帳簿書冊ヲ一切收メタノデアル、即チ馬上天下ヲ取ルコトハ出來ルが、馬上天下ヲ治ムルコトハ出來ナイカラ、一切ノ所屬簿冊ヲ納メタ

ト云フコトハ江藤ノ力デアル、此書類ハ今上野ノ圖書館ニ一切ノモノガ封ジラレシテ功績ノ大
テ、被所ニ保存セラレテアル譯テ、是ハ江藤ノ力ニ依ツテ斯ウ云フ簿冊が取納メラレタ譯
テアリ、山岡先生ハ此折私ニ云ハル、ニハ三人ノ性格ガ、此江戸城明渡ノ際ニスッカリ
分ル、即チ西郷氏ハ農業ニ關スル書類ヲ取集メルト云ハレタノハ、農ハ即チ國ノ本デア
ルト云マ義ニ依ツテ茲ニ眼ヲ著ケラレタシイ、海江田信義氏ハ金ハドヨニ在ルト、金ニ
眼ヲ著ケタ、又江藤氏ハ行政百般ノ書類ハドニアルカト、自ラ天下評定所へ走リ込ン
テ書類ヲ引出シタト云フコトハ能クモ二人ノ人物ヲ分明ニ説分ケルコトが出來ルト山岡
先生ハ云ツテ居ル、又是以來中央政權ニ對シテ如何ニ江藤氏ガ苦心セラレタカ、當時
ニ於テ氏ハ一方ニ三條公ヲ引出シテ駿東十三州ノ政治ヲ爲スタメニ鎮將府ヲ置イテ、
三條公ヲ以テ鎮將府ノ頭トシテ江藤氏が其間ニ勤カレタノデアル、ソレカラ一方西京ニ
ハ本政官ガアツテ、岩倉公ノ下ニ木戸大久保が勤イテ居ツ、申サバ當時日本國ニハ東
西ニ政府ガアツテ、兩頭政治ガ行ハレテ居ツタ場合デアル、兎ニ角江戸ノ民政ニ第一著
ニ手ヲ著ケラレタノハ此江藤氏アツタト云フコトハ掩ハレザル事實デアル、ソレカラ第五
ニ中辨ト云フ、是ハ今日ノ内閣書記官長ト云フヤウナ役目デ自ラ常リ、法律制度ヲ
以テ日本ハ是カラ先キ進マナケレバナラヌト云フノテ、左院ト云フヲ指ヘルコトヲ建議サレ
タ、此建議案ヲ起草サレルニ付テハ今小田原ニ住シテ居ル西岡渝明ト云フ大審院ノ判
事がアル、アノ人が建議書ニ付テ清書サレタ、是ハ此頃西岡氏ニ依ツテ證明スルコトが
出來タ、此左院ト云フモノハ申サバ今日ノ立法府ト云フヤウナ役目デ自ラ常リ、法律制度ヲ
本ノ行政權ト云フモノハエライモノアツテ、一切ノ仕事が司法トカ立法トカ云フモノガナ
カタカラ、江藤氏が自ラ左院ト云フモノヲ指ヘルコトヲ建議シテ、終ニ其建議が容レラレ
テ、左院が指ヘラレテサウシテ左院ノ議長ニハ強テ後藤象次郎氏ヲ推シテ、自分ハ副議
長ノ名義ノ下ニ法典編纂等ニ盡力サレタコトハ事實デアル、是アリテ如何ニ江藤氏が法典
編纂印チ語ヲ換ヘレバ憲法編成ト云フノハ即チ左院ニ居ル時代ニ於テ草案
左院が起ツテ左院以來ノ歴史ニ依ツテ認メルコトが出來ル、江藤氏が最後ニ高知ニ於テ
縛ラル、ヤ、江藤氏ノ鞄ノ中ニ憲法草案ト云フモノト、金三千圓ト、太刀一口、此三
ツノモノが其所持品ノ中ニアツテ、憲法草案ト云フノハ即チ左院ニ居ル時代ニ於テ草案
セラレタモノガドコマデモ逃げテ行ク間ニモ、之ヲヤハリ齊シテ居ラレタト云フコトハ如何ニ
憲政——憲法政治ニ力ヲ盡サレタカ、努メラレタカト云フコトハ分ル話アリマセウ、又其
逸話トシテハ笑作躊躇ニ命ジテ佛蘭西民法ヲ速ニ翻譯シロト云フコト云ハレタ、所が
サウ速ニ翻譯スルコトハ出來ナイト云フコトヲ云ハレタガ、免ニ角誤翻デモ宜イカラ早
ク翻譯シロト云ハレタ、其翻譯ノ語中ニ「民權」ト云フ文字ガアル、或ハ「未遂犯」ト云
フ文字ガアル、是ハ全ク江藤氏ノトキニ斯ウ云フ翻譯が出來テ居ル「民權」ト云フ文字
ガ翻譯ノ出來タ場合ニ民ニ権利ガアツテ、タルカト云フ議論が非常ニヤカマシカッタ、左
院デヤカマシカッタラシイ、ソレヲ其儘置イタラ何カ相當ノ場合ニ於テ使フ途ガアルデアラ
ウト云フテ此「民權」ト云フ文字ハ江藤氏が翻譯ガヤカマシカッタノ容レラレタト云フコ
トデアル、ソレカラ此民權ト云フコトハ佐賀ノ亂ノ起ル所謂佐賀征韓黨ノ檄文中ニ於テ斯
シタルモノハ佐賀ノ征韓黨ノ檄文中ニ現ハレテ居ル、後年江藤氏が後藤板垣其他ノ人
ト共ニ民選議院ノ建白ヲサレタト云フコトハ全ク此邊ニ基イタト云フコトが承知サレル、ソ
レデ今日御互ニ此議席ヲ構ヘテ茲ニ居ルモノモ其當初ニ於テノ江藤氏ノ苦心ト云フモノ

ハ、御互ニ感謝ヲザルヲ得ヌダラウト考ヘマス、ソレカラ第六ニハ司法卿トシテ功績ノ大
ナルコト、是ハ司法制度ノ統一ヲ企劃シテ司法權ノ獨立ヲ計ツタ、ソレカラ府縣ノ聽訟
課ト云フモノ廢シタ、府縣ノ聽訟課ト云フモノハ總テ當時ニ於テハ地方ノ知事ニ委託
シテ聽訟課ト云フモノガアツタニ違ヒナイ之ヲ廢シタコトハ全ク司法權ヲ獨立セシメテ、
活動スルト同時ニ總テノ裁判——聽訟課ヲ廢シテ司法省ノ直轄ノ下ニ裁判所ヲ開カ
ナケレバナラヌト云フコトデ、斯ウ云フコトニナタラシイ、又人オヲ拔擢シ、紀綱ヲ振肅
スルト云フ、ソガタメニハ當時司法省ト云フモノハ各省ニ擢テ、所謂臺閣ヲ壓スル程ノ
勢力ガアツタ、江藤氏ノ立場ト云フモノハ幾ド開白内覽ト云フ評判アツタ位テ、兎ニ
角今ノ司法大臣ノ如キ伴食宰相デナクシテ、餘程司法上ニハ力ヲ用井ラレテエラカッタ
ト云フコトハ世間ニ以テ之ヲ認メルコトが出來タ、ソレカラ其顯著ノ事業トシテ新律綱
領ヲ廢シテ改定律令ヲ制定シ、刑法改正ノ端緒ヲ開イタト云フコトハ江藤氏ノ仕事デ
アル、其場合ニ歐米ノ學者ヲ招イテ法典ニ編纂ヲシタト云フヤウナコトデアツタ、一言以
テ之ヲ評スレバ江藤氏ナル人が今日ノ法國ノ基礎ヲ建設シタ大功ト云フモノハ實ニ
争ハレナイモノアリマス、實ニ斯ウ云フ人アリマスカラ、帝國ノ憲法史上ニ於テハ江
藤氏ノ赫々タル文勳ト云フモノハ大筆特書スル價アルモノト思ロマス、而モ紀綱ノ振肅
ヲ圖リ、司法權ノ獨立ニ活動シタル結果、或一部ノ人士ノ怨ヲ買ウテ山城屋和助事
件ノ如キハ是ニ關係ガアルトシテ、之ガタメニ怨ヲ買ヒ、ソレカラ尾去澤事件ノ如キ、又
或ル一部人士ノ怨ヲ買ウタ結果、今日ハ江藤氏ノ人物が全ク世間ニ誤解セラル、ヤウ
ナ感ガアリマス、(東武君質問ガアリマス)ト云フチヨット御待チナサイ、後トテ宜シイ
ソレカラ第七ニハ征韓論ノ主張者ト云フコトハ世間ノ認メタルトコロデアリマス、ソレカラ
藤氏ハ朝鮮問題ノ解決ニ熱心ニシテ、東洋ノ平和ノ基礎ヲ確立セントスル希望が非常
デアツタコトアリマス、此征韓論ハ大西郷以下五參議が進退ヲ賭シテ争ツタモノアツタ
ガ、其議が終ニ行ハレズシテ五參議ト云フモノハ終ニ野ニ下ツタ次第アル、所ガ江藤氏
ハ明治四年「對外策」下題シテ岩倉公ニ上ル「一篇ノ書ヲ呈シタガ、其意見ニ(餘り長
クナリ過ギルカライヤニナル)ト云フ者アリ」暫ク(謹聽)ト云フ者アリ岩倉公ニ上ル對
外策ノ一篇ト云フモノハ其意ヲ見ルニ朝鮮ハカリテハナイ、大陸ニ著眼シタト云フコトハ
争ハレヌコトデアル、サレバ江藤氏ト云フモノハ東邦問題ノ先驅者トシテ御互ニ非常ニ
カツタ譯テアル、政府ノ反省ヲ促スニ付テ、其目的ヲ達セんガタメニ、何處マテモ武器ノ
活動デナクシテ、所謂示威運動ト云フ側カラ起テ、更ニ進ム積リラシカツ所ガ政府ハ
コトヲ期シタ譯テアル、佐賀ニ歸ルヤ、佐賀ノ方デハ江藤ニ同情シテ居ル人が非常ニ多
カツタ、征韓論ト云フモノハ實行シナクテハナラヌト云フヤウナコトデ、同情者が非常ニ多
カツタ譯テアル、政府ノ反省ヲ促スニ付テ、其目的ヲ達セんガタメニ、何處マテモ武器ノ
活動デナクシテ、所謂示威運動ト云フ側カラ起テ、更ニ進ム積リラシカツ所ガ政府ハ
此場合ニ於キマシテ兵隊ヲ遣シテカラシテ非常ナル壓迫ヲ加ヘントシタ其結果が所謂佐
賀征韓論者ノ激昂スルコトナシテ、サウシテ江藤氏ナル人ハ此青年子弟ニ到頭擁セ
ラレテ、彼ハ鎮撫ノ目的ニ佐賀ニ歸ツタノダガ、氏が鎮撫スルコトが出來ズシテ其子弟ノ
擁スルトヨロトナシテ、アノ先生ニ心ナキモ、アノ形勢ヲ指ヘタト云フ譯テアル、其譯據ニ
ハ東京ヲ起ツタノガ、明治七年ノ一月十二日アツコトデアル、ソレカラ長崎ニ嬉野ニ、ソ
レカラ深堀ニ各所ニ暫ク憩ウア佐賀ヲ鎮撫シヤウト云フコトニ餘程苦心シタラシイ、到頭
イカズシテ佐賀ニ歸ツタノガ一月ノ十三日ニ東京ヲ起ツテ、二月ノ十日頃佐賀ニ歸シテ、
十三日ニ遂ニ子弟ニ擁セラレテ開戦ノ始末ニナタラシテアル、官軍ニ抵抗シタ形跡ハ確
ニ是ハ免ガレ難イ形跡ヲ持ツテ居ルニ達ヒナイケレドモ、遂ニ島首ニ逢フタ譯テアツテ、其江

藤ノ梶首ニ逢フタノハ明治七年四月十三日アル、其宣告書ニ「江藤新平、其方儀朝憲ヲ憚ラス名ヲ征韓ニ托シ黨與ヲ募リ兵器ヲ集メ官軍ニ抗敵シ逆意ヲ逞フスル罪ニ依リ除族ノ上梶首申付ル」ト聞カラ聞ニ全ク葬ラレタ次第アツテ、今ノ大逆事件ニスラモ僕辯護士ヲ附ケテ相當ノ途ヲ開イタガ、此場合ニ於テハ非常ニ法律が不備ナルアルシ、臨時裁判が無茶苦茶ニ聞カラ聞ニ葬シト云フ江藤氏ノ始末アル（モウ宣イト呼フ者アリ）モウ少シテアリマスカラ少し我慢シテ下サイ、總括シテ江藤ノ功罪ヲ論ジマスレバ、王師ニ抗シタル罪ハドウモ免レナイ話デアリマスが、併ナガラ其罪ハ一ツアル、サウシテ其功績ナルモノハ非常ニ多イモノデアリマス、繰返シテ此功績ヲ申シマスレバ維新ノ前ニ於テハ一身ヲ賄シテカラ尊王討幕ノ實行ニ努メタ人デアリマス、第一番ニハ所謂都ヲ東京ニ遷シタ實行者デアリマス、第三番ニハ彰義隊ノ討伐ノ衝ニハ大村ガ當ラレタノデアリマスガ、之ヲ刺殺シテ討伐ヲナスニ至ラシメタ人ハ江藤氏デアリマス、第四番ニハ東京ノ荒廢ヲ救ウテ今日ノ如ク世界有敵ノ帝都タラシムルニ至ラシメタモノハ江藤氏デアッテ、同時ニ東京ノ民政ト云フモノニ熱心ニ盡力サレテ併セテ中央政府ノ組織ニ向ッテ非常ナ功勞ヲ有セラレタ人デアリマス、第五ニハ所謂左院ヲ開イテ憲法政治ノ先驅トシテ非常ニ勵カレタ人デアリマス、第六ハ司法ノ獨立第七ハ征韓論ノ首唱、今日朝鮮ガ合併ユナルモ其犠牲トナシテ自ラ身ヲ殺シテ仁ヲ爲シタ人ハ江藤ナリ、大西郷ニアリマス、免ニ角音ミハ朝鮮ノ合併ヲ迎ヘタ今日ニ於テハ江藤氏ヲ思フコトが非常ニ厚イデアリマスカラ、此場合ニ於テ適當ナル途ヲ圖ルコトが急務ダラウト云フ考ヲ持ツテ居リマス（拍手起ル）モウ少シ言ハシテ下サイ、之ハ一方ニ於テ非常ナ諸君ノ御賛成ノ下ニ出シタ話ニアリマスカラ、總招シテ申シマスレバ、其功ト云フモノハ枚舉ニ追ナイモノアル、一體ノ役人達ハ或ハ「ボーッマウス」ニ使ツタカ、何トカ云フノハ功勞ガアシテモ、其功勞ヲ認ダラレテ侯爵ヲ下サルニ、江藤氏ニ至シテバ其事蹟ハ煙滅シテ傳ヘラレザラントシ、尙且亂臣賊子ノ汚名ガ齎レナイ、實ニ英雄ノ末路ハ一掬ノ涙ナキコト能ハヌ譯ナル、（民選議院ノ建白ガ抜ケテ居ル）ト呼フ者アリ（言フトモ言ツタ）ソレデ詰リ要スルニ大西郷ト云フ人々免ニ角其器ニ於テハ非常ニ大キナ人デアツタニ相違ナイガ、政務ノ才幹ニ於テハ或ハ江藤氏ハ大西郷氏以上ニアツタニ云フコトハ天下ノ公論デアリマシテ、サウシテ一ハ天恩枯骨ニ及シテ他ノ一ハ冤名未ダ齎レズ、地下ニ徨ツテ居ル有様デ、且其遺族ハ慘憺タル有様アルカラカウ云フコトデアルカラシテ今日ノ如ク朝鮮合併ノ場合ニ於テ、皇威四表ニ輝ク場合ニ於テ、江藤西郷ノ目的ヲ達シタル場合ニ於テ、江藤氏が生前ニ於ケル其偉大ナル功績一ノ罪トカケ較ヘテ見レバ、確ニ雲泥ノ差がアルト云フヤウナ風度、明カニ分ル話ナル、ドウカラカウ云フ場合ニ於ケル江藤家ノ始末アルカラ、セメテハ彼ノ遺族ノ人デモ慰メルヤウニ此功臣ノ遺族ヲ何處マテモ表彰シテ貢ヒタク、之ハ贊成デアリマセウガ、政府側ニ於テハ（言ハナイ）ト呼フ者アリ（ト呼フ者アリ）トウカ此妖雲ヲ排シテ、俗論ヲ排シテ、スカカリ世ノ中ニ江藤氏一家ノ功績ヲ認ムヤウニ御盡力ヲ願ヒタク（拍手起ル）

○斎藤二郎君（チヨット御演説ノ方ニ御問シタイデスガ、折角江藤先生ノ事蹟ヲ御述ベニナシテ中ニ、故子爵海江田信義ニ對スル問題題ガアリマシタ、アレハドウカ削除シテ欲シイト思ヒマス、江藤先生ノコトヲ仰シヤルノハ宜シイガ、海江田信義其人ニ對シテ言及スルノハ穩當デナイト思ヒマス、御取消ヲ願ヒマス

○的野半介君（如何ニモ……）

○東武君（提出者ニ質問致シマス、私ハ此建議案ニ對シテハ満腔ノ同情ヲ持ツテ居リマスカ、提出者ニ提出シタル意味ヲ質問シテ明カニシテ置カケレバ此建議ニ贊成スルコ

トが出来ヌノデアルガ、總代ノ江藤新平ノ國家ニ功勞アルコトハ何人モ認メテ居ルトコロデアル、併ナガラ一タビ王師ニ抗シテ反逆ノ罪ヲ受ケタト云フ者ニ向ツテ、之ヲ國家ガ表彰シナケレバナラヌト云フコトニナシタ、我帝國ノ人倫或ハ道徳其他ノ點ニ於テ如何ナル御解釋ヲ執ルノデアリマスカ、或人ハ老西郷ハ王師ニ抗シタノアルケレモ、而モ廟食ヲ致シテ居ル、百世ニ廟食シテ、子孫ハ榮祿ニ浴シテ居ル、斯ウ稱スル者ガアリマスか若シ大西郷ノ廟食ナシ、若クハ恩典ニ浴シテ居ルト云フコトハ特ニ陛下ノ恩食ヲ以テ許特免ニナシテ居ルコトヲ聽イテ居ル、此點ニ於テ江藤新平君ハ國家ニ功勞ガアルト同時ニ叛逆ヲ企テタト云フコトニ付ケテ、事理ヲ明カニシテ江藤新平君が其當時叛逆ノ意志ガナカッタト云フコトヲ證據立テ、之ヲ明カニシナイ以上ハ我帝國ノ國體トシテ斷シテ許スコトノ出來ナイコトデアラウト信ジマス、其點ニ付テモウ少シ詳シ御説明ヲ願ヒタイニモ同様ニシテ欲シトイト云フダケノ話ナシテス

○菅原傳君（本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス）（「贊成々々」ト呼フ者アリ）

○副議長（肥塚龍君）（御異議ガナイト認メマスカラ此案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十七、生絲検査所ニ試織場併置ニ關スル建議案、朗讀ハ省略致シマス——武藤金吉君）

○的野半介君（兔ニ角叛逆ト云ヘバ、江藤ト云ヒ、西郷ト云ヒ、同シコトアル、然ルニ西郷ハ贈位ノ恩典ガアリ、子孫ニ承爵ヲナサレルト云フ恩典ノアル以上ニハ、江藤ニモ同様ニシテ欲シトイト云フダケノ話ナシテス

生絲検査所ニ試織場併置ニ關スル建議案（武藤金吉君）

第十七 生絲検査所ニ試織場併置ニ關スル建議案

生絲検査所ニ試織場併置ニ關スル建議案

○副議長（肥塚龍君）（御異議ガナイト認メマスカラ此案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十七、生絲検査所ニ試織場併置ニ關スル建議案、朗讀ハ省略致シマス——武藤金吉君）

○副議長（肥塚龍君）（御異議ガナイト認メマスカラ此案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス、日程第十七、生絲検査所ニ試織場併置ニ關スル建議案、朗讀ハ省略致シマス——武藤金吉君）

○副議長（肥塚龍君）（諸君、著席ヲ願ヒマス——武藤金吉君）

○武藤金吉君（此場合時間ヲ尊重スルタメニ當席カラ簡単ニ述べマス、生絲検査所ニ原量、正量、練減、品位、再織、纖度、類節、強力及伸力等ノ検査ヲ爲スニ止マリ生絲カ如何ナル織物ニ適シ如何ナル織上ヶヲ見、仕上、精練、浸染、捺染、染押型及機織等科學的試験ニ依リ外取引上ノ紛議ヲ裁断シ内製絲家、養蠶家、輸出綢業者ヲ獎勵スヘキ標準ト爲ルヘキ相當ノ設備ナキヲ以テ遺憾ノ點歎シトセス此ノ如キハ蠶業國タル我邦ニ於ケル一大缺點ナリト謂ハサルヘカラス依リテ政府ハ次年度ニ於テ生絲検査所法ヲ改正シ生絲検査所ヲ擴張シ絹織物試織場ヲ併置セラレムコトヲ望ム）

右建議ス

（散會々々）（定足數ガアリマス）（アリマセヌ）（進行ヲ願ヒマス）（ト呼フ者アリ）

○副議長（肥塚龍君）（諸君、著席ヲ願ヒマス——武藤金吉君）

○武藤金吉君（此場合時間ヲ尊重スルタメニ當席カラ簡単ニ述べマス、生絲検査所ニ原量、正量、練減、品位、再織、纖度、類節、強力及伸力等ノ検査ヲ爲スニ止マリ生絲カ如何ナル織物ニ適シ如何ナル織上ヶヲ見、仕上、精練、浸染、捺染、染押型及機織等科學的試験ニ依リ外取引上ノ紛議ヲ裁断シ内製絲家、養蠶家、輸出綢業者ヲ獎勵スヘキ標準ト爲ルヘキ相當ノ設備ナキヲ以テ遺憾ノ點歎シトセス此ノ如キハ蠶業國タル我邦ニ於ケル一大缺點ナリト謂ハサルヘカラス依リテ政府ハ次年度ニ於テ生絲検査所法ヲ改正シ生絲検査所ヲ擴張シ絹織物試織場ヲ併置セラレムコトヲ望ム）

（三三）

學的ノ試験ヲ行シテ此絲ハドウ云フ織物ニ適スルカト云コトヲ試験スルトコロノ試織場ヲ設ケテ戴キタイト云フノアリマス、サウシテ之ガ經費ノ如キハ僅カニ二十万圓バカリアリマスレバ、一切ノ機械ガ買ヘル、又此生絲検査所ヲ擴張スル上ニ於テハ經常費ハ僅ニ二万圓バカリ掛ケレバ、之ヲヤツテ行ケルノアリマス、我邦ハ一億カラノ現在ニ於テ絲ヲ輸出シテ居ル、又將來ニ於キマシテハ五億万圓ノ生絲ノ輸出が出來ルノアリマスルシ、今日ノ場合既ニ竊種ノ統一モ行ハレ、原竊種ノ製造所モ設ケラ、ト云フ場合ニ於テ此生絲検査所ニ試験場ヲ設置スルト云フコトハ最モ必要ノコトデアリマスルカラ、此次年度即チ四十五年度ニ於テ政府ハ豫算ヲ組ンデサウシテ此議會ノ協賛ヲ求メラレシコトヲ切望スル所以ニアリマス

○管原傳君（賀成家）本様ハ長指名ノ九名ノ特別委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス
〔賀成家タキト乎フ皆アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メマスカラ、議長指名九名ノ委員ニ本案ヘ付託スルコトニ致シマス、日程第十八ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマスガ、御異議ハゴ

〔「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ〕

（品評長賀場前君） 日程第十九 内地糾糾業似讀二閱ノハ夏讀樂ノ讀題一到シマズ、朗讀ハ省略致シマズ——武滿義雄君

第十九

提出地
心

内地粗糖業保護ニ關スル建議案

内地粗糖業ノ振ハサル實ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ今ニ於テ之カ救濟ノ道ヲ講スルニ
非スムハ漸ク衰減ニ歸シ悲慘ナル結果ヲ見ルニ至ルヘシ殊ニ沖繩縣及鹿兒島縣下

依リテ維持セラルト謂フモ誣言ニ非サルナリ然ニ明治三十四年砂糖消費稅法ノ實也、日清義守、通商大臣、栗原、荷記不張、爲ニ年、因准アシ、其ノ實也、内也

然ノ如クニシテ、國會ヲ改正シテ、其ノ稅率ヲ低減スルカ又ハ、相
當ノ補助金ヲ下附スルカ適當ノ方法ニ依リ之ヲ撤消ノ道ヨリ立テラムコトヲ望ム

右建議ス
試験義准官
私ハ當帝ヨリシテ簡單三本案是出ノ理由ヲ述ヘマシテ滿湯ノ御贊成

得タ一ト思ヒマス、本案ハ内地粗糖業者ニ對シテ此際何等カノ方法ノ下ニ於テ保護
濟ノ途ヲ立テ、貰ヒタ一ト云フノが趣旨目的ニナラテ居ルノデゴザイマスデ、其方法トシ

ノ途ヲ立テ、貰フノヲ以テ最モ然ルベキモノト存ジマスル、故ニ二者何レカノ中ニ於テ

スルト明治二十四年三砂糖消費稅法が實施ニナツテ以來、内地粗糖業ハ萎靡不振
ニ至、二年、會議者ハ因唯ノ減ニシテ告し翠ハノリマク、其原因ヲ擧ゲテ茲ニ申述ニマス

ベ、此砂糖消費稅法ノ實施ノタメニ過重ナル負擔ヲ肩負フト云フコトニナリマシタノモ
、此砂糖消費稅法ノ實施ノタメニ過重ナル負擔ヲ肩負フト云フコトニナリマシタノモ

其一原因ニアリマスガ、又ソレニ加ヘルニ經濟界ノ不況トニ依テ此市場ノ價格が低廉致シマスルタメト、又他ノ生産等ノタメニ非常ナル壓迫ヲ受ケテ居ルガタメニ此内地ノ粗糖業ハ一向萎靡振ハヌト云フ狀態ニナゾテ居ルノアリマス、ソレ故ニ當

○菅原傳君 本案ハ提出者ノ希望ノ如ク議長指名九名ノ 委員ニ付託セラレンコトヲ
望ミマス

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メマスカラ議長指名九名ノ委員ニ付託致シマス、日程第二十、酒類釀造試驗場増設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス議案ノ朗讀ハ省略致シマス、黃金井爲造君

第二十 酒類釀造試驗場増設ニ關スル建議案（黃金井爲造君 外二名提出）

酒類釀造試驗場増設三關スル建議案

右建議又

ヒマス、委員付託ト云フコトニシテ戴キタイト思ヒマス
一箇所に設置シ道着トイト云フ建單アゴザイマス、精シキ説明ハ委員會ニ於テ致シタ

○菅原傳君 本案ハ先キニ議長ヨリ指名トナツテ居リマスル酒造稅法中改正法律案ノ委員ニ付託セラレシコトヲ望ミマス

法中改正法律案ノ委員二付託スルコトニ致シマス、日程第二十一、千葉縣立園藝專

稻村辰次郎君

第二十一 案(稻村辰次郎君外一名提出)
千葉縣立園藝専門学校ヲ文部省直轄ト爲ス、建議案

千葉縣立園藝專門學校ヲ文部省直轄ト爲スノ建議

千葉縣立園藝専門學校、文部省直轄ト爲シ明治四十五年度ヨリ政府ニ於テ之ヲ經營セラレムコトヲ望ム

テ河川ノ中ニハ二十年、或ハ三十年ノ間ノ此治水ニ對スル費用ノ如キモノヲ調べテ見マスルト、僅々年額四千圓若クハ二千圓位ナ工事ヲ施シテ居ル、河川ガ此六十五箇川ノ中ニ編入セラレテ居ツテ、毎年五万、八万ノ工費ヲ要スルコロノ大井川ト阿部川ト云フモノガ此六十五箇川ニ抜ケテ居ルト云フコトハ我ミハ餘程意外ニ感ズルノデザイマス、(ツレハ政府ノ無責任ダト呼フ者アリ)御同感ノ諸君モアルガ如ク、政府ニ於テ此百三十五箇川ノ中ニ於テハ十五箇川ヲ選擇スルノ標準ト致シマシテハ、流域ノ十万里以上アルモノデナケレバ選擇ラシナイト云フ、標準ヲ立テマシタノデザイマス、此流域ノ十万里以上アル河川ニアケレハイクラノ損害ガアリイクラノ工費ヲ要シ、イクラノ水防費ヲ投ズル川ニ於キマシテモ「資格ガナイモノト云フコトニナラテ居リマシテ、此流域ノ十万里以上ノモノデアレバ二十年、三十年ノ統計ニ依テ生出シタルトコロノ年額ノ損害が極メテ少ク、又堤防費ノ極メテ少イモノニ此六十五箇川ノ中ニ編入シテアルト云フヤウナ次第シテ是等ノコトニ付キマシテ種々政府ト交渉ラ致シマシタコロガ、此六十五箇川ノ中ノ

二十箇川ヲ一期ニ繰上ケテ、殘ル四十五箇川ハ政府ニ於テ今後第一期ノ河川ヲ計畫スル上ニ付テ準備河川トシテ調査ラスト云フモノニナラテ居ルノデ、未ダ豫算ヲ以テ決定シタ譯デモナク、又法律ヲ以テノラ發表シタ譯デモナク、唯治水會ニ於テ今後ノ豫定線ヲ極メタト云フニ過ギナイヤウナ都合ニナラテ居ルノデゴザイマスルガ故ニ、此四十五箇川ノ河川ト此大井川、阿倍川ノ如キ河川ヲ比較致シテ見マスルト、其取捨ヲ誤ズテ居ラヌカト考ヘルノデゴザイマス、故ニ委員會ニ於テハ此四十五箇川ト同様ナルトコロノ調査ヲ十分ニ遂ゲテ、サウシテ此四十五箇川ノ二十年後ニ著手スルコトデアリマスカラ、此二十箇年ノ中ニハ川ノ形ノ變ルコトモゴザイマセウシ、又經濟ノ都合モアリマセウカラ、此四十五箇川ト共ニ調査ヲ進メテ、サウシテ國ノ直營工事ニ編入セラレイト云フ希望ヲ以テ、全會一致ヲ以テ此天龍川ヲ一期川ニ編入スルコト、阿部川、大井川ヲ直接國ノ經營スル河川ニ入レルト云フ、此三件ヲ可決シタ次第ゴザイマス、此段御報告致シマス

(「賛成ト呼フ者アリ」)

○副議長(肥塚龍君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ委員長報告通り決シマス、日程第二十七、伏木港ニ於ケル海陸聯絡ニ關スル建議案上整安太郎君

第二十七 伏木港ニ於ケル海陸聯絡ニ關スル建議案(上整安太郎君提出)
〔左ノ修正案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕
伏木港ニ於ケル海軍連絡ニ關スル建議 小字及一ハ委員會修正

○上整安太郎君 此案ニ對シマシテ報告ヲ致シマス、政府委員ト質問應答ヲ致シマタガ、要スルニ政府ニ於キマシテハ此伏木高岡間ノ聯絡ノ十分デナイト云フコトハ認メ遂ケ相當ノ方法ヲ取ラレムコトヲ望ム

右建議ス

○上整安太郎君 此案ニ對シマシテ報告ヲ致シマス、政府委員ト質問應答ヲ致シマス、(トシテ現在私設中國鐵道會社ノ經營ニ係ル鐵道ハ甚不完全ト認ムル)以テ之ヲ完全ナラシムル爲速ニ調査ヲ

テ居ル、併ナカラ現在ニ於テハ私設會社ヲ十分監督ラシテヤラセルソモリデアル、併ナガラ將來伏木港ノ發展、又ハ北陸線ノ聯絡致シマシタ場合ニ於テハ大ニ是ハ考慮ヲ要サナケレバナラヌ問題アルト思テ、斯ウ云フ政府ノ答テアリマシタ、委員會ニ於テハ段々審議ノ末、古井君ヨリ修正案が出マシテ現在ニ於テモ不完全アリ、將來ハ勿論ノコトアルカラト云フコトデ、原案ヨリハ強イ意味ノ修正案が出来タノデアリマス、其修正案ハ諸君ノ御手許ヘ報告ヲシテアリマスカラ既ニ御覽ノコト、考ヘマスカラ、ドウゾ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

(「賛成々々ト聲起ル」)

○副議長(肥塚龍君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ確定致シマス、日程第二十八、國設大公園設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長清金太郎君

第二十八 國設大公園設置ニ關スル建議案(清金太郎君提出)
(委員長報告)

○清金太郎君 極メテ簡單テアリマスカラ此席カラ報告致シマス、國設公園設置ト云フコトハ國風ノ維持上、又國民ノ趣味ヲ向上セシムル上ニ於テ、必要アルト云フノガ、本案ヲ提出シタ理由アリマス、委員會ニ於キマシテハ政府委員ノ多數モ出席セラレマシテ、此所ニ御出ス内務次官モ至極尤モノ趣旨ダト云フ御意見ガアッタノデアリマス、尙此原案ニハ富士山ヲ中心トシテ云々ト云フコトニナラテ居リマスガ、政府が既ニ此案ノ趣旨ヲ認メタ以上ハ成ルベク廣い意味ニシラ行ヒタイト云フノデ、此文字ヲ削除シテ、一般ニ及ボスコトニ致シタノデアリマス、例ヘバ耶馬溪ノ如キトカ、日光、琵琶湖、松島等ヲモ此中ニ加ヘルト云フ大キナ意味ニ於テ、此案ヲ溝場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

(「賛成々々ノ聲起ル」)

○副議長(肥塚龍君) 委員長報告通り御異議ナシモノト認メテ、本案ヲ可決確定致シマス、日程第二十九、冷藏事業保護ニ關スル建議案ヲ議題致シマス、三浦覺一君

第二十九 冷藏事業保護ニ關スル建議案(三浦覺一君提出)
(委員長報告)

○三浦覺一君 此建議案ハ珍シイ建議案アリマシテ、種々委員會ニ於テハ慎重ニ調査ヲ致シマシタ、而シテ關係ノ政府委員ノ出席ヲ求メマシタ能ク政府ノ意見モ質シタノデゴザイマス、内務省ニ於キマシテモ此食品ノコトニ付テハ大ニ注意致シテ居ルノミナラズ、尙一方ニ於テ衛生ノ上カブモ防疫場アルトカ、或ハ屠殺場アルトカ云フモノノ設備ヲ追ミ完成スル際ニハ必ず斯様ナ冷藏庫見タユウナ設備ヲ立アルト云フコトデアリマス、ソレカラ又之ニ關係ノ厚イトコロノ農商務省ニ於キマシテモ最モ此事業ノ必要ヲ認メテ居ル、現ニ水產講習所ナリ或ハ蠶業講習所アタリニ於テハ斯様ナ建議案ノ趣旨ニ依テソレノ試験等モ既ニ著手致シテ居ルコトデアル、尙此上進シテ斯様ナコトヲ獎勵サレルト云フコトデアリマス、ソレカラ尙關係ノ厚イトコロノ鐵道ノ方ニ於キマシテモ現ニ冷藏貨車ヲ持ヘテ、現ニアリマストコロノ三十輛ノ貨車ヲ増シテ、本年ノ夏ハ尙五十輛ニモ増加サレルト云フコトデアル、ソレニ不足ヲ告ゲルトキニハ百輛、二百輛ニモ増シテ事業ノ完成ヲ圖ルト云フ答辯アリマス、ソレカラ此冷藏ト云フコトハ意味ガ狭イト云フ

ノデ、冷凍ト云フ表題ニ變ヘマシテゴザイマス、右ノ如クシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ之ニ多少ノ修正ヲ加ヘマシテ可決致シマシタ、而シテ此事柄ニ付テハ各國ノ例等モ能ク分ラナイト云フノデ、提出者ニ向テ各國ノ例ヲ取調ベルコトヲ委員ヨリ註文ガアリマシテ、提案者ハ此事ニ付テ熱心ニ調查致シマシタモノヲ回サレマシタ、是ハ省キマシテ議長ノ許可ヲ得テ速記録ニ載セタイト思ヒマス、右ノ如クシテ委員會ハ多少字句ノ修正ヲ加ヘテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、幸ニ滿場ノ御賛成ヲ願ヒマス

(参照)

冷藏事業ニ關シ各國政府保護獎勵ノ實例摘要

一、冷藏庫補助

加奈多モノトリール市ニハ個人事業トシテ十分ノ冷藏庫アレトモ其他商業中心地ニモ輸出ヲ目的トスル腐敗シ易キ產物ノ保存ノ爲メニ冷藏庫保存ノ必要ヲ認メ其事業ノ收益ヲ保證セリ即ち冷藏庫ノ建物及器械ノ價格ニ對スル五分ノ利益。

ヲ保證セリ但シ貨物預料歩合ハ農商務省ノ認可ヲ受クルヲ要ス

二、牛酪精製所ニ於ケル冷藏庫ノ獎勵

加奈多ニ於テハ輸出ヲ目的トスル牛酪精製ノ後チ積出マテノ間完全ニ貯存ノ爲メニ牛酪精製所ニ冷藏庫ヲ設備セシムルノ便益ナルヲ認メ政府ノ定メタル仕様ニ從テ冷藏庫ヲ設備シ規則ニ從フテ使用スルモノニハ一箇所毎ニ初年ニ五十弗第二年第三年ニ各二十五弗宛合セテソ箇所百弗ノ獎勵金ヲ懸ケテ其設備ヲ促シタルニ千八百九十七年千八百九十八年ノ兩年間ニ三百箇所ノ牛酪精製所ニ、冷藏庫ヲ設備セリ、冷蔵庫設備ノ加奈多牛酪輸出業ニ及ホセル影響ニ付千八百九十九年六月三十日ニ終ル農商務省ノ年報中ニ記スル所ニヨレハ冷藏庫設備ノ前年即チ千八百九十五年六月三十日ニ終ル一箇年間當領牛酪ノ輸出高ハ六十九万七千四百七十六弗ニ過ギサリシニ右設備ノ創始後四年即チ千八百九十九年六月三十日ニ終ハル一箇年間ニ於ケル輸出高ハ三百七十万八百七十二弗ニ達シ同年七月以後ハ一層增加ノ傾向ヲ示セリ云々

三、冷藏庫設置獎勵ニ關スル規則

第一條 内閣議長(General Council)ハ「モントリール」「センドジョン」及ヒ「ハリファックス」ヨリ合衆國ニ至ル汽船ニ冷藏庫ヲ備フル爲メ「ファー・ネス、ウイシー」經テ之ヲ施行スルコト左ノ如シ
第一條 内閣議長(Genral Council)ハ「モントリール」「センドジョン」及ヒ「ハリファックス」ヨリ合衆國ニ至ル汽船ニ冷藏庫ヲ備フル爲メ「ファー・ネス、ウイシー」
有限會社及「マンチエスター」有限定期郵船契約ヲ締結スルコト得、但内閣議長カ此契約ヲ爲スニハ千八百九十八年、千八百九十九年及ヒ千九百年ノ三箇年内ニ在リテ其冷藏庫ニ補給スルトコロノ金額ハ一年ニ一万弗ヲ超過スルコトヲ得ス
第一條 内閣議長(Genral Council)ハ「モントリール」即位六十年及六十一年
此條例ハ冷藏庫ノ設備アル汽船ニ對シ契約締結ニ關スル權限ヲ定ムル條例ニシテ千八百九十八年六月十三日之ヲ制定シ女皇陛下ハ上下兩院ノ協賛ヲ經テ之ヲ施行スルコト左ノ如シ

ノデ、冷凍ト云フ表題ニ變ヘマシテゴザイマス、右ノ如クシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ之ニ多少ノ修正ヲ加ヘマシテ可決致シマシタ、而シテ此事柄ニ付テハ各國ノ例等モ能ク分ラナイト云フノデ、提出者ニ向テ各國ノ例ヲ取調ベルコトヲ委員ヨリ註文ガアリマシテ、提案者ハ此事ニ付テ熱心ニ調查致シマシタモノヲ回サレマシタ、是ハ省キマシテ議長ノ許可ヲ得テ速記録ニ載セタイト思ヒマス、右ノ如クシテ委員會ハ多少字句ノ修正ヲ加ヘテ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、幸ニ滿場ノ御賛成ヲ願ヒマス

第一條 千八百九十七年五月四日付開令ノ權能ニ基キ締結シタル女皇陛下及ヒ特定會社間ノ契約ハ千八百九十七年、千八百九十八年及千八百九十九年ノ三箇年間モントリールヨリ合衆王國ニ至ル汽船ニ冷藏庫ヲ設備スルニ在リトス該契約ハ國會ノ協賛ヲ經テ實際有功ナルモノト確定布告シタルモノトス
第二條 内閣議長ハ「トロント」「クライベック」「ハリファックス」「セントジョン」及ヒ「チャーチタウン」ノ市府ニ冷藏庫ヲ設備スル爲メ何人又ハ何會社ニ對シテモ契約ヲ締結スルコト得内閣議長が此契約ヲ爲スルハ三箇年間ヲ超過セサル期間ニ在ルヲ要ス且ツ此期間内其事業ノ收益ヲ保證スル爲メ一箇年ニ付冷藏庫ノ建物及其器械ノ價格ニ對スル五分ニ超エサル利益ヲ保證スルコトヲ得但其配當割ハ「クイベック」「ハリファックス」及「セントジョン」ノ三市府ニ在テハ各四萬弗「トロント」市ハ五萬弗、チャーチタウン」市ハ二萬弗ヲ超過セザル金額ヲ保證スルモノトス

四、漁餌冷藏庫保護法

一、加奈多「カンソ」ニ於ケル漁餌冷藏庫ノ發達進歩實ニ著シキ域ニ達セリ十八年以前ニ於テハ腐敗シ易キ食用品ニ對スル冷藏業ハ極メテ幼稚ナリシカ「カンソ」ニ於ケル「ボワイト」商會ナルモノ、率先シテ漁餌冷藏ノ功果ヲ認メ漁餌豊富ノ秋ニ常ニ之ヲ貯藏シ不足ノ時ニ之ヲ出庫シテ廣く漁舟三供給スルニ頗ル有利有益ナル事業ナル可見迄ヲ以テ略ニ聞及ニ間半ノ小規模ノ冷藏庫ヲ建設セリ而カモ當時幾多ノ反對論者アリシニ拘ハラス反覆之カ利用法ヲ説明スルニ及ヒ漁次凍餌ノ需用ヲ増加セルヲ以テ倉庫ノ狹小ヲ感シシ、アリシカ終ニ政府ハ之ニ向テ保護獎勵ノ必要ヲ認メ此目的ヲ以テ冷藏庫ヲ建設スルモノニハ其建設費用ノ半額ヲ政府ヨリ出資補助スヘキ保護法ヲ制定シ大其業ノ發展ヲ計リタリ次テ此制規ノ下ニ沿海岸ニ於テ冷藏庫ノ増設ニ依リ目的ノ一部ヲ達シタル政府ハ更ニ多量ナル漁餌ノ供給ヲナサンカ爲メニ中央市場ニ於テ一層大ナル冷藏庫ヲ建設スルモノニハ政府ハ其建設費ノ半額ヲ補給ス可キ保護制ヲ定メタリシカ「ボワイトマン」商會直チニ之ヲ建設ヲ引受クルコト、ナレリ新冷藏機ハ九十屯ノ冷藏力ヲ有シ其鹹水管ノ延長實ニ八、九哩ノ長サニ達ス可ク海水ノ利用ト絶縁物ニハ洗淨且乾燥セル六十噸ノ大葉藻ヲ用井タルハ特種ノ設備ニシテ大葉藻ノ絶縁體トシテ有效ナルハ「モントリール」其他多クノ會社ニ依テ使用セラル、粉穀ニ勝サル耐火性ヲ有シ價格ノ點ニ於テモ英、米其他ノ諸國ニテ使用セル粉炭、粉末木炭、毛布其他ノモノ比シ遙カニ低廉ナル點ニアリ

二、加奈多政府ハ「ハリファックス」及「カンソ」Halifax & Canso、ヲ漁餌冷藏ニ最適當ナル地ト定メ兩地ニ大ナル冷藏庫ヲ建設シテ特別ノ約款ヲ以テ保護ヲ與ヘタリ「ハリファックス」ニ於ケル冷藏庫ハ同港沿岸ヲ航行セル大漁船隊カ需用ノ漁餌ヲ供給スル爲メト冬期間漁餌缺乏ノ爲メ漁業ヲ爲シ能ハサル地方ノ漁船ニ供給スル目的ヲ以テ建設セラレ「カンソ」ニ於ケル冷藏庫ハ近海方面ニ浮遊セル大小漁舟ノ廣キ需用ニ應スル目的ヲ以テ建設セラレタルモノナリ

一九〇六年 Nova Scotia ニ於テ四十噸ノ漁餌ヲ收容シ得可キ小冷藏庫二十七箇アリシカ新タ二百噸收容ノモノニ一庫ヲ増設セリ

五、冷蔵貨車
加奈多政府農務省ハ冷蔵物ノ貯藏及貿易ノ發達ヲ計ランカ爲メ種々ノ方面ニ向テ保護監督ヲ實行セリ今冷蔵食用品運送ニ關シ政府カ定メタル保護制ヲ舉クレバ一、ペター冷蔵貨車

一週又ハ二週ニ一回ペター生産地ヨリ「モントリール」及「クエベック」迄五月七日ヨリ十月二十一日迄運送スルコト

貨主ハ普通貨車ノ貨率ヲ以テ積込ミ得ルコト
一、ース冷蔵貨車

七月一日ヨリ九月九日迄普通貨車率ニヨリ運轉スルコト但シ同期間内ハ貨主ノ請求アレハ鐵道會社ハ何時ニテモ冷蔵貨車ヲ供給スルコト

政府ハ各鐵道線一週間ニ於ケル限定數(總計百〇五車)ニ對シ氷代トシテ一車

一付金五弗(十圓)以内ノ割合ヲ以テ仕拂フコト

一、果物冷蔵貨車
之レハ主トシ「モントリール」又ハ「クエベック」經由輸出ノ目的ニテ運轉サル、モノニシテ八月一日ヨリ九月三十日迄ヲ運轉期間トシ貨主ノ請求ニ應シ鐵道會社ヨリ貨車ヲ供給スルコト

政府ハ氷代一車ニ付五弗(十圓)以内ノ割合ヲ以テ鐵道會社ニ仕拂フコト

六、加奈多ニ於ケル他ノ保護制條項

一、加奈多國內ニ於テ冷蔵機ノ設備ヲ以テ總テノ食用生産物ノ貯藏ニ適スル公衆用冷蔵倉庫ヲ設立スル場合ニ善良ニシテ且ツ完全ナル作業ヲ爲シ得ル建築設備及維持ニ就キ總督ハ其代表者ト契約ヲ締結スルコトヲ得

二、總督ハ此目的ニ向テ議會ノ協贊ヲ經タル資金中ヨリ前記倉庫ノ建築設備ニシテ適法ト認メタル費用、總額ノ百分ノ三十ニ該當スル、金額ヲ割賦ヲ以テ附與スルコトヲ得

三、倉庫完成シ且適當ナル溫度ニ於テ收容シ得可キ冷蔵庫ハ總テ農務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ其建設費總額ノ百分ノ十五、同年末ニ於テ百分ノ七、第二年目ノ終ニ於テ百分ノ四、第三年及第四年ノ終ニ於テ各百分ノ二ニ該當スル保護金ノ下附ヲ受クルモノトス但シ會社營業ノ狀態ニ於テ農務大臣ノ承認ヲ得サル場合アルトキハ支給ノ限リニアラス

一九〇七年右保護法制定セラル、ヤ保護金ノ下附ヲ申請シタル諸會社左ノ如シ
一、ニューブランズウヰック冷蔵會社 ニューブランズウヰック州
二、ゼ、スコット、アシュトン會社 オンタリオ州
三、ゼ、エドモントン、ブロデウス會社 Edmonton, Alta.

四、スコット、エンド、ホッグピーターボロ
五、ゼ、ハリファックス冷蔵會社
六、カナダアン魚類冷蔵會社

右ノ内政府ノ承認ヲ得テ保護金ノ下附ヲ受ケタル會社ハ「ニューブランズウヰック冷蔵會社」及「スコット、アシュトン會社」ノ一會社ニシテ其他ノ會社ハ目下審議中ニアリ「ニューブランズウヰック冷蔵會社」ノ冷蔵庫ハ最モ完全セル最進式ノ機械ヲ以テ設備セラレタル第一流ノ倉庫ニシテ而カモ其建設費用ハ冷蔵室一立方尺ニ對シ僅カニ二十五仙(五十錢)弱ニ當ル比較的頗ル低廉ナル費用ヲ以テ完

成セルモノニシテ政府ハ直チニ會社ヨリ提出セル勘定書(建設費)ニ據リ規定ノ第一期補助金ヲ下附セリ

加奈多政府ハ數年以前ニ於テ腐敗易キ生産物ノ輸出ヲ獎勵セシカ爲メ汽船内ニ新タニ通風旗及冷蔵設備ヲ施スモノニハ其設備費用ノ殆ト半額ハ政府ヨリ補給スルコトニ定メタリニ其後政府ノ補助ナキ汽船モ商業上ノ利益ヲ頗タンカ爲メ獨力汽船ニ冷蔵裝置ヲ施スモノ續々其數ヲ増加セルヲ以テ政府モ今日ニ於テハ最早補給ノ必要ナキモノト認メ保護制ヲ廢止シタリト雖同政策ヲ以テ運送業ニ成功シタル政府へ更ニ陸上冷蔵庫ニ向テ保護政策ヲ踏襲セルモノナリ

一九〇七年ニハ冷蔵庫ニ對シ政府ノ支出セル補助金額ハ十五万弗(三十萬圓)ナリシモ一九〇八年度ニハ前年度ノ剩餘金アリシヲ以テ保護金豫算額七万五千弗(十五萬圓)ニ減額セリ

加奈多政府ハ歐米各國中最モ冷蔵事業ニ保護ヲ與ヘタル結果トシテ現今ニテハ之レカ爲メ内外貿易ノ發達ヲ促進セシタルコト著シキ域ニ達セリ即チ「モントリル」經由英國諸港ニ向ケ輸出物ヲ積載セル船數四十七艘(一九〇七年)ニ達シ其他南亞弗利加(ニューフォーランド)「メキシコ」及西印度其他ノ各地ニ年々輸出セルモノ頗ル盛況ヲ呈セリ

七、南亞トランスバール冷蔵會社ノ起原及政府ノ保護獎勵

一八九六年「トランスバール」ニ於テ牛疫ノ流行ハ痛ク有識者ヲ刺激シ如何ニモシテ商業上ノ成功ヲ以テ汎ク冷蔵庫ノ利用ヲ誘導セサル可ラサルノ急務ヲ認メシメタリ
冷蔵庫ヲ利用シテ肉類ヲ廉價ニ供給スルニ至ラハ人民モ亦多ク増殖セラル、ニ至ラントノ理想ハ官許ノ特點ト當時ニ於ケル政府ノ擁護ノ下ニ人力ヲ以テ可能ニ至ラシメタリ此間種々ノ困難ハ試ミラレタリト雖終ニ一八九八年南亞共和政府ノ内務大臣ト人民代表者ペーター・ショーン、ペトグリーテー及ヘンドリック・ジャコバース・スコエマン(Peter Johannes Pat Greter & Hendrik Jacobus Schoeman)ノ兩氏トノ間ニ契約書ヲ締シ幾許モナク此兩人ハ「トランスバール」ニ於テトランスバール冷蔵株式會社ヲ創設セリ今其契約ノ要項ヲ摘記スレバ
一、會社ハ政府ノ監督ノ下ニアルコト

二、政府ハ會社ノ爲メニ八万五千磅(八十五万圓)ヲ出資スルコト
三、六名ノ取締中三名ハ政府ヨリ任命スルコト

四、取締役全員ノ決議ニアラサレハ社債ヲ起シ又ハ借入金ヲ爲サルコト

五、會社ハ合同組織ノ變更又ハ名稱ノ變更ヲ爲サルコト
尙政府ガ「トランスバール」冷蔵會社ニ與ヘタル契約ニ依リテ「ブレトリア」及「ジャハンヌブルグ」ニ於テ官有地ノ最モ價値アル場所ヲ極メテ低廉ナル地代ヲ以テ借入

ル、コトヲ得タリ更ニ「ナタル」政府ト交渉シ、「グーバン」港ニ於ケル最モ價値アル場所ヲ最モ満足シ得可キ條項ヲ以テ借地契約ヲ締結セリ

八、露國シエント、ベータースボルグ市ノ市營冷藏庫

西比利亞アムール產生鮭ノ冷藏品カ「リガ」ヘノ到來ハ露國官民ヲシテ非常ノ注目ヲ喚起セシメ官報ハ特ニ此事ニ關シテ論述スル處アリタリ然シテ特ニ露國「シェント、ベータースボルグ」ニ於テ中央大冷藏ヲ設ケ廣ク各種ノ冷藏物ヲ保管シ之ニ關聯シテ冷藏貨車及冷藏船ヲ創設スルニ至ラハ同市ノ經濟狀態ヲ發達セシム

上ニ於テ非常ナル利便ヲ與フルニ至ル可キ見込ヲ以テ市會ハ直ニ各國ニ於テ採用セル冷藏設備方法ヲ應用シ之カ創設ヲナスヘキ準備ニ著手セリ

九、英國軍艦ニ於ケル冷藏機設備

英國政府ハ軍艦内ニ起ル可キ不意ノ出來事ヲ防止シ又ハ破裂ノ性質ヲ有スル物品ヲ安全ニ維持センカ爲メ軍艦内ニ冷藏機ヲ艤装シ適當ナル溫度ニ於テ彈藥室ヲ完全ニ維持センカ爲メ多數ノ小冷藏機ヲ注文シ各軍艦内ニ之レカ据付工事ヲ施シタルハ實ニ一九〇七年(明治四十年)中英國ニ於ケル冷藏事業中最モ注目スヘキモノナリトス

十、ニュージーランドニ於ケル冷藏庫

一九〇七年七月「ニュージーランド」ノ政府ハ「バターチース」ノ品等ヲ定メタル後之ヲ充分ノ監督ヲ行フカ爲メニ同商品ヲ收容スヘキ冷藏庫ヲ設立スルノ必要ニ迫リ創設準備ニ著手セリ而シテ該冷藏庫ハ必シモ海港ニ接近シテ設立セラルヘキ要件トセス尙政府ハ輸入品ニ對シテハ監督ヲ行フト雖船中積移ヲナサス他ニ輸送セラル可キ「バターチース」ニ對シテハ政府ハ直接監督ノ責任ヲ負ハサルコト、セリ

十一、西部豪洲ニ於ケル冷藏庫保護

一九〇七年七月「ニュージーランド」ノ政府ハ「バターチース」ノ品等ヲ定メタル後之ヲ充分ノ監督ヲ行フト雖船中積移ヲナサス他ニ輸送セラル可キ「バターチース」ニ對シテハ政府ハ直接監督ノ責任ヲ負ハサルコト、セリ

十二、南部豪洲ニ於ケル冷藏庫

南部豪洲政府ハ一九〇八年十月生産局ニ於テ「リンデ」式三百五十馬力ノ冷藏設備ヲ以テ一日六千ノ仔羊ヲ冷藏シ同時ニ屠牛十五万頭ノ冷凍室ヲ有スル一大冷藏庫ヲ設計セリ而シテ政府ハ更ニ各港ヨリ生産物ヲ積載シテ中央港市場ニ運搬シ再ヒ外國ニ輸出セシム可キ目的ヲ以テ冷藏船ノ建設ヲ企畫セリ

十三、豪洲ヴヰクトリア政府ニテハ「ギーロング」港湾トラスト組合ヲシテ同港湾ノ設備ヲ完全ナラシムルト同時ニ北部「ギーロン」ニ於テ官設冷藏庫ヲ建設セリ斯クシテ海陸設備完成スルノ曉ニハ「ギーロン」港ハ南半球ニ於ケル屈指ノ良港タル可キハ遠キニアラサルヘシ

十四、米國ニ於ケル官設冷藏庫

一九〇八年合衆國農務省ハ各種食用品冷藏ノ功果ヲ調査スル目的ヲ以テ官設冷藏庫ヲ建設ス可ク之ニ要スル資金二十萬弗(四十萬圓)ヲ國庫ヨリ支出ス可キ議案ヲ議會ニ提出セリ該議案ハ無異議議會ニ通過スルニ至ル可ク冷藏物ニ對スル原理及生産物貯藏ニ適セル溫度ヲ研究セシム可キ急務ヲ痛論セリ

十五、獨國ハ陸軍用ノ目的ヲ以テ盛ニ冷藏庫ヲ利用セリ佛國ハ此點ニ於テ未タ

逸ニ及ハサルモノアルモ今ヤ同國ニ倣フテ軍隊用ニ之レカ利用ヲ計リツ、アリ

十六、米國政府冷藏試験(冷藏食用品)

米國ワシントン通信ニ曰ク今ヤ冷藏食用品ニ對スル試験ハ有益ニシテ且興味アル方法ヲ以テ證明サレントセリ即チ農務局ニ於テハ雇傭青年者中ヨリ志願者ヲ募リ「ボイソンズコット」ト稱スル試験隊ヲ組織シ或一定ノ長期間ハ農務局ヨリ供給セラル可キ冷藏食用品ヲ以テ自口ノ食用ニ充テ他ヨリ何等ノ食用品ヲ支給セサルコト、實驗以前ニ於テ彼等ノ體格及體量ヲ嚴密ニ検査シ、試験後引續キ毎日其ノ體量及容體ヲ調査報告スルコト、牛肉、玉子、鳥肉、獸肉、果物、蔬菜其他ノ冷藏物ヲ任意ニ調理シ各自適當ノ分量ヲ食用ニ供スルコト此等ノ實驗ハ冷藏庫ハ食用品ヲ貯藏トシテ完全ニ商業上ニ利用セラル、場合ニテ屠殺シテ冷藏設備ヲ以テ運搬シ一噸十石(略五圓)ノ割合ニテ「フレマントン」迄積送セラル、ニ至レリ

政府ハ冷藏ノ利用ヲシテ獨リ牧畜業者ニ歎迎セラレ冷藏業ノ勃興ト共ニ小羊ノ輸出業ハ頗ル有望ナル勢ヲ以テ商業界ニ現出セリ初メ北部地方ノ生牛ハ大ナル危險ト困難トヲ以テ一頭三二磅ニテ積出サレタルモノハ冷藏庫ノ發達ト共ニ牧場ニ於テ屠殺シテ冷藏設備ヲ以テ運搬シ一噸十石(略五圓)ノ割合ニテ「フレマントン」迄積送セラル、ニ至レリ

政府ハ冷藏ノ利用ヲシテ獨リ牧畜業ノミニ限ラス苹果其他ノ果實ノ輸出ニ利用スルコトヲ計畫シ先づ冷藏庫ノ功果ヲ知ラシメンカ爲メ苹果及洋梨ノ小量ヲ官設冷藏庫ニ收容セリ(一週間僅少ノ預料ニテ)然ルニ僅々ノ例外ノ場合ヲ除クノ外ハ成績極メテ佳好ナリシヲ以テ三月二十六日生産者ヨリ多クノ苹果ヲ收容シテ月二十六日ニ出庫シテ農務局内ニ之ヲ陳列シ以テ公衆ノ展覽ニ供シタリ而シテ

十七、佛國政府冷藏試験(冷藏食用品)

佛國政府ハ廢敗シ易キ種々ノ食用品類ハ一時ニ多ク市場ニ晒ラサル、場合ニ生産者ニ多大ナル損失ヲ蒙ラシムルヲ憂ヒ之が保存法ニ付キ適當ナル手段ヲ講ズルハ國家經濟上極メテ要務ナルヲ認メ日々產出スル農產物及果實類ノ貯藏ニ適スル溫度ヲ調査スルコトニ定メ此道ニ卓越セル學者ヲ調査委員ニ任命シ低温度ノ

貯藏ノ功果ヲ研究セシムル爲メ此目的ヲ遂行スルニ最モ適當ナル「ナントバタ」冷藏會社ノ冷藏庫ヲ試験用ニ使用スヘキ認許ヲ與ヘタリ、然シテ此調査ノ結果ハ一

○議長(長谷場純孝君) 委員長ノ報告ニ御異議ハナイト認メマシテ、本案ハ確定致シマス、日程第三十二ヨリ第三十九ニ至ル 請願デゴザイマスルガ、是ハ便宜上一件毎ニ委員長ヨリ報告ヲナサシメ、逐次ソレヲ議題トシテ採決致シマス、日程第三十、特別報告第八十四號、煙毒除害工事設備ノ請願

第三十 (特別報告第八十四號) 煙毒除害工事 (委員長報告)

○町田旦龍君

此席ヨリ報告致シマス 本件ハ茨城縣

(登壇タクト呼フ者アリ)

(町田旦龍君登壇)

○町田旦龍君 御報告致シマス 本件ハ茨城縣多賀郡柏原町大字高萩七十五番屋敷士族農石平三郎外百十八名ノ呈出デアリマシテ、議員大津淳一郎君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メ採擇ニ決シマス、次ハ日程第三十一、特別報告第八十五號鹽販賣業者失業ニ關スル請願

第三十一 (特別報告第八十五號) 鹽販賣業者失業ニ關スル請願 (委員長報告)

○町田旦龍君 本件ハ東京市深川區西大工町八番地平民鹽販賣商小野澤準一外十三名ノ呈出デアリマシテ、議員森肇君外一名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果ハ採擇ニ決定致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メマシテ、本件ハ採擇スルコトニ致シマス、次ハ特別報告ハ第十六號葉煙草耕作段別復活ノ請願

第三十二 (特別報告第八十六號) 葉煙草耕作段別復活ノ請願 (委員長報告)

○町田旦龍君 本件ハ新潟縣西蒲原郡赤塚村大字赤塚二百四十番戸 平民農中野猪次郎外六百四十二名ノ提出デ、議員田邊熊一君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メマシテ、採擇スルコトニ致シマス、次ハ特別報告ハ第十六號葉煙草耕作段別復活ノ請願

第三十三 (特別報告第八十七號) 在外國賣淫婦 (委員長報告)

取締法制定ノ請願

○町田旦龍君 本件ハ東京市麹町區上二番町三十三番地平民女子學院管理人矢島揖外二百七十二名ノ提出デ、議員根本正君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 異議ナキモノト認メ、採擇ニ決シマス、次ハ特別報告八十八號產牛馬組合法改正ノ請願

第三十四 (特別報告第八十八號) 產牛馬組合 (委員長報告)

○町田旦龍君 本件ハ青森縣三戸郡八戸町大字八幡町二番地士族農那須川光寶外六名ノ提出デ、議員關口安太郎君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メテ採擇ニ決シマス、次ハ特別報告第八十九號勸業銀行拓殖銀行又ハ農工銀行低利資金ヲ產牛馬組合ニ運用貸付ノ請願

第三十五 (特別報告第八十九號) 勸業銀行拓殖銀行又ハ農工銀行低利資金ヲ產牛馬組合ニ運用貸付ノ請願 (委員長報告)

○町田旦龍君 本件ハ青森縣士族農那須川光寶外十六名ノ呈出デ、議員關口安太郎君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナイト認メテ、採擇ニ決定致シマス、次ハ特別報告第九十號、牛疫豫防ニ關スル請願

第三十六 (特別報告第九十號) 牛疫豫防ニ關スル請願 (委員長報告)

○町田旦龍君 本件ハ東京市芝區烏森町五番地東京牛乳搾取同業組合長中澤惣次郎ノ呈出デ、議員森田俊左久君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナキモノト認メ採擇ニ決シマス、次ハ特別報告第九十一號常任判事檢事任設ノ請願

第三十七 (特別報告第九十一號) 常任判事檢事 (委員長報告)

○町田旦龍君 本件ハ秋田縣雄勝郡湯澤町長代理助役渡邊典藏外五十九名ノ呈出デ、議員神田清兵衛君ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナキモノト認メテ採擇ニ決シマス、次ハ特別報告九十一號岐阜監獄移轉ノ請願

第三十八 (特別報告第九十四號) 岐阜監獄移轉 (委員長報告)

ノ請願

○町田旦龍君 本件ハ岐阜市參事會員岐阜市長服部正外一名ノ呈出デ、古井由之君外二名ノ紹介ニ係ルモノデアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナキモノト認メテ、採擇ニ決シマス、次ハ特別報告第

九十六號區裁判所出張所設置ノ請願

第三十九

(特別報告第九十六號)區裁判所出張 (委員長報告)

(特
別
報
告
第
九
六
號
區
裁
判
所
出
張
(委
員
長
報
告)

(別紙)

○町田旦龍君 本件ハ島根縣那賀郡有福村々長森勝一ノ呈出デ、議員河上英君ノ紹介ニ係ルモノアリマス、審査ノ結果、採擇ニ決定致シマシタ

〔異讀ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 御異議ナキモノト認メ、採擇ニ決シマス、是ニテ本日ノ日程ハ結了致シマシタ、報告ガゴザイマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

明治三十四年法律第二十七號中改正法律案

提出者 根本正君 岩倉藏君 吉植庄一郎君 小久保喜七君

江原節君 武藤金吉君 陝泰碩君

市制改正法律案ニ對スル修正案

提出者 荒川五郎君

町村制改正法律案ニ對スル修正案

提出者 森國造君

國設模範製絲所創設ニ關スル建議案

提出者 荒川五郎君

常設美術展覽會設置ニ關スル建議案

提出者 竹内正志君 浅羽靖君

郡域變更ニ關スル建議案

提出者 塚田啓太郎君

煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案

提出者 山本悌二郎君 齋藤二郎君 黃金井爲造君

高等工業學校設置ニ關スル建議案

提出者 福井準造君

一大内暢三君外一名ヨリ朝鮮穀物移入稅ニ關スル再質問主意書ヲ提出セラレ

高柳覺太郎君ヨリ普通選舉法案ニ對シ貴族院ニ於ケル政府委員ノ言明ニ關ス

ブル質問主意書ヲ提出セラレタリ

衆議院議員澤來太郎君提出馬匹改良方針ニ關スル質問主意書差進候也

明治四十四年二月十四日

衆議院議長長谷場純孝殿

内閣總理大臣侯爵桂太郎

衆議院議員關和知君提出言論出版ノ自由及藝術ノ取締ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十四年三月十四日

陸軍大臣子爵寺内正毅

衆議院議長谷場純孝殿

内閣總理大臣侯爵桂太郎

明治四十四年三月十四日

内務大臣法學博士男爵平田東助

〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

荒川中川多摩川河身改修豫備ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年三月十四日

提出者 高木正年 贊成者 加藤政之助

内務大臣法學博士男爵平田東助

外二十九人

荒川中川多摩川河身改修工事ノ豫備ニ關スル質問主意書

荒川ノ水害ヲ絶滅セムカ爲新川ノ開鑿ヲ企テ本年度ヨリ著手セムトスルハ吾人ノ喜

フ所ナリト雖該工事ハ其ノ成功ヲ期スル迄約十箇年ヲ要スルヲ以テ此ノ間四十年

乃至四十三年度ノ如キ出水ヲ見ルナキヲ保スヘカラス抑モ荒川ノ出水ハ其ノ水源ニ於

テ山林ノ濫伐土砂ノ崩壊等年次其量ヲ加ヘ隨テ河床ノ隆起等以テ之カ因コト爲スト

雖末流堤外ニ於ケル營造物ノ建設ニ關シ之ガ取締ヲ嚴ニセス又猥ニ埋立等ヲ企劃

セシメ其ノ結果流域ヲ緊縮シ水害ヲ助長セシメタルモノナレハ若今日ノ儘ニ之ヲ

放任セムカ新川開鑿ノ未タ成ラサル以前ニ於テ惨害ヲ再ヒスルモ知ルヘカラス故ニ新

川開鑿ノ起工ト共ニ荒川流域ヲ妨クル障害物ハ先ツ之ヲ撤去スルヲ要ス政府採ル

所ノ施設如何

中川ノ水流ハ居常甚^タ緩慢ニシテ何等危惧ノ念ラ生セサルモ一度出水ヲ見ルアラ田園變シテ河ト爲リ海ト爲リ之カ汎濫ノ區域頗ル廣大ニシテ又荒川ノ水災ニ劣ラ

生活必需品價格騰貴ノ傾向ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

明治四十四年三月十四日

提出者 田川 大吉郎
賛成者 濱岡 光哲 花井 卓藏

外三十八

生活必需品價格騰貴ノ傾向ニ關スル質問之主意書

今ヤ世界ノ物價ハ概シテ騰貴ノ傾向ヲ示シ中流以下ノ生活難ノ聲相踵キ就中本邦ニ於テ特ニ甚シキモノアリ其ノ將來ヲ豫想スルニ殆ト寒心ニ堪ヘス我政府ハ之ヲ

救退スルニ何等ノ對策アリヤ若ハ現ニ何等ノ施設ヲ準備シツツアリヤ是レ本員ノ聞カ
ムト欲スル要綱ナリ

試ニ本邦ノ既往二十年間ニ於ケル生活必需品價格騰貴ノ傾向ヲ示セハ左表ノ如シ

品目年次
二十年 二十五年 三十年 三十五年 三十九年 四十年 四十一年

米一石 錢七、〇〇 錢一二、八一 錢一二、〇〇 錢一四、四四 錢一六、〇二 錢一五、二四 錢

小大麥同三九八五三七五三七七八九七〇八八六八九八五九九六一四

食大
鹽豆
同同
一、四、
一、九、
一、四、
一、六、
三、七、
三、九、
二、七、
二、一、
五、九、
五、一、
五、三、
五、三、

味醡	同
增油	一貫目
八二九	九三八
一	一三三三
○三五	○三〇
○三一	○三〇
○三九	○三一

赤砂糖	一、三三一	一七四
同百斤	一〇、九四	一〇、九九
五、〇二	一〇、四六	一六、〇九
五、五七	一〇、四六	一五、九九
六、七六	一〇、四六	一〇、四六
七、六七	一〇、四六	一〇、四六
八、〇七	一〇、〇〇	一〇、〇〇
七、七五	一〇、〇〇	一〇、〇〇
五、〇二	一〇、〇〇	一〇、〇〇
同百斤	一〇、〇〇	一〇、〇〇

牛	鰹
肉	節
百	一貫
斤	目
	一、三、三
	一、七、五
	三、四、三
	三、八、八
	四、一、九
	五、二、〇
	五、七、九
	一
	一、六、六、九
	二、二、一、三
	三、三、三、八
	三、三、五、七
	三、五、〇、一

牛鷄
乳卵
一百
升箇

一

一

一

○一、八四
○三九
○二三三
○二三八
○二三六
○二三八
○二三九

林薪
炭
詞十
貫
目
○○
○一
九一
○○
三八
三三
四三
○○
二五
○○
二六
○○
二九
○○
三一
○○

水油一石一九二〇、三二三三、九〇三四、七六五〇、〇八四五、八九三八三一
轉シテ英佛獨二國三於、ケル諸職工ノ收入ヲ以テ本邦二於ケル同種職工ノ收入ニ比

スルニ左表ニ示ス如ク著大ノ相違アリ
工重國別志國蜀頭日本

九二：弗如人指數。六三：弗如人指數。九五：弗如人指數。上九：弗如人指數。

大石工
九四〇一九、五七一〇〇
八八〇一九、五七一〇〇
五八四一七、三五
七一
六五五一七、六〇
七七
二九二九、一七一七
二九二九、一七一七

ニ於ケル埋立又ハ砂止等流勢ヲ妨クルモノヲ嚴禁シ其他障害ト爲ルヘキ物ハ一切之カ施設ヲ成サシメサルヲ要ス政府ノ處置如何

植	大八一	六〇一	一五
字	六八一	六〇一	七三
工	六〇三	一	九五
均	一〇〇	一	上九
精	英弗爾	貴賤	一

英佛獨三於ケル職工ノ收入及支出表

一九〇三年英國商務院年報

工字	大八一一八〇三	一〇〇	五五六一七〇一	八五	六〇一一大三一	八二	一五	七二二
均	一	一〇〇	一	七三	一	八一	一	二六二
請考	述弗爾、實限、一九〇五年一月調查之于日本、實限、一九〇四年四月							

備考 始終獨ノ貿易ノ一九〇五年十月調査ニシテ日本ノ貿易ノ一九〇四年三月一九〇八年三至ル五箇年間ノ平均ナリ

職業別	英佛獨二於支收	工收及支出表
毛織業	英國指數志磅一三七、〇六	一九〇三年英國商務院年報
同	一〇〇	一〇〇
綿絲業	英國指數志磅一九六、一	
同	一〇〇	一〇〇
硝子業	英國指數志磅一一八、〇二	
同	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅八三、一四	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅六八、〇六	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅九七、〇二	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅六二、〇一	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅七八、〇五	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅五三、〇三	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅五六、〇五	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅六七、一六	
一	一〇〇	一〇〇
一	英國指數志磅五七、四	
一	一〇〇	一〇〇

	日本	米國	舊韓國	緬甸	暹羅	交趾支那
收入總計	二七、六〇	二〇、六九	一三、三六四	七、三一	八、三一	六、二五
支出總計	三〇、一一二	二二、三八	一四、六六九	三、三八	四、四七	四、八〇
種子代 肥料	三、五五	九、一七	二、一〇八	三、四〇	二、一〇	一、一〇
農具農舍 其他雜費	四、八五	九、八	七、五二	五、〇〇	四、七	一、〇
水利及土 地修繕費	六〇	一〇〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
公租	四五九七	二、二一	四、八〇	七〇〇	六〇	二、五〇
土地資本	一〇〇〇〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
利差引損益	(+) 二五一二 (+) 七七六 (+) 一三〇五 (+) 三九三 (+) 三八四 (+) 一四五五 以上日本ノ分ハ全國ノ平均ニ非シテ所謂中等田ヲ基礎トシ一段歩生產高ヲ 二石トシ且一毛作田ニ依リ土地資本ニ對スル利子ハ市價一段歩二百圓利率					

(九) 政府カ樺太ニ於テ官領民營主義ヲ採リテ漁場ニ附屬スル海產干場ヲ其ノ開拓者タル民人ニ所有權ヲ付與セサル理由如何

(十) 政府カ樺太^{ラクマツカ}水產試驗場ニ据付タル「カンメル」式魚粕乾燥器械ハ北海道水產試驗場ニ於テ既ニ失敗ノ歴史ヲ有シ居ルニモ拘ラス十數萬圓ヲ投シ購入シタルハ實用的ノ積リナリシカ將タ見世物ノ積リナリシカ實用的トスレハ一年中ニ何日間其ノ器械ヲ應用スルヤ今日迄ノ成績ヲ示セ

第二官制及拓殖政策ニ關シ採ル所ノ方針如何

(一) 政府ハ三十九年四十年頃ハ樺太ノ富源ハ水產ニアリトシ大ニ吹聴シ四十一年頃ハ石炭ヲ以テ富源ノ第一ナリト稱シ四十一年度ハ「デルビン」油榨取事業ヲ以テ唯一ノ富源ナリトシ四十二年度ハ乾溜工場ヲ建設シ「アルコール」醋酸「タール」等ノ化學工藝事業ヲ以テ樺太拓殖ノ島是ト爲スト吹聴シ居タリ然ルニ現今ハ又舊ニ舊ニ復シ水產ヲ以テ唯一ノ富源ナリト改稱スルニ至レリ政府ノ樺太政策ハ毎年如此其ノ島是ト富源ニ動搖ヲ來シ夫レカ爲民人ハ其ノ方針ニ迷ヒ適從スル所ヲ知ラス樺太回復後既ニ七年何故ニ未タ拓殖ニ關シ一定ノ大方針ヲ確立セサル其ノ理由如何

(二) 樺太ヘハ陸上交通ノ機關トシテハ大泊豊原間ノ鐵道アルモ道路トシテハ豊原真岡間約二十里ノ開鑿ヲ見ルノミ殆ト樺太ニハ道路ナシト唱フモ誣言ニアラス然ルニ不急ノ化學工藝試驗費ニ三十万圓ヲ費スト聞ク其ノ理由如何

(三) 政府ハ樺太移住ノ農民ニ對シ耕作用馬一頭ヲ一戸毎ニ貸付スル旨ノ規則ヲ設ケナカラ其ノ實ニ二戸乃至五戸ニ一頭ツヽノ貸付ヨリ爲ササルハ如何ナル所存ナルヤ聞ク處ニ依レハ本年度ニ於テ農民三百戸ヲ移住セシムルノ計畫ナリト云フ果シテ事實ナリトセハ既住ノ農民ニ對スル不足ノ馬匹ヲ補ヒ新來ノ移住者ヘ全部馬匹ノ供給ヲ實行シ得ヘキヤ其ノ明確ナル說明ヲ示セ

(四) 政府ハ樺太移住ノ農民ハ家庭建築費ノ内ヘ一戸二十圓ツヽノ補助ヲ爲スト云フ斯ル少額ノ補助金ニテ防寒的ニシテ而モ農家ノ實用ニ適スル家庭ヲ建設シ得ル餘裕アリト思フカ聞ク處ニ依レハ樺太廳官吏ノ家庭ハ判任官々舍ニシテ一坪一百五十圓ヲ費シ居レリト云フ果シテ然リトセハ農民ニ對スル建築費ノ補助ハ餘リニ少額ニ非スヤ其ノ理由如何

(五) 樺太ニ於テ四十三年八月十五日ニ大霜害ヲ受ケ農作物ハ皆無ノ姿ナリト云フカ政府ハ農業移住民ヲ獎勵シテ如何ナル成算ヲ有スルヤ若成算アリトスレハ如何ナル方法ヲ採ルカ詳細ニ説明アレ

(六) 政府直營ノ「トマリオロ」採炭所ハ樺太ノ伏魔殿ナリト聞ク昨年既ニ司法官ヲ煩ハシタル疑獄事件アリ今又疑獄新ニ起り司法官ノ出張アリテ搜查ニ力メツ、アリ之等ハ監督ノ不行届カ又ハ純良ナル官吏ヲ得ルノ明ナキカ其ノ理由如何

(七) 政府ハ四十二年中一木内務次官樺太觀察ノ際大泊住民ガ歡迎ノ意ヲ表シ且刺網問題ノ陳情ヲ爲サムトスル時ニ當リ何故ニ胸襟ヲ啓キ民人ノ情願用意ヲ爲ササリシカ其ノ理由如何

(八) 一木内務次官樺太觀察ノ際官民衝突ノ結果守備隊ヲシテ之ヲ鎮壓シ多數ノ死傷者ヲ出シタルノ騒擾事件アリ政府ハ何故ニ斯ル不祥事ヲ未發ニ防グノ用意ヲ爲ササリシカ其ノ理由如何

(九) 政府ハ其ノ際官憲ノ爲ニ殺傷セラレタル亡靈ヲ慰メルノ舉ニ出テシカ又其遺族ニ對シ何等カノ方法ヲ以テ救助ノ途ヲ施シタルヤ其ノ善後策ニ付採リタル

(十) 政府ハ其際民人ニ對シ行政警察官ヲ以テ制止スルコト能ハストシテ守備隊ヲ煩シ且陸軍ヲシテ民人ノ怨府タラシメタルハ其狼狽ト云ヒ餘リニ不謹慎ノ舉ニ非スヤ夫カ爲一層民人ノ反感ヲ買ヒ良民變シテ匪徒ト爲ル眞匪ノ機實ニ人情ノ機微ニアルヲ辨ヘサル牧民官ノ大失態ナラストセムカ茲ニ其ノ責任アル

(十一) 政府カ樺太開發ノ爲ニ樺太廳ヲ置キ其ノ下ニ五箇所ノ支廳ヲ置キ支廳ノ下ニ十二箇所ノ出張所ヲ置キ其ノ下ニ巡査部長派出所ヲ設ケ又其ノ外ニ巡査駐在所ヲ各地ニ配置シ部落ヘハ總代ヲ設ケテ行政事務ヲ管掌セシメツ、アリ其ノ繁雜名狀スヘカラスト聞ク管内ノ住民僅ニ二万有餘名ノ人口ニ對シテハ些ト大袈裟ノ感ナキ能ハス内地各府縣ニ於テスマ郡制廢止ヲ論議スル今日支廳全部ヲ廢止シテハ如何而シテ支廳長ノ委員條件ヲ出張所長ヘ分掌セシメ冗費ヲ省キ事務ノ敏活ヲ計フハ一舉兩得ニ非スヤ詳細ナル方針ヲ示セ

(十二) 政府カ樺太在勤ノ官吏ヲシテ北海道廳在勤官吏ノ八割增俸ヲ支給シツ、アルハ如何ナル理由ニ基クモノカ交通不便ナリトセハ樺太ト同等以上ニ不便ナル千島ノ如キ根室ノ如キ北見ノ如キアリ寒冷ノ地ナリトセハ是又樺太ニ劣シタル旭川ノ如キ北見根室ノ如キアリ而モ樺太ハ臺灣朝鮮等ノ如キ土匪蜂起ノ恐レアルニアラス軍政時代ノ遺物タル八割增俸ノ如キハ今日迄存置繼續スル

(十三) 政府ハ樺太在勤ノ小學校教員ニ對シ何故ニ樺太廳在勤ノ官吏ト同等若ハ同等以上ノ待遇ヲ爲サルカ其ノ理由如何

(十四) 政府カ昨年樺太ニ於テ鐵道ノ改築ヲシタル際工事費約二十万圓ヲ隨意契約ヲ以テ遠藤、森川、大橋、庄内ノ四名ハ請負ハシメタルニモ拘ラス其受負金高ヨリ一割即チ二万圓ヲ引去リ樺太廳ニ於テ收得シタリト聞ク开ハ如何ナル理由ニテ如何ナル方面ニ使用セシカ其ノ説明ヲ待ツ

(十五) 政府ハ樺太ニ於テ乾溜工場煉瓦建物一棟ヲ四十四年度ノ豫算中ヨリ買上ケル豫約ヲ以テ一己人ノ遠藤ナルモノニ建築セシメタルハ如何ナル法規ニ基キシヤ其ノ理由如何

(十六) 政府ハ樺太ノ金融情態ヲ如何ニシテ救濟發展セシメント欲スルカ其ノ方針ヲ示セ

(十七) 政府ハ樺太ノ鐵道ヲ鐵道院ノ管掌ニ移スノ意志ナキカ意思ナシトスレハ其ノ理由如何

(十八) 政府ハ樺太ニ於テ高等小學卒業後ノ學制方針ハ如何ニスヘキヤ府縣同一ニ中學校ヲ設クリヤ又中學程度ノ實業學校ニスルヤ方針ヲ示セ

(十九) 樺太ノ鐵業法ノ全部ヲ施行セサル理由如何

(二十) 樺太ノ戶籍法ヲ施行セサル理由如何

(二十一) 樺太ノ鐵業法ヲ有スルヤ其ノ方針ヲ示セ

(二十二) 樺太ニ於テ雜漁者組合ニ對シ鯨鮭鱈ノ建網場ヲ一箇所乃至二箇所ヲ免許シ組合經營ヲ爲サシメツツアルカ彼ノ漁場ハ部落全體居住者ノ共有財產ト認メ得ヘキカ將タ組合員丈ノ共有漁場ナルヤ政府ノ方針如何

(二十三) 政府ハ樺太廳公布式ヲ樺太日日新聞ト樺太毎日新聞トニ二新聞ニ
掲載シ居レリ然ルニ樺太日日新聞ヘハ毎年四千餘圓ヲ給與シ 樺太毎日新聞
ハ無料ニテ公布式ヲ掲載シ居レリ政府ハ何等カノ方法ヲ設ケ偏頗輕重ナキヲ
期セラレタシ將來ノ方針如何

朝鮮民團議員任期延長ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

明治四十四年三月七日
是昌著

提出者 鈴木 力

贊成者 大內暢三
外二十九人

衆議院速記錄第十九號正誤

朝鮮民團議員任期延長ニ關スル質問主意書
朝鮮各民團議員ノ任期ハ明治四十三年十月一

一 朝鮮各民團議員ノ任期ハ明治四十三年十月一一日限り満了シタルニ統監府令ヲ以テ四十四年一月三十一日迄任期ヲ延長セリ是レ民團ノ選舉權ヲ無視セシ嫌アリ上述選舉中止並議員任期ノ延長ノ事由ハ如何
一 上述延長滿限期一月三十一日ニ至リテ議員ノ選舉ヲ行フタルハ何ノ事由有リヤ本來居留民團法ハ領土外ニ實施スル法令ナルニ朝鮮カ日本領土ニ歸シテ半歳ニ及テ尙民團議員制ヲ廢止セサル理由如何
一 政府ハ民團議員制ヲ廢止スルノ意有リヤ若之レ有リトセハ果シテ何時頃實行スル豫定ナリ耶
右ハ質問主意ノ説明演說ヲ要セス尙在朝鮮舊居留民ノ方向上右諸點ノ不明ハ不安ヲ抱ク恐有ルニ付至急政府ノ答辯アラムコトヲ望ム
右及質問候也

○副議長(肥塚龍君) 委員ノ選定並ニ日程ハ公報ヲ以テ御報告致シマス今日ハ是
デ散會致シマス

午後七時十九分散會

貞三八下二四箇ト致シ誤
段行正箇半ト致シ

同	同	同	同	四三一	頁
同	下	同	上	六八	段行
九	二	三	四	致シマシタル邊	誤
イ	歩役	線路ノ所ノ	タル邊	致シマシタル點	正
十	万圓ヲ	上ラナ	他ノ	賦役	
千	万圓ヲ	上ラナ			

元 城 路
二 三 五
串 本

卷之三